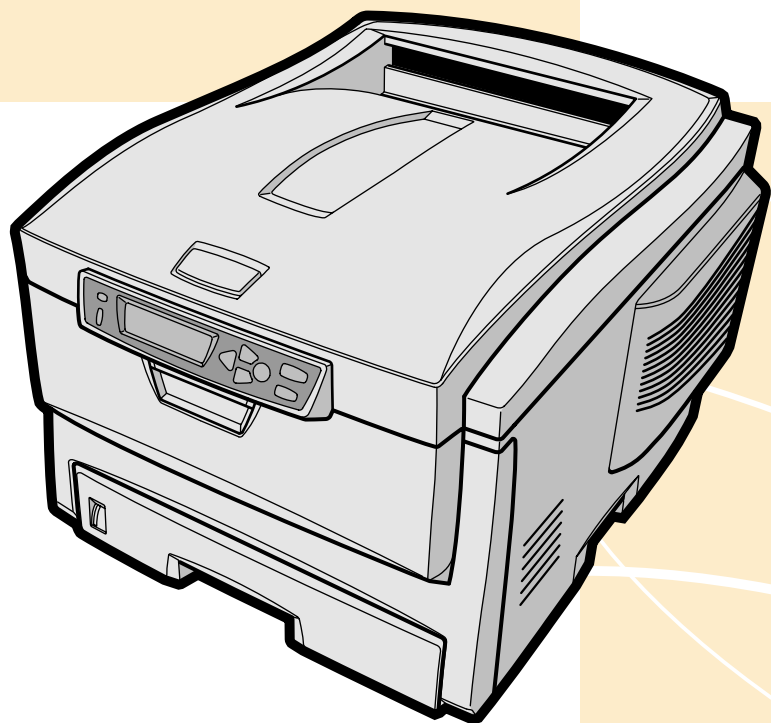
目次へ 戻る 次へ 索引へ 検索する

オキカラーページプリンタ

MICROLINE 5400
MICROLINE 5200
MICROLINE 3100

ユーザーズマニュアル
（セットアップ編）

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル(本書)をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告	
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。
	UPS（無停電電源）を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意	
	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

マニュアルの構成

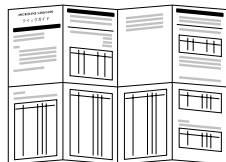
本製品には、次の説明書とCD-ROMマニュアルが付属しています。

ユーザーズマニュアル(セットアップ編)…本書

必ずお読みください。
プリンタの設置からプリンタドライバのインストールまでの手順、操作パネルの表示、基本的な印刷、消耗品の交換などが記載されています。

ユーザーズマニュアルCD-ROM

カラー調整などの各種ユーティリティ、拡大印刷や製本印刷などさまざまな機能の使い方を説明しています。ユーザーズマニュアルCD-ROMの内容(237ページ)をご覧ください。

クイックガイド(ML3100には添付されていません)

用紙の設定、操作パネルのメッセージ、紙づまりの対処方法が記載されています。専用袋に入れ、プリンタに貼り付けてご使用ください。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 5400 → ML5400
- MICROLINE 5200 → ML5200
- MICROLINE 3100 → ML3100
- Microsoft® Windows® Server 2003 operating system日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0日本語版 → WindowsNT4.0
- Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0の総称→Windows
- PostScript3エミュレーション→PSE、POSTSCRIPT3エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

商標について

MICROLINEは株式会社沖データの商標です。
OKIは沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、EtherTalk、LaserWriter、RendezvousおよびTrueTypeは、米国Apple Computer Inc.の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Adobe、PostScriptおよびReaderは、米国及びその他の国々で登録されたAdobe Systems Incorporatedの登録商標または商標です。
Scalable FontはAgfa Monotype Corporationからライセンスされています。
CG OmegaはAgfa Monotype Corporationの製品です。
CG TimesはThe Monotype CorporationのライセンスをうけたTimes New Romanを基にしたAgfa Monotype Corporationの製品です。
TaffyはAdobe Tekton Regularに対応するAgfa Monotype Corporationの製品です。
CandidはAdobe Cartaに対応するAgfa Monotype Corporationの製品です。
CG、Candid、TaffyはAgfa Monotype Corporationの各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、TimesはLinotype-Hell AGあるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf DingbatsはInternational Typeface Corporationの各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill SansはThe Monotype Corporation plc.の各国での登録商標または商標です。
WingdingsはMicrosoft Corporationの各国での登録商標または商標です。
AgfaからライセンスされたMarigoldはArthur Bakerの各国での登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

すべての権利は、株式会社沖データに属しています。無断で複製、転記、翻訳等を行なってはいけません。必ず、株式会社沖データの文書による承諾を得てください。

© 2004 Oki Data Corporation

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ(以下「沖データ」といいます)は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア(ただし、Adobe Readerは除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。)を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

本ソフトウェアに含まれているWindows Me/98用 PostScript®プリンタドライバおよびそれに関連する説明資料(以下総称して、「マイクロソフトソフトウェア」といいます。)は、米国ワシントン州法に準拠して設立され、米国ワシントン州(One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399)に本店を置くMicrosoft Corporation(マイクロソフト社)からのライセンスに基づいて沖データが提供するものです。

1. 使用範囲
   お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを1部複製することができます。

2. 財産権および義務
   (1)本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
   (2)第1条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
   (3)お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
   (4)お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
   (5)お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
   (1)お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
   (2)お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
   (3)お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
   (1)沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
   ・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
   ・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
   ・第三者の権利を侵害していないこと。
   ・特定の目的に適合していること。
   (2)本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
本契約中のうち、マイクロソフトソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め、米国ワシントン州法を準拠法とし、マイクロソフトソフトウェアを除く本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users(米国政府機関のエンドユーザへの注意)
All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
本条項中で使用される"Software"とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

＊＊＊＊＊

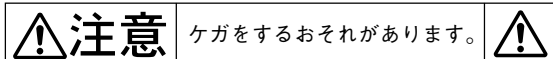
なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※Adobe Reader の使用について
Adobe Readerは沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

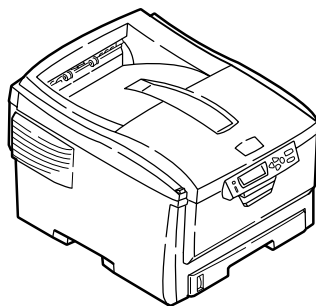
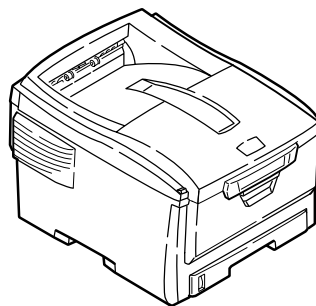
目　次

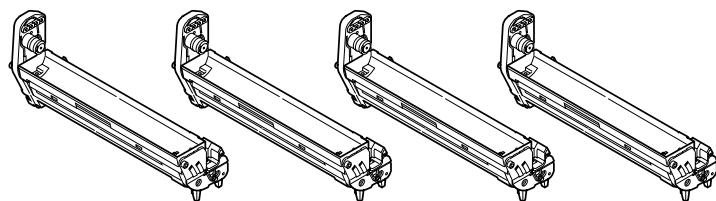
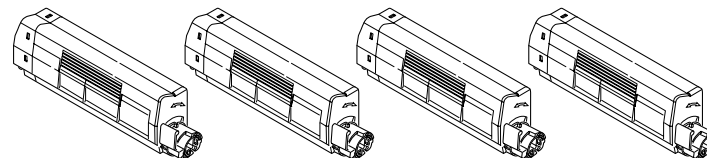
1 プリンタを設置します

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

このプリンタは重量が約25Kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

□ プリンタ(本体)

ML5400, ML5200　　ML3100

□ イメージドラムカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各1個ずつ）

□ スタータトナーカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各1個ずつ）

注 スタータトナーカートリッジをイメージドラムカートリッジに取り付けた状態で、プリンタ内部にセットされています。

□ プリンタソフトウェアCD-ROM
□ LEDレンズクリーナ
□ 電源コード
□ 保証書・ご愛用者登録カード
□ ユーザーズマニュアル(セットアップ編)(本書)
□ ユーザーズマニュアルCD-ROM
□ クイックガイド(ML3100には添付されていません)
□ クイックガイド専用袋(ML3100には添付されていません)

- プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
- 梱包箱、緩衝材はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  - 周囲温度　：　10～32°C
  - 周囲湿度　：　20～80%RH（相対湿度）
  - 最大湿球温度　：　25℃
- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

⚠注意

- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。
- このプリンタは重量が約25kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

設置スペース

- プリンタの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタの周りに十分なスペースを取ってください。

平面図

側面図

プリンタ各部の名前

トップカバー
操作パネル
手差しガイド
マルチパーパストレイ
（MPトレイ手差し）
用紙サポータ
通気口
OPENボタン
フロントカバー
用紙カセット（トレイ1）

LEDヘッド（4ヶ所）
排出ローラ
定着器ユニット
スタータトナーカートリッジ
(C シアン(青色))
スタータトナーカートリッジ
(M マゼンタ(赤色))
スタータトナーカートリッジ
(Y イエロー(黄色))
スタータトナーカートリッジ
(K ブラック(黒色))
イメージドラムカートリッジ
(C シアン(青色))
イメージドラムカートリッジ
(M マゼンタ(赤色))
イメージドラムカートリッジ
(Y イエロー(黄色))
イメージドラムカートリッジ
(K ブラック(黒色))
用紙残量表示

フェイスアップスタッカ
インタフェース部
電源コネクタ
通気口
電源スイッチ

〈インタフェース部〉

ML5400

TEST
STATUS
10M
100M
LAN
PARALLEL

プッシュスイッチ
ステータスランプ
ネットワークインタフェース
コネクタ (100/10BASE)
USBインタフェースコネクタ
パラレルインタフェースコネクタ

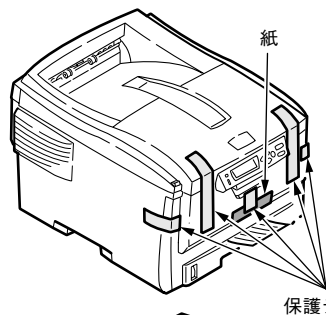
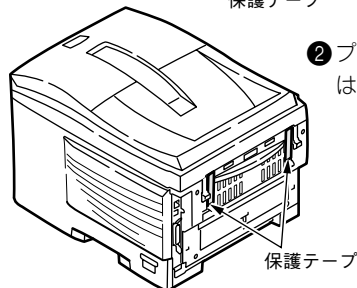
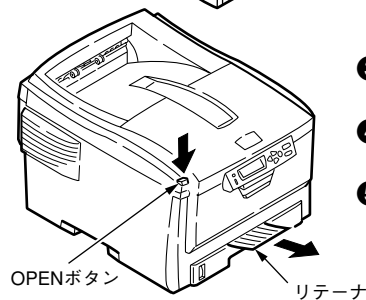
ML5200

TEST
STATUS
10M
100M
LAN

ML3100

USBインタフェースコネクタ

付属品を取り付けます

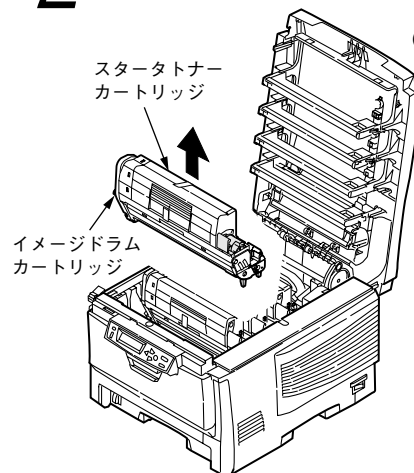
1 保護具を取り外します。

❶プリンタ前面の保護テープ（5ヶ所）と紙をはがします。

❷プリンタ後面の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

❸用紙カセットを抜きます。

❹リテーナを手前側に引き抜きます。

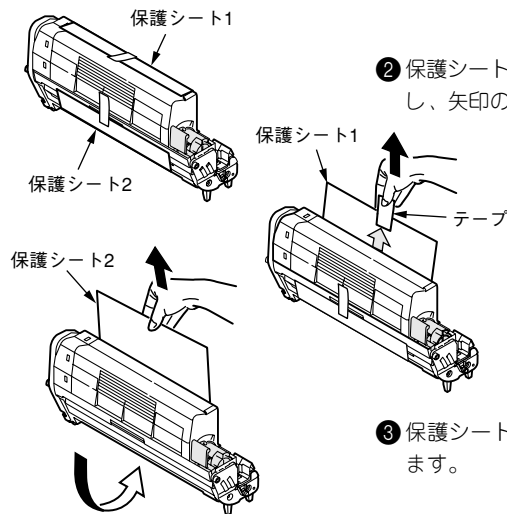
❺OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

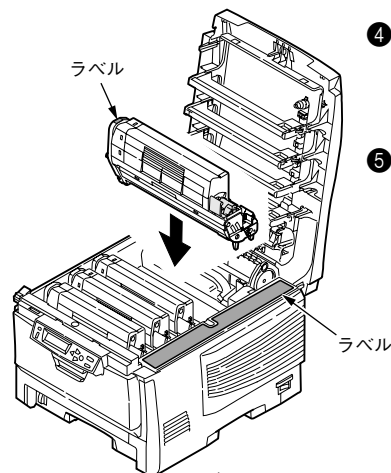
❻定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパリリース（オレンジ色）を取り外します。

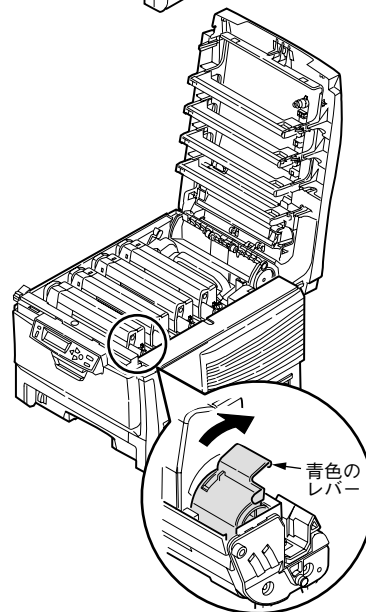
ストッパリリースはプリンタを輸送するときに使います。必ず保管してください。

2 イメージドラムカートリッジをセットします。

❶スタータトナーカートリッジを付けたまま、イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに取り出します。

ここでは、スタータトナーカートリッジの青いレバーは動かさないでください。

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

❷保護シート1を止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❸保護シート２を矢印の方向に引き抜きます。

❹イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせます。

❺イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに戻します。

❻トナーカートリッジの青色のレバーを矢印の方向にいっぱいまで回します。

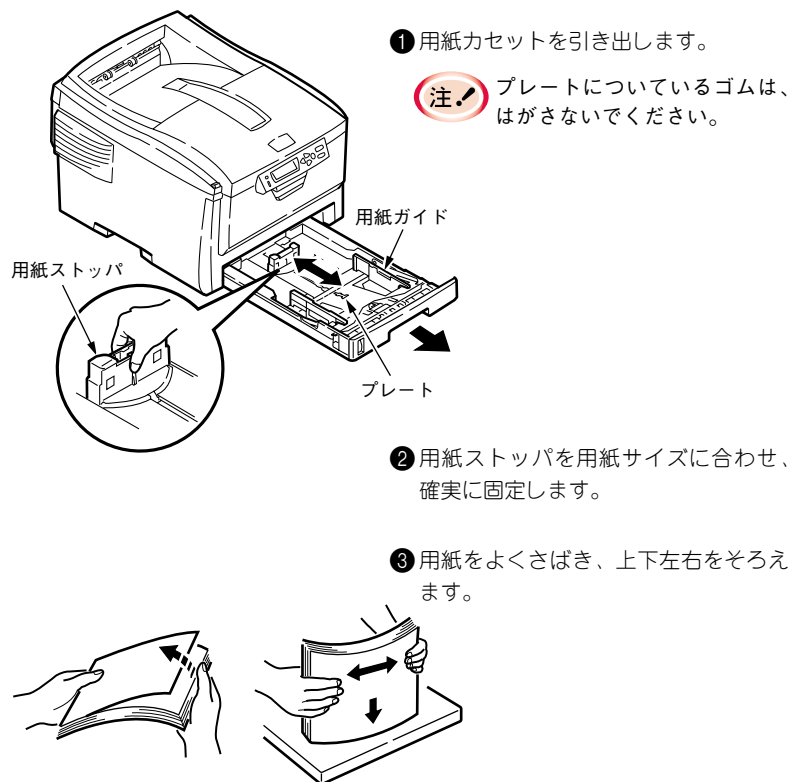
- スタータトナー（製品購入時に添付されているトナーカートリッジ）は、A4, 5%の印刷密度の場合、約1500枚印刷可能です。
- 操作パネルの[トナーヲ　コウカンシテクダサイ]の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジのレバーが矢印の方向にいっぱいまで動かされているか確認してください。
- 通常のトナーカートリッジを使用した後は、スタータトナーは使用できなくなります。最初にスタータトナーを使用し、「トナー　ナシ」になってから、通常のトナーをご使用ください。

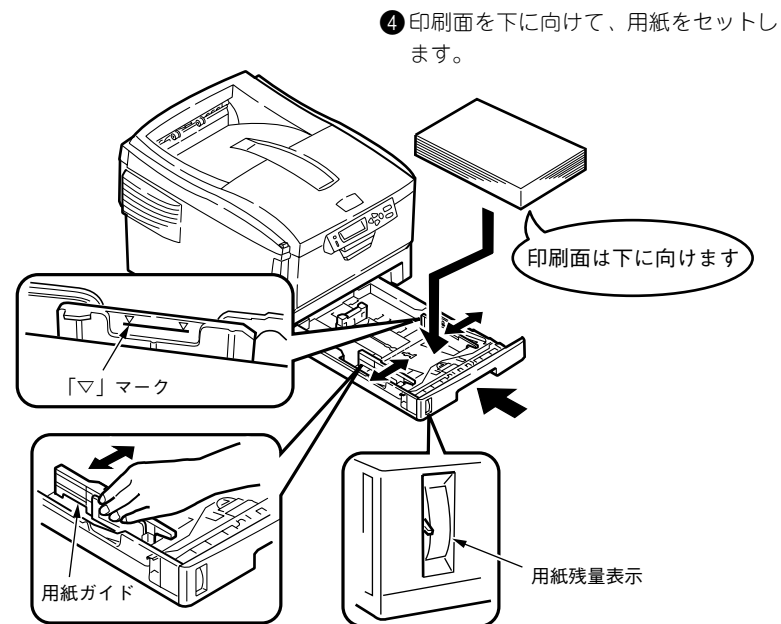
3 用紙カセットに用紙をセットします。

❶用紙カセットを引き出します。

注 プレートについているゴムは、はがさないでください。

❷用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

❸用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

メモ 用紙については、10章の「使用できる用紙」(180ページ)を参考にしてください。
プリンタに適していない用紙の場合、プリンタが故障するおそれがあります。

❹印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。(連量70kg紙で300枚)

❺用紙ガイドで用紙を固定します。

❻用紙カセットをプリンタに戻します。

電源を入れます

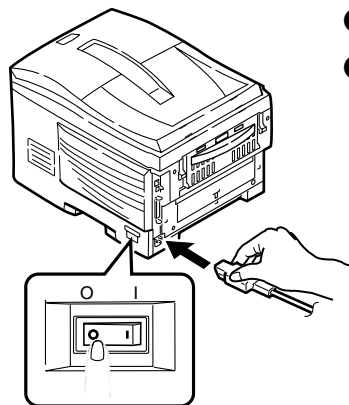
電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流(AC)　：　100V±10%
  電源周波数　：　50Hzまたは60Hz±2Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は950Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- UPS(無停電電源)を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。

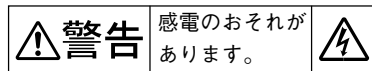
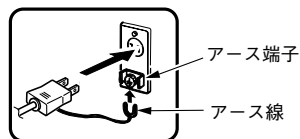
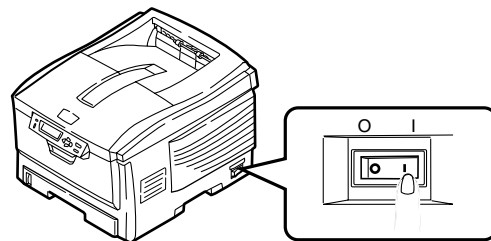
火災や感電のおそれがあります。

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードのみで使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格15A以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

1 電源コードを接続します。

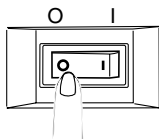
電源スイッチがOFF(○)になっていることを確認してください。

❶ 電源コードをプリンタに差し込みます。

❷ アース線をコンセントのアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

警告	感電のおそれがあります。

必ずアース線を接続してください。

2 電源スイッチのON（ | ）を押します。

完全に起動すると[オンライン]表示になります。

オンライン	. AUTO トレイ 1

電源を切ります

ML5400で内蔵ハードディスク(オプション)を取り付けていない場合や、ML5200、ML3100では、そのまま電源を切ってください。

 印刷中は電源を切らないでください。

ML5400で内蔵ハードディスク(オプション)を取り付けている場合は、いきなり電源を切らずに下記の手順で電源を切ります。

- いきなり電源を切ると、内蔵ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。
- [シャットダウン　メニュー]はオプションの内蔵ハードディスク装着時のみ表示されます。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[シャットダウン　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押し、[シャットダウン　スタート／ジッコウ]を表示します。

❸ 「設定」スイッチを押します。

[シャットダウン]と表示され、シャットダウン処理が開始されます。

❹ [デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら、電源スイッチのOFF(O)を押します。

メニューマップ/ステータスページ印刷をします

プリンタが正常に動作することを確認します。

ML5400、ML5200の場合

❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ ［＋］「メニュー＋」スイッチを数回押し、［インフォメーション　メニュー］を表示します。

❸ 「設定」スイッチを押し、［メニューマップ　インサツ／ジッコウ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

メニューマップ印刷が開始されます。（ML5400は2枚、ML5200は1枚）続いてネットワークの設定情報（Network Information）が印刷されます。（4枚）

（サンプル）　ML5400の例

MenuMap　　MICROLINE 5400

Printer Serial Number:3227B52JN1P0　プリンタ管理番号:
CU version:V1.02 [I01.03 U02.08 S2.4.2c B01.08 PPC750CXe 400MHz 00083311 00020020 F35 J0]
PU version:01.00.02 [PI02.21 L000.12.03]　ET:000000010506041C161B070001000000　KYMC-1111
PCL Program version:02.06 [0A.16 X01.06 P F]
PSE Program version:3010, PSE83 00.01　　DIMM Slot A:CU Program ROM
両面印刷:uninstalled トレイ1:A4
Total Memory Size:64 MB
Flash Memory:4 MB [F35]
HDD:uninstalled
JP1　LCD:T1　PNL:T1　DPR:1.3 32

インフォメーションメニュー	
メニューマップ印刷	
ファイルリスト印刷	
PCLフォント印刷	
PSEフォント印刷	
DEMO1	
エラーログ印刷	

印刷メニュー	
コピー枚数	1
給紙トレイ	トレイ1
自動トレイ切り替え	オン
トレイ選択順序	下方向
MPトレイの使い方	使用しない
用紙チェック	有効
解像度	600DPI
トナーセーブモード	オフ
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ

メディアメニュー	
トレイ1用紙サイズ	A4
トレイ1用紙タイプ	普通紙
トレイ1用紙厚	普通紙
MPトレイ用紙サイズ	A4
MPトレイ用紙タイプ	普通紙
MPトレイ用紙厚	普通紙
カスタム用紙設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル

カラーメニュー	
自動濃度補正モード	自動
濃度補正	
カラー調整	
シアン HIGHLIGHT	0
シアン MID-TONE	0
シアン DARK	0
マゼンタ HIGHLIGHT	0
マゼンタ MID-TONE	0
マゼンタ DARK	0
イエロー HIGHLIGHT	0
イエロー MID-TONE	0
イエロー DARK	0
ブラック HIGHLIGHT	0
ブラック MID-TONE	0
ブラック DARK	0
シアン濃度	0
マゼンタ濃度	0
イエロー濃度	0
ブラック濃度	0
自動色ずれ補正	
シアン位置ずれ微調整	0
マゼンタ位置ずれ微調整	0
イエロー位置ずれ微調整	0
インクシミュレーション	オフ
UCR	少ない
CMY100%濃度	無効
CMYK変換	オン

システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	60 分
動作モード	自動
セントロ PS-プロトコル	ASCII
USB PS-プロトコル	RAW
NET PS-プロトコル	RAW
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
マニュアルタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
エラーレポート印刷	オフ
言語	日本語

PCL エミュレーション	
使用フォント	内蔵フォント
フォントNo.	I000
フォントサイズ	12.00 ポイント
シンボルセット	WIN3.1J
A4印字幅	78 桁
白紙ページ除外	オフ
CR 動作	CR のみ
LF 動作	LF のみ
印刷領域	ノーマル
イメージ黒選択	混合黒
ペン幅補正	オン

セントロ メニュー	
セントロ	有効
双方向セントロ	有効
ECP	有効
ACK幅	狭い
ACK/BUSYタイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
オフライン受信	無効

USBメニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
SPEED	480Mbps
オフライン受信	無効
シリアルナンバ	有効

NETWORK MENU	
TCP/IP	ENABLE
NETBEUI	ENABLE
NETWARE	ENABLE
ETHERTALK	ENABLE
FRAME TYPE	AUTO
IP ADDRESS SET	MANUAL
IP ADDRESS	172. 2. 1. 99
SUBNET MASK	255.255.255. 0
GATEWAY ADDRESS	172. 2. 1.254
INITIALIZE NIC?	
WEB/IPP	ENABLE
TELNET	ENABLE
FTP	ENABLE
SNMP	ENABLE
LAN	NORMAL
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動
リソースセーブエリア	オフ
FLASHメモリ 初期化	

ML5200の例

MenuMap　　MICROLINE 5200

Printer Serial Number:AE43008844 ﾌﾟﾘﾝﾀ ｶﾝﾘ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:
CU version:J1.12 [I01.04 U02.09 S2.4.2k B01.07 PPC405PS 200MHz F35 J0]
PU version:01.02.02 [PI02.21 LO00.12.03] ET:000000010404041C261B090F01000000 KYMC-0000
Hiper-C version:00.14
ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾝｻﾂ:uninstalled ﾄﾚｲ1:A4
DIMM Slot A:CU Program ROM
Total Memory Size:32 MB
Flash Memory:2 MB [F35]
JP1 LCD:T1 PNL:T1
LimitedColorPrinting:FULL COLOR

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ ﾒﾆｭｰ	
ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ	
DEMO1	
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	
ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ	1
ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ1
ｼﾞﾄﾞｳ ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ	ｵﾝ
ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸｼﾞｭﾝｼﾞｮ	ｼﾀ ﾎｳｺｳ
MP ﾄﾚｲ ﾉ ﾂｶｲｶﾀ	ｼﾖｳｼﾅｲ
ﾖｳｼ ﾁｪｯｸ	ﾕｳｺｳ
ﾓﾉｸﾛ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	
ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4
ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ
ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ
MPﾄﾚｲ ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4
MPﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ
MPﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ
ｶｽﾀﾑﾖｳｼ ｻｲｽﾞ	ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
ﾖｳｼﾊﾊﾞ ｻｲｽﾞ	210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
ﾖｳｼﾅｶﾞｻ ｻｲｽﾞ	297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	
ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ ﾓｰﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ
ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ	
ｼﾞﾄﾞｳ ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ	
C ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0
M ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0
Y ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ	60 ﾌﾝ
ｱﾗｰﾑ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝ
ﾏﾆｭｱﾙ ﾀｲﾑｱｳﾄ	60 ﾋﾞｮｳ
ﾀｲﾑｱｳﾄ ｲﾝｻﾂ	90 ﾋﾞｮｳ
ﾄﾅｰﾌｿｸ ｲﾝｻﾂｹｲｿﾞｸ	ｹｲｿﾞｸ
ｼﾞｬﾑ ﾘｶﾊﾞｰ	ｵﾝ
ｴﾗｰ ﾚﾎﾟｰﾄ	ｵﾌ
ｹﾞﾝｺﾞ	ﾆﾎﾝｺﾞ
USB ﾒﾆｭｰ	
ｿﾌﾄ ﾘｾｯﾄ	ﾑｺｳ
SPEED	480Mbps
ｼﾘｱﾙﾅﾝﾊﾞ	ﾕｳｺｳ
NETWORK MENU	
TCP/IP	ENABLE
NETBEUI	DISABLE
IP ADDRESS SET	AUTO
IP ADDRESS	192.168.100.100
SUBNET MASK	255.255.255. 0
GATEWAY ADDRESS	192.168.100.254
INITIALIZE NIC?	
WEB/IPP	ENABLE
TELNET	ENABLE
FTP	ENABLE
SNMP	ENABLE
LAN	NORMAL
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

ﾒﾓﾘ ﾒﾆｭｰ	
ｼﾞｭｼﾝ ﾊﾞｯﾌｧ ｻｲｽﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ
FLASHﾒﾓﾘ ｼｮｷｶ	
ｼｽﾃﾑ ﾎｾｲ ﾒﾆｭｰ	
X ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
Y ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
ﾄﾞﾗﾑ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	ｵﾌ
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ	
ﾒﾆｭｰ ﾘｾｯﾄ	
ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲｦ ﾎｿﾞﾝ	
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｷﾉｳ	ﾕｳｺｳ
ﾌﾂｳｼ ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0
ﾌﾂｳｼ ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0
OHP ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0
OHP ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0
ｼﾞｭﾐｮｳ ﾒﾆｭｰ	
ﾄﾚｲ1 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	23
MPﾄﾚｲ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	16
ｶﾗｰ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	16
ﾓﾉｸﾛ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	22
K ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 99 %
C ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 99 %
M ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 99 %
Y ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 99 %
ﾍﾞﾙﾄ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 99 %
ﾃｲﾁｬｸｷ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 99 %
K ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K = 100 %
C ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K = 100 %
M ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K = 100 %
Y ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K = 100 %

ML3100の場合

❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ 「オンライン」スイッチを2秒押して放します。

オンラインLED(緑色)が点滅し、ステータスページ印刷が開始されます。
1枚のみ出力されます。

(サンプル)

Status Page　　MICROLINE 3100

Printer Serial Number:BA3C000003 ﾌﾟﾘﾝﾀ ｶﾝﾘ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:
CU version:H1.19 [I01.09 U02.12 S2.4.2t3 B01.05 SC209 00000000 00000000 00000000 PPC405PS 200MHz F35 J0]
PU version:01.02.05 [PI02.21 LO00.12.03] ET:000000010405041D1DFE090F00000000 KYMC-1111
Hiper-C version:00.14
DIMM Slot A:CU Program ROM
Total Memory Size:32 MB
Flash Memory:512 KB [F35]
JP1

ｼｮｳﾓｳﾋﾝ	
ｲﾝｻﾂﾍﾟｰｼﾞ ﾏｲｽｳ	
ﾄﾚｲ1	6
MPﾄﾚｲ	0
ｶﾗｰﾍﾟｰｼﾞ	1
ﾓﾉｸﾛﾍﾟｰｼﾞ	2
ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ﾉｺﾘ	
K ﾄﾅｰ	5K=100% 3K=100%
C ﾄﾅｰ	5K=100% 3K=100%
M ﾄﾅｰ	5K=100% 3K=100%
Y ﾄﾅｰ	5K=100% 3K=100%
K ﾄﾞﾗﾑ	98%
C ﾄﾞﾗﾑ	98%
M ﾄﾞﾗﾑ	98%
Y ﾄﾞﾗﾑ	98%
ﾍﾞﾙﾄ	99%
ﾌｭｰｻﾞ	99%
ﾄﾚｲ ｼﾞｮｳﾎｳ	
ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ1
ﾄﾚｲ1	
ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4
ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ
ﾖｳｼｱﾂ	ﾌﾂｳｼ
MPﾄﾚｲ	
ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4
ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ
ﾖｳｼｱﾂ	ﾌﾂｳｼ

ﾗﾝﾌﾟﾉｾﾂﾒｲ

ｵﾝﾗｲﾝ
ｳｵｰﾑｱｯﾌﾟ,ﾃﾞｰﾀ,ﾌﾟﾘﾝﾃｲﾝｸﾞ

ﾖｳｼｶﾝｹｲｴﾗｰ
ﾖｳｼﾅｼ,ﾃｻｼﾖｳｷｭｳ

ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｹｲｺｸ
K ﾄﾅｰｺｳｶﾝｼﾞｭﾝﾋﾞ ﾅﾄﾞ

ｴﾗｰ
ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ,ﾖｳｼｼﾞｬﾑ,ﾄﾞﾗﾑﾅｼ..

ｽｲｯﾁ ｿｳｻ

ON-LINE
StatusPageｲﾝｻﾂ(2ﾋﾞｮｳ ｵｽ)
Demo Pageｲﾝｻﾂ(5ﾋﾞｮｳ ｵｽ)

CANCEL
ｲﾝｻﾂ ｷｬﾝｾﾙ (2ﾋﾞｮｳ ｵｽ)

クイックガイドの収納

クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付け、クイックガイドをしまいます。
ML3100には、クイックガイド、クイックガイド専用袋は添付されていません。

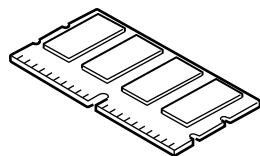
1 クイックガイド専用袋を裏側にして、両面テープ（2ヶ所）をはがします。

2 クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付けます。

注 プリンタの通気口を塞がないように貼り付けてください。

オプション品について

増設メモリ

プリンタのメモリ容量を増やすボードです。複雑なデータでメモリ不足のエラー[メモリーヲ　ツイカシテクダサイ]が発生するときや、部単位印刷で[チョウアイ　エラー]が表示されるときに追加します。

ML5400 増設メモリ

型名	メモリ量（総メモリ量）
なし(標準)	64MB（64MB）
MLMEM64C	+64MB（128MB）

ML5200/ML3100 増設メモリ

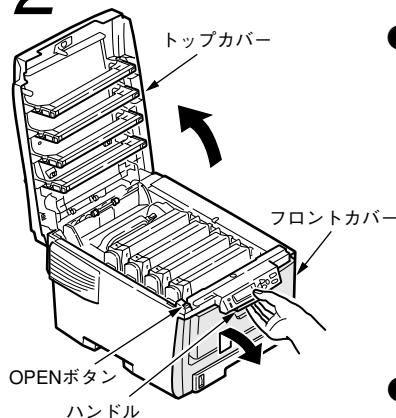
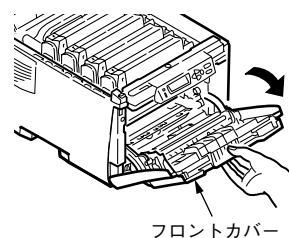
型名	メモリ量（総メモリ量）
なし(標準)	32MB（32MB）
MLMEM64B	+64MB（96MB）
MLMEM256B	+256MB（288MB）

- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- 両面印刷や製本印刷・長尺印刷を行う場合は、64MB増設メモリの追加を推奨します。
- メモリ用スロットは1スロットです。
- ML5200/ML3100増設メモリとML5400増設メモリは、互換性がありません。

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源をONのまま取り付けると、プリンタまたは増設メモリが故障するおそれがあります。

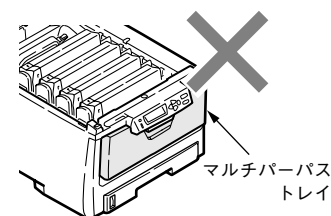
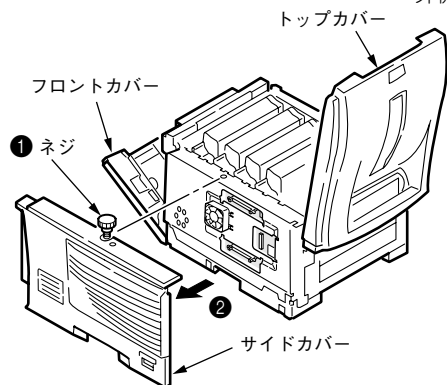
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

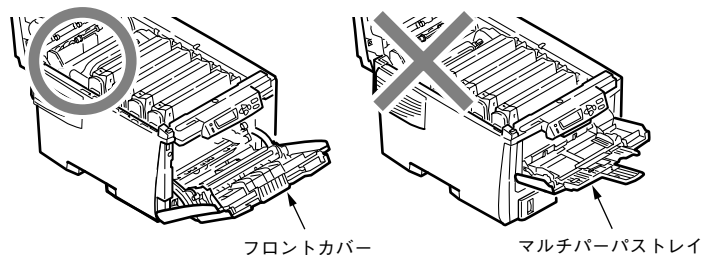
2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

❶ OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

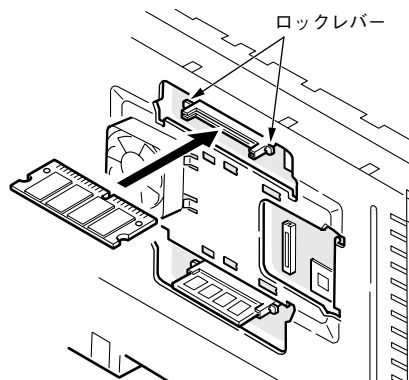
❷ フロントカバー中央のハンドルを押し上げ、フロントカバーを手前に開きます。

注 マルチパーパストレイとは開け方が異なります。(下図を参照)

3 サイドカバーを外します。

❶ネジ（1ケ所）をゆるめます。

❷サイドカバーを外します。
サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

メモ サイドカバーが外れない場合は、フロントカバーが開いているか確認してください。

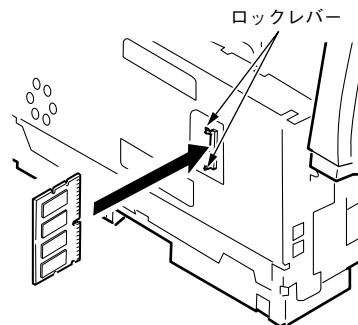
【フロントカバーが開いた状態】 【マルチパーパストレイが開いた状態】

4 メモリを取り付けます。

ML5400の場合

❶メモリを袋から取り出す前に､袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

❷空きスロットにメモリを差し込みます。

❸左右のロックレバーで確実に固定されていることを確認します。

- 電子部品やコネクタ端子には触らないでください。
- メモリの向きにご注意ください。メモリの端子部には切り欠き部分があり、スロットのコネクタと勘合するようになっています。

ML5200/ML3100の場合

❶メモリを袋から取り出す前に､袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

❷空きスロットにメモリを差し込みます。

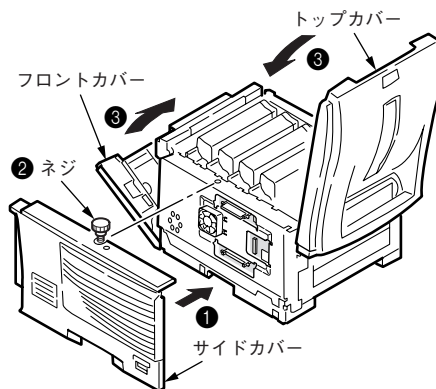
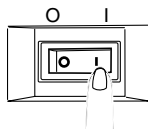
❸上下のロックレバーで確実に固定されていることを確認します。

- 電子部品やコネクタ端子には触らないでください。
- メモリの向きにご注意ください。メモリの端子部には切り欠き部分があり、スロットのコネクタと勘合するようになっています。

5 サイドカバーを取り付けます。

❶ サイドカバーを取り付けます。

❷ ネジ（1ケ所）で固定します。

❸ トップカバーとフロントカバーを閉じます。

6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

注 [サービスコール031：エラー]が表示された場合は、メモリを取り付け直してください。

7 メニューマップ/ステータスページ印刷を行い、増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

```
MenuMap
Printer Serial Number:3227B52JN1P0
CU version:V1.02 [ I01.03 U02.08 S2.
PU version:01.00.02 [ P102.21 L000.1
PCL Program version:02.06 [ 0A.16 X0
PSE Program version:3010, PSE83 00.0
両面印刷:uninstalled トレイ1:A4
Total Memory Size:128 MB
Flash Memory:4 MB [ F35 ]
HDD:10.06 GB [ F35 ]
JP1  LCD:T1  PNL:T1  DPR:1.3 32
```

❶ メニューマップ / ステータスページ印刷をします。

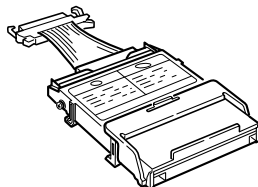
詳しくは「メニューマップ/ステータスページ印刷をします」(22ページ) をご覧ください。

❷ ヘッダ部分の「Total Memory Size」に表示される総メモリ量を確認します。

Total Memory Size の容量が正しく表示されない場合は、メモリを取り付け直してください。

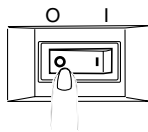
内蔵ハードディスク（ML5400のみ）

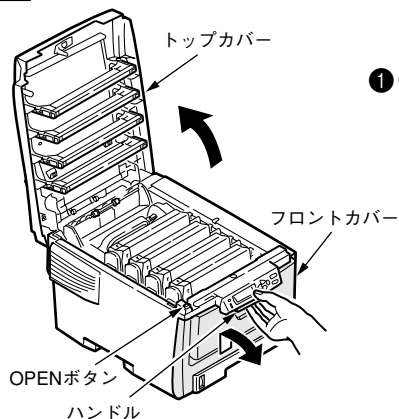
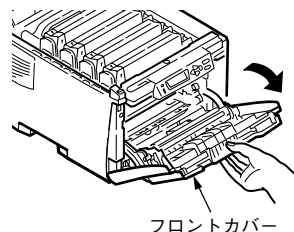
プリンタに追加する内蔵ハードディスクです。確認印刷、認証印刷、印刷ジョブの保存、バッファ印刷を行う場合や、部単位印刷で[チョウアイ　エラー]が表示されるときに使用します。フォントをダウンロードすることはできません。

内蔵ハードディスクを装着した場合はシャットダウンメニューを実行して電源を切ってください。いきなり電源を切ると、ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。

型名：MLHDD-C2A

メモ
ハードディスクは、「PCL」、「キョウツウ」および「PSE」の3つのパーティションに分割されており、出荷時またはハードディスク初期化時には各パーティションのサイズは下記のように割り当てられます。

PCL	20%
キョウツウ	50%
PSE	30%

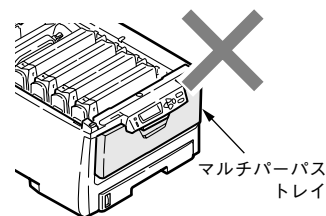
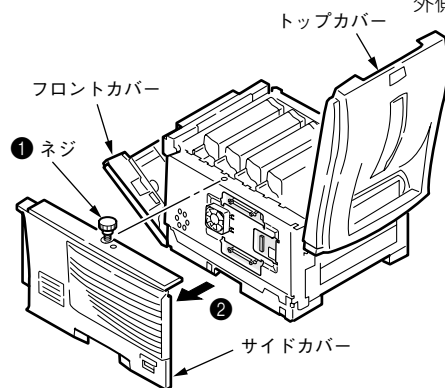
1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

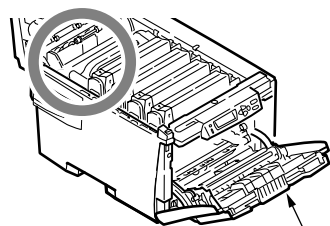
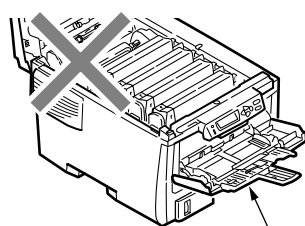
2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

❶ OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

❷ フロントカバー中央のハンドルを押し上げ、フロントカバーを手前に開きます。

注 マルチパーパストレイとは開け方が異なります。（下図を参照）

3 サイドカバーを外します。

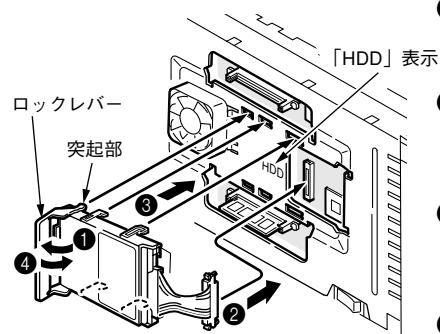
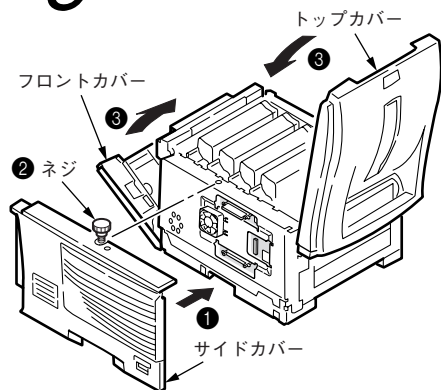
❶ネジ（1ケ所）をゆるめます。

❷サイドカバーを外します。
サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

メモ　サイドカバーが外れない場合は、フロントカバーが開いているか確認してください。

【フロントカバーが開いた状態】　【マルチパーパストレイが開いた状態】

4 内蔵ハードディスクを取り付けます。

❶内蔵ハードディスクのロックレバーを引き起こします。

❷内蔵ハードディスクを持ち、コントロール基板上のコネクタにケーブルを差し込みます。

❸「HDD」の表示のラインに合わせて内蔵ハードディスクをセットします。

❹ロックレバーをカチッと音がするまで倒します。

5 サイドカバーを取り付けます。

トップカバー
フロントカバー
❷ ネジ
サイドカバー

❶ サイドカバーを取り付けます。

❷ ネジ（1ケ所）で固定します。

❸ トップカバーとフロントカバーを閉じます。

6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

7 メニューマップ印刷を行い、内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていることを確認します。

```
MenuMap
Printer Serial Number:3227B52JN1P0
CU version:V1.02 [ I01.03 U02.08 S2.4
PU version:01.00.02 [ PI02.21 L000.12
PCL Program version:02.06 [ 0A.16 X01
PSE Program version:3010, PSE83 00.01
両面印刷:uninstalled トレイ1:A4
Total Memory Size:128 MB
Flash Memory:4 MB [ F35 ]
HDD:10.06 GB [ F35 ]
JP1 LCD:T1 PNL:T1 DPR:1.3 32
```

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ/ステータスページ印刷をします」(22ページ) をご覧ください。

❷「HDD」に内蔵ハードディスクの容量が表示されていることを確認します。

ハードディスクの容量は、左図の例とは異なる場合があります。

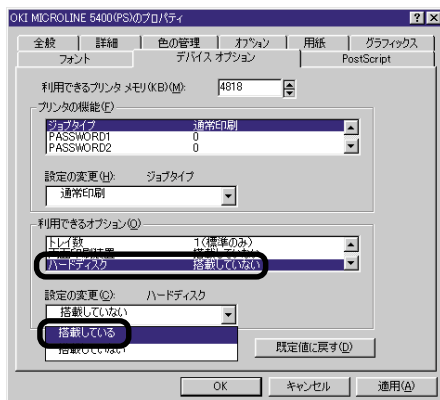
注 HDDの容量が表示されない場合は、内蔵ハードディスクを取り付け直してください。

続けて、プリンタドライバで内蔵ハードディスクを認識させるための設定が必要です。

プリンタドライバをセットアップしていない場合は、3章〜9章を参照して、プリンタドライバをセットアップした後、次ページ以降の手順で設定してください。

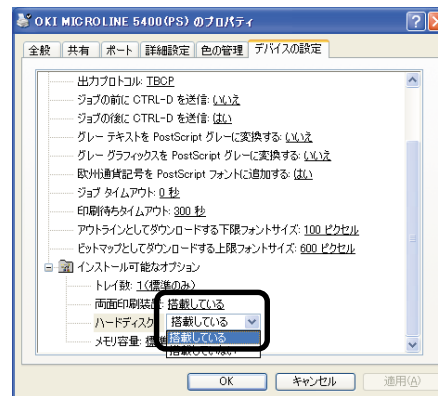
8 プリンタドライバで［ハードディスク］を設定します。

- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS Xでは設定する必要はありません。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバの場合

（WindowsMeの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MICROLINE 5400(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用できるオプション］で［ハードディスク］を、［設定の変更］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003 PSプリンタドライバの場合

（WindowsXPの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（Windows XPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷［OKI MICROLINE 5400(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［ハードディスク］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

- TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］（Windows NT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバでプリンタの情報を取得する機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows PCLプリンタドライバの場合

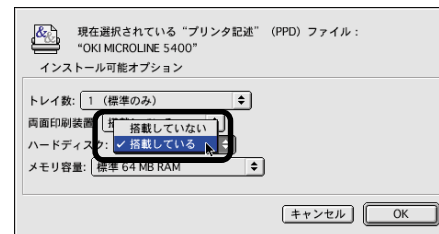
（WindowsXPの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタと FAX］を選択します。）

❷［OKI MICROLINE 5400(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［ハードディスク］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷［構成］をクリックします。

❸［ハードディスク］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

❹［セレクタ］を閉じます。

Macintosh（USB接続）の場合

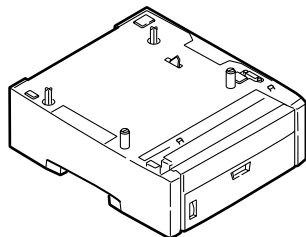
❶デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷デスクトップ・プリンタUtilityを使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB接続でMacintoshにセットアップします」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（147ページ）をご覧ください。

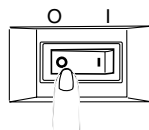
セカンドトレイユニット（ML5400、ML5200）

プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイです。トレイ2と呼ぶことがあります。連量70kg紙の場合530枚セットでき、標準の用紙カセット、マルチパーパストレイと合わせて930枚を連続して印刷できるようになります。

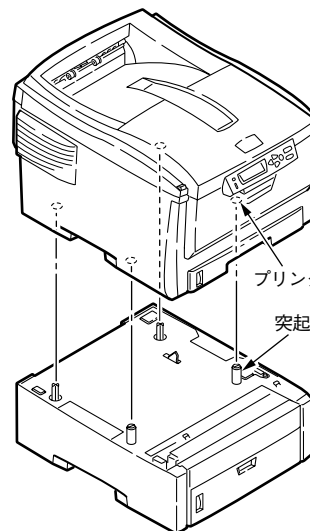
・ML3100では使用できません。
・A6用紙は使用できません。

型名：MLTRY-C4C1

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

2 プリンタをセカンドトレイユニットに載せます。

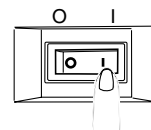
⚠注意 ケガをするおそれがあります。

このプリンタは約25kgあります。2人以上で持ち上げてください。

❶プリンタ底面の穴とセカンドトレイユニットの突起を合わせます。

❷プリンタをセカンドトレイユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

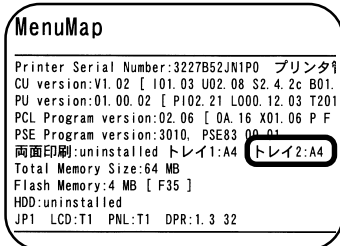
3 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

O I

［サービスコール182：エラー］が表示された場合は、セカンドトレイユニットを取り付け直してください。

1

オプション品について

4 メニューマップ印刷を行い、セカンドトレイユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

```
MenuMap
Printer Serial Number:3227B52JN1P0 プリンタ1
CU version:V1.02 [ 101.03 U02.08 S2.4.2c B01.
PU version:01.00.02 [ P102.21 L000.12.03 T201
PCL Program version:02.06 [ 0A.16 X01.06 P F
PSE Program version:3010, PSE83 00.01
両面印刷:uninstalled トレイ1:A4 トレイ2:A4
Total Memory Size:64 MB
Flash Memory:4 MB [ F35 ]
HDD:uninstalled
JP1  LCD:T1  PNL:T1  DPR:1.3 32
```

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ/ステータスページ印刷をします」(22ページ) をご覧ください。

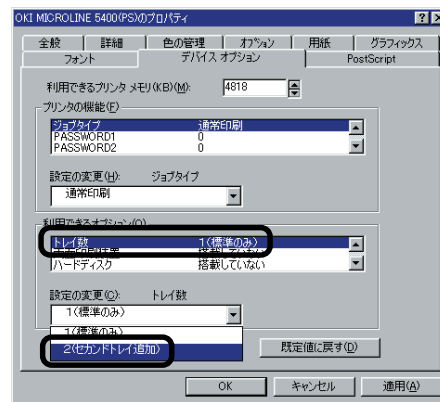
❷ ヘッダ部分に「トレイ2」が表示されていることを確認します。

トレイ2が表示されない場合は、セカンドトレイユニットを取り付け直してください。

5 プリンタドライバでトレイの数を設定します。

プリンタドライバでセカンドトレイユニットを認識させるための設定が必要です。
プリンタドライバをセットアップしていない場合は、3章～9章を参照し、プリンタドライバをセットアップしてから以下の設定を行ってください。

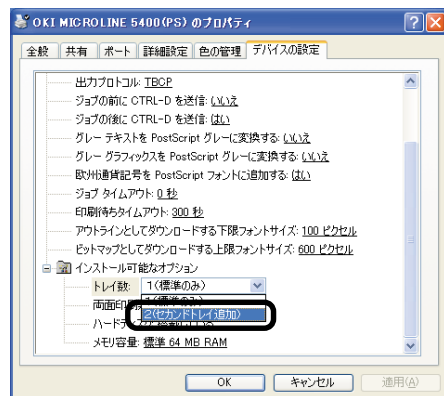
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- ML5200 Mac OS Xプリンタドライバでは設定する必要はありません。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバの場合（ML5400）

（WindowsMeの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MICROLINE 5400(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用できるオプション］で［トレイ数］を、［設定の変更］で［2（セカンドトレイ追加）］を選択し、［OK］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003 PSプリンタドライバの場合（ML5400）

（WindowsXPの画面）

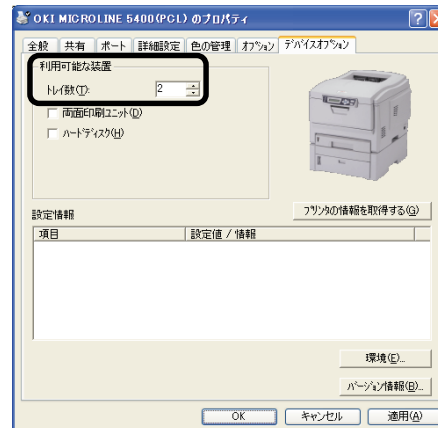
❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷［OKI MICROLINE 5400(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［トレイ数］で［2（セカンドトレイ追加）］を選択し、［OK］をクリックします。

- TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］(Windows NT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバでプリンタの情報を取得する機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows PCLプリンタドライバ（ML5400）およびWindowsプリンタドライバ（ML5200）の場合

（ML5400 WindowsXPの画面）

（ML5200 WindowsXPの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷［OKI MICROLINE 5400(PCL)］または［OKI MICROLINE 5200］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［トレイ数］で現在のトレイの総数を入力し、［OK］をクリックします。

メモ

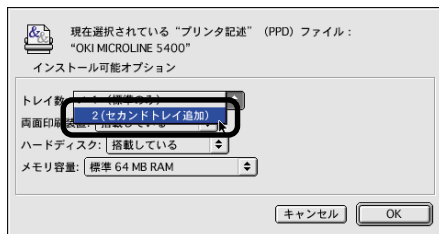
TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合（ML5400）

❶［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷［構成］をクリックします。

❸［トレイ数］で［2（セカンドトレイ追加）］を選択し、［OK］をクリックします。

❹［セレクタ］を閉じます。

Macintosh（USB接続）の場合（ML5400）

❶デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷デスクトップ・プリンタUtilityを使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB接続でMacintoshにセットアップします」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（147ページ）をご覧ください。

Mac OS Xの場合（ML5400）

❶ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2では［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリントセンター］、Mac OS X 10.1.5以前では［Applications］-［Utilities］-［Print Center］）をダブルクリックします。

❷［MICROLINE 5400］を選択し、［削除］をクリックします。

❸［プリンタを追加］をクリックします。

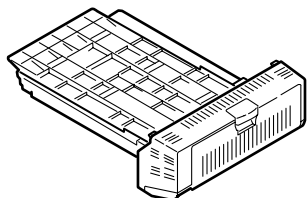
❹ネットワーク接続の場合は［AppleTalk］、USB接続の場合は［USB］を選択します。

❺プリンタ名を選択し（USB接続でMac OS X 10.2の場合、プリンタの機種で［oki］を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、［追加］をクリックします。

❻［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリントセンター］を閉じます。
（Mac OS X 10.2の場合、追加したプリンタ名を選択し、［プリンタ］-［情報を見る］メニューの［インストール可能なオプション］パネルの［トレイ数］で［2（セカンドトレイ追加）］を選択し、［変更を適用］をクリックします。）

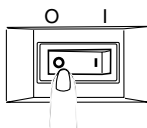
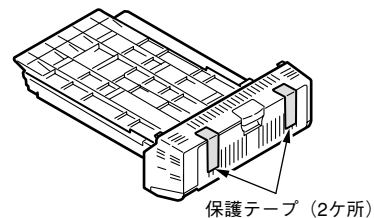
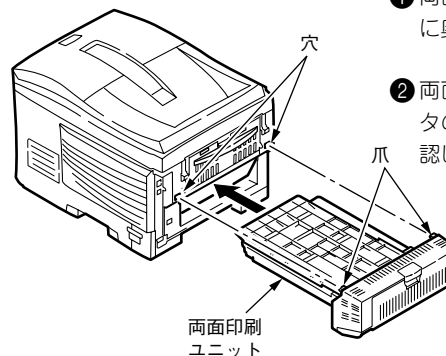
両面印刷ユニット（ML5400、ML5200）

用紙の両面に印刷するユニットです。

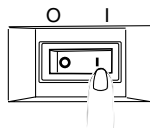
- ML3100では使用できません。
- 両面印刷には増設メモリの追加を推奨します。詳しくは「増設メモリ」（25ページ）をご覧ください。

型名：MLDXU-C4C

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注 電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（21ページ）をご覧ください。

2 両面印刷ユニットの保護テープ（2ヶ所）をはがします。

3 両面印刷ユニットを取り付けます。

❶ 両面印刷ユニットをプリンタ背面下部に奥までしっかりと差し込みます。

❷ 両面印刷ユニットの両端の爪がプリンタの穴にしっかり入っていることを確認してください。

4 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

注 [サービスコール181：エラー]が表示された場合は、両面印刷ユニットを取り付け直してください。

5 メニューマップ印刷を行い、両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

```
MenuMap

Printer Serial Number:3227B52JN1P0
CU version:V1.02 [ I01.03 U02.08 S2.
PU version:01.00.02 [ PI02.21 L000.1
PCL Program version:02.06 [ 0A.16 X0
PSE Program version:3010, PSE83 00.0
両面印刷:installed トレイ1:A4
Total Memory Size:64 MB
Flash Memory:4 MB [ F35 ]
HDD:uninstalled
JP1  LCD:T1  PNL:T1  DPR:1.3 32
```

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ/ステータスページ印刷をします」(22ページ) をご覧ください。

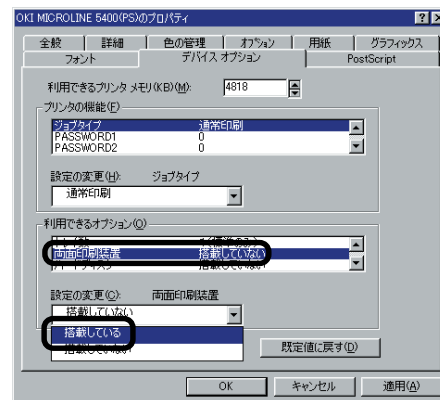
❷ ヘッダ部分に「両面印刷：installed」が表示されていることを確認します。

両面印刷ユニット：uninstalledが表示される場合は、両面印刷ユニットを取り付け直してください。

6 プリンタドライバで両面印刷ユニットの設定をします。

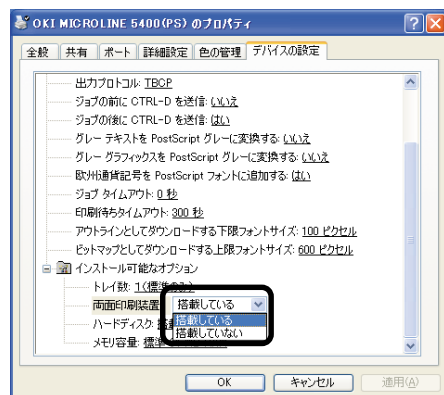
プリンタドライバで両面印刷ユニットを認識させるための設定が必要です。プリンタドライバをセットアップしていない場合は、3章～9章を参照し、プリンタドライバをセットアップしてから以下の設定を行ってください。

注 WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバの場合（ML5400）

（WindowsMeの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MICROLINE 5400(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用できるオプション］で［両面印刷装置］を、［設定の変更］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003 PSプリンタドライバの場合（ML5400）

（WindowsXPの画面）

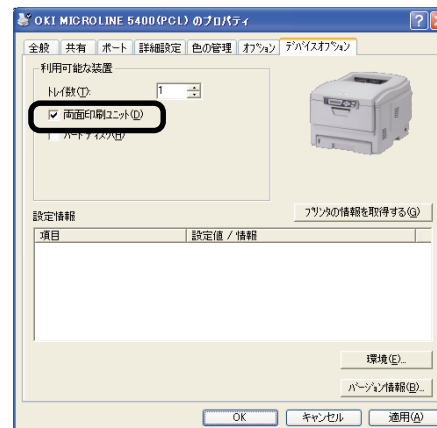
❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタと FAX］を選択します。）

❷［OKI MICROLINE 5400(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［両面印刷装置］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ
- TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］(Windows NT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］)をクリックすると、自動的に設定されます。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバでプリンタの情報を取得する機能を使用するためには、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

Windows PCLプリンタドライバ(ML5400)および Windowsプリンタドライバ(ML5200)の場合

（ML5400 WindowsXPの画面）

（ML5200 WindowsXPの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタと FAX］を選択します。）

❷［OKI MICROLINE 5400(PCL)］または［OKI MICROLINE 5200］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［両面印刷ユニット］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合（ML5400）

❶［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷［構成］をクリックします。

❸［両面印刷装置］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

❹［セレクタ］を閉じます。

Macintosh（USB接続）の場合（ML5400）

❶デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷デスクトップ・プリンタUtilityを使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB接続でMacintoshにセットアップします」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（147ページ）をご覧ください。

Mac OS Xの場合（ML5400）

❶ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2では［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリントセンター］、Mac OS X 10.1.5以前では［Applications］-［Utilities］-［Print Center］）をダブルクリックします。

❷［MICROLINE 5400］を選択し、［削除］をクリックします。

❸［プリンタを追加］をクリックします。

❹ネットワーク接続の場合は［AppleTalk］、USB接続の場合は［USB］を選択します。

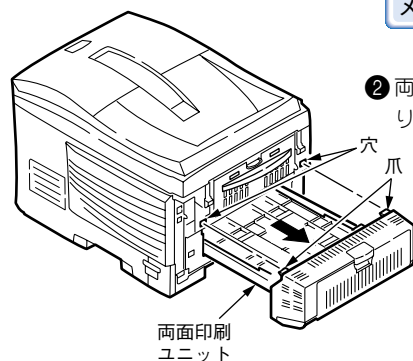
❺プリンタ名を選択し（USB接続でMac OS X 10.2の場合、プリンタの機種で［oki］を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、［追加］をクリックします。

❻［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリントセンター］を閉じます。
（Mac OS X 10.2の場合、追加したプリンタ名を選択し、［プリンタ］-［情報を見る］メニューの［インストール可能なオプション］パネルで［両面印刷装置］にチェックを付け、［変更を適用］をクリックします。）

メモ 両面印刷ユニットは以下の手順で外します。

❶プリンタの電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

❷両面印刷ユニットを持ち上げながら取り外します。

2 操作パネルとメニューについて

操作パネル

ML5400、ML5200の場合

「オンライン」ランプ(緑)

点灯：データを受信できる状態です。(オンライン)
点滅：受信したデータを処理しています。
消灯：データを受信できない状態です。(オフライン)

「点検」ランプ(赤)

点灯：ワーニングが発生しました。印刷は可能です。
点滅：エラーが発生しました。印刷できません。
消灯：通常状態です。

表示部

プリンタの状態や、障害が発生したときの内容を表示します。1行16文字で2行に表示します。

「メニュー ＋」スイッチ

オンライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。
オフライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。
メニュー中：　メニューの表示内容(カテゴリ、項目、値)を先に進めます。2秒以上押すと早送りします。

「戻る」スイッチ

オンライン中：メニューを抜けてオンラインに移行します。
オフライン中：無効です。
メニュー中：　(カテゴリ表示中)メニューを抜けてオンラインに移行します。
(項目表示中)表示項目のカテゴリを表示します。
(値点滅表示中)値の点滅表示を止め、確定値を表示します。

「メニュー －」スイッチ

オンライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。
オフライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。
メニュー中：　メニューの表示内容(カテゴリ、項目、値)を手前に戻します。2秒以上押すと早戻しします。

「設定」スイッチ

オンライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。
オフライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。
メニュー中：　(カテゴリ表示中)表示カテゴリの先頭項目および値を表示します。
(項目表示中)値表示を点滅させ、内容の変更を可能にします。
(値点滅表示中)メニューの値を確定します。

「オンライン」スイッチ

オンライン中：オフラインに移行します。
オフライン中：オンラインに移行します。
メニュー中：　メニューを抜けてオンラインに移行します。
エラー中：　「nnn：tttttt　ヨウシ　ガ　チガイマス」、「nnn：tttttt　サイズ　ガ　チガイマス」が表示されている場合は、現在セットされている用紙で強制的に印刷を実行します。
また、「mmm　ヲ　MPトレイニ　イレテ／オンライン　スイッチヲ　オシテクダサイ」が表示されている場合は、MPトレイに用紙セット後、このスイッチを押すと印刷します。

「キャンセル」スイッチ

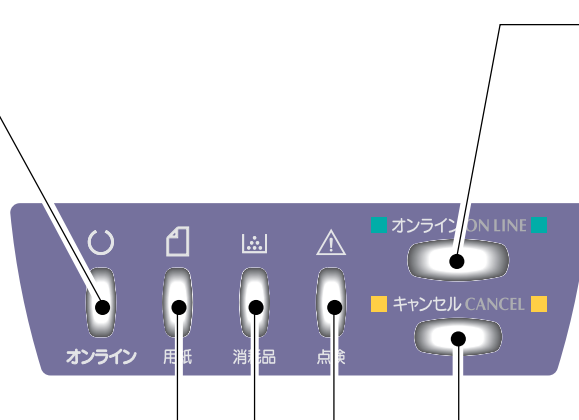
オンライン中：2秒以上押すと、処理中の1ジョブをキャンセルします。印刷中のジョブは印刷を中止して削除されます。受信中のジョブはそのジョブの区切りまで受信して削除されます。
オフライン中：2秒以上押すと、印刷または受信中断中のジョブを削除します。
メニュー中：　メニューを抜けてオンラインに移行します。処理中のジョブがあってもジョブの削除は行いません。
エラー中：　「nnn：ttttt　サイズガ　チガイマス」、「nnn：ttttt　ヨウシガ　チガイマス」、「nnn：ttttt　ヨウシガ　アリマセン」、「nnn：トレイ1　ガ　アイテイマス」、「nnn：トレイ1　ガ　アリマセン」が表示されている場合、2秒以上押すと処理中の1ジョブを削除します。受信中のジョブはそのジョブの区切りまで受信して削除されます。

ML3100の場合

「オンライン」ランプ(緑)

消灯：電源を切っている状態です。
点灯：データを受信できる状態(オンライン)です。
点滅1（2秒間隔）：
　オフライン状態（エラー発生中）です。
点滅2（0.5秒間隔）：
　データ受信、印刷中、ウォーミングアップ、濃度補正、濃度調整中です。
点滅3（0.12秒間隔）：
　ジョブキャンセル中です。
点滅4（4.5秒点灯、0.5秒消灯）：
　パワーセーブ中です。

「用紙」ランプ(橙)、「消耗品」ランプ(橙)、「点検」ランプ(橙)

消灯：オンライン状態です。
点灯：ワーニング発生状態です。（印刷は可能です）
点滅1（2秒間隔）：
　エラーが発生していますがオンライン/キャンセルスイッチを押すことにより復旧します。
点滅2（0.5秒間隔）：
　エラーが発生しています。消耗品交換、ジャム用紙除去などを行う必要があります。
点滅3（0.12秒間隔）：
　重障害エラーが発生しています。電源再投入後も発生する場合は、サービスコールが必要です。

「オンライン」スイッチ

オンライン中：2秒未満押すと、オフラインに移行します。
　2秒以上押すと、ステータスページを印刷します。
　5秒以上押すと、デモ印刷を行います。
オフライン中：2秒未満押すと、オンラインに移行します。
　2秒以上押すと、ステータスページを印刷します。
　5秒以上押すと、デモ印刷を行います。
「メモリオーバフロー」、「編集バッファオーバーフロー」、「データ受信無効」発生時：
　2秒未満押すと、エラーを解除します。
「用紙サイズまたはメディアタイプの不一致」発生時：
　2秒未満押すと、現在セットされている用紙で印刷を開始します。
「MPトレイ用紙セット＆オンライン要求」、「MPトレイ用紙無し」発生時：
　用紙をセットした後、2秒未満押すと、印刷を開始します。
「イエロー/マゼンタ/シアントナー交換済み？」発生時：
　5秒押すと、トナーが交換されたと認識します。

「キャンセル」スイッチ

「データ待機中」、「データ処理中」、「データ受信中」、「印刷中」発生時：
　2秒以上押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。
「用紙サイズまたはメディアタイプの不一致」、「MPトレイ用紙セット＆オンライン要求」、「トレイ1用紙無し」、「MPトレイ用紙無し」発生時：
　2秒以上押すと、現在処理を中断しているジョブをキャンセルします。
「イエロー/マゼンタ/シアントナー交換済み？」発生時：
　5秒押すと、トナーが交換されなかったと認識します。

プリンタのユーザメニュー一覧

ユーザメニューの各カテゴリを設定できます。
一覧で◎と表示される設定値は、プリンタドライバの設定が優先され、プリンタのユーザメニューで設定された値は無効になります。

ML3100では、ステータスモニタで設定できます。

変更方法

❶ ＋ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、設定する「カテゴリ」を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋ 「メニュー＋」スイッチまたは − 「メニュー－」スイッチを押し、設定する「項目」を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋ 「メニュー＋」スイッチまたは − 「メニュー－」スイッチを押し、「設定値」を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

メモ フラッシュメモリ、内蔵ハードディスク(オプション)の初期化や、内蔵ハードディスクのパーティションのサイズ変更、特定パーティションの初期化では、「ジッコウシマスカ？」と表示されます。実行してもよいかもう一度ご確認ください。

実行する場合は 「設定」スイッチを押します。続いて「スグニジッコウシマスカ？」と表示されます。

実行する場合は 「設定」スイッチを押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。[デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら電源をOFF/ONします。各変更が行われます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

「USBメニュー」、「セントロメニュー」カテゴリの設定値を変更したときは、電源をOFF/ONしてください。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

「設定値」の網かけは初期の値です。
◎：プリンタドライバの設定が優先
○：プリンタの設定が優先またはプリンタで設定が必要
－：プリンタドライバ使用時は無効

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｲﾝｻﾂ ｼﾞｮﾌﾞ ﾒﾆｭｰ ＊ (ML5400 のみ)	ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ	****	認証印刷、確認印刷のパスワードを4桁の数字(0～9)で設定します。 ＊：オプションのハードディスク装着時に表示。	○	○	○
	ｼﾞｮﾌﾞ ｾﾚｸﾄ	ｼﾞｮﾌﾞ ﾅｼ ｽﾍﾞﾃﾉ ｼﾞｮﾌﾞ (ﾌｧｲﾙ名)	印刷を行うジョブを設定します。 「ジョブナシ」以外は印刷可能なファイルがあるときに表示します。	○	○	○
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ ﾒﾆｭｰ　注)	ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	メニューリストを印刷します。	－	－	－
	ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ (ML5400 のみ)	ｼﾞｯｺｳ	ファイルリストを印刷します。	－	－	－
	PCL ﾌｫﾝﾄｲﾝｻﾂ (ML5400 のみ)	ｼﾞｯｺｳ	PCL のフォントリストを印刷します。	－	－	－
	PSE ﾌｫﾝﾄｲﾝｻﾂ (ML5400 のみ)	ｼﾞｯｺｳ	PS のフォントリストを印刷します。	－	－	－
	DEMO1	ｼﾞｯｺｳ	デモ印刷をします。	－	－	－
	ｴﾗｰﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ (ML5400 のみ)	ｼﾞｯｺｳ	エラーログを印刷します。	－	－	－
ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ ﾒﾆｭｰ ＊	ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ ｽﾀｰﾄ (ML5400 のみ)	ｼﾞｯｺｳ	ファイルシステム保護のために電源オフシーケンスを行います。 ＊：オプションのハードディスク装着時に表示。	○	○	○

注）プリントジョブアカウンティング(ML5400、ML5200のオプション)で[ローカルプリント]が[印刷不可]または[カラー印刷不可](ML5400のみ)に設定されている場合には印刷できません。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ	1 ～ 999	コピー枚数を設定します。	◎	◎	◎
	ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾝｻﾂ * (ML5400 のみ)	ｵﾝ ｵﾌ	両面印刷を指定します。 *：オプションの両面印刷ユニット装着時に表示。	◎	◎	◎
	ﾄｼﾞｶﾀ * (ML5400 のみ)	ﾖｺﾄｼﾞ ﾀﾃﾄｼﾞ	両面印刷の綴じ方を指定します。 *：オプションの両面印刷ユニットを装着し、[リョウメン　インサツ] が [オン] のときに表示。	◎	◎	◎
	ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ1 ﾄﾚｲ2　* MP ﾄﾚｲ	給紙トレイを選択します。 *：トレイ２は、オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	◎	◎	◎
	ｼﾞﾄﾞｳ ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ	ｵﾝ ｵﾌ	自動トレイ切替をするかどうか設定します。	◎	◎	◎
	ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸｼﾞｭﾝ ｼﾞｮ	ｼﾀ ﾎｳｺｳ ｳｴ ﾎｳｺｳ ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	自動トレイ選択 / 自動トレイ切り換え時の、選択順序の優先順位を指定します。	○	○	○
	MP ﾄﾚｲ ﾉ ﾂｶｲｶﾀ	ﾖｳｼﾁｶﾞｲ ﾉ ﾄｷ ｼﾖｳｼﾅｲ	マルチパーパストレイの使い方を設定します。	○	○	○
	ﾖｳｼﾁｪｯｸ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	用紙サイズのチェックをするかどうか設定します。	◎	◎	◎
	ｶｲｿﾞｳﾄﾞ (ML5400 のみ)	600 × 1200DPI 600DPI	解像度を選択します。	◎	◎	◎
	ﾄﾅｰｾｰﾌﾞﾓｰﾄﾞ (ML5400 のみ)	ｵﾝ ｵﾌ	トナーセーブモードの有効 / 無効を切り替えます。	◎	◎	◎
	ﾓﾉｸﾛ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ (ML5400/ 5200)	ｼﾞﾄﾞｳ 24PPM 16PPM 20PPM	モノクロ印刷速度を設定します。 詳しくは、「モノクロ（白黒）を高速で印刷したい」（応用編）をご覧ください。	○	○	○
	ﾓﾉｸﾛ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ (ML3100)	ｼﾞﾄﾞｳ 12PPM 20PPM	モノクロ印刷速度を設定します。 詳しくは、「モノクロ（白黒）を高速で印刷したい」（応用編）をご覧ください。	○	○	○
	ｲﾝｻﾂ ﾎｳｺｳ (ML5400 のみ)	ﾀﾃ ﾖｺ	印刷方向を設定します。	◎	◎	◎
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	1ﾍﾟｰｼﾞ ｷﾞｮｳｽｳ (ML5400 のみ)	5 ｷﾞｮｳ ～ 60 ｷﾞｮｳ ～ 64 ｷﾞｮｳ ～ 128 ｷﾞｮｳ	1 ページに印刷できる行数を設定します。	－	－	－
	ﾍﾝｼｭｳ ｻｲｽﾞ (ML5400 のみ)	ｶｾｯﾄ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ LETTER EXECUTIVE LEGAL 14 LEGAL 13.5 LEGAL 13 A4 A5 A6 B5 ｶｽﾀﾑ COM-9 ENVELOPE COM-10 ENVELOPE MONARCH ENV DL ENVELOPE C5 ENVELOPE ﾊｶﾞｷ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ ﾌｳﾄｳ1 ﾌｳﾄｳ2 ﾌｳﾄｳ3 ﾌｳﾄｳ4	コンピュータから用紙サイズを指定しなかった場合の用紙の編集サイズを設定します。[カセット　ヨウシ　サイズ] を選択すると、現在選択されているトレイの用紙サイズを編集サイズとします。	－	－	－
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4 A5 A6 B5 LEGAL 14 LEGAL 13.5 LEGAL 13 LETTER EXECUTIVE ｶｽﾀﾑ	トレイ 1 の用紙サイズを設定します。	○	○	○
	ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾗｲｶﾐ	トレイ 1 の用紙種類を設定します。	◎	◎	◎
	ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱｳｪｲﾄ	ﾌﾂｳｼ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ	トレイ 1 の用紙厚さを設定します。	◎	◎	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼｻｲｽﾞ * （ML5400/ 5200）	A4 A5 B5 LEGAL 14 LEGAL 13.5 LEGAL 13 LETTER EXECUTIVE ｶｽﾀﾑ	トレイ２の用紙サイズを設定します。 *：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	○	○	○
	ﾄﾚｲ2 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ * （ML5400/ 5200）	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ	トレイ２の用紙種類を設定します。 *：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	◎	◎	◎
	ﾄﾚｲ2 ﾒﾃﾞｨｱｳｪｲﾄ * （ML5400/ 5200）	ﾌﾂｳｼ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	トレイ２の用紙厚さを設定します。 *：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	◎	◎	◎
	MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4 A5 A6 B5 LEGAL 14 LEGAL 13.5 LEGAL 13 LETTER EXECUTIVE ｶｽﾀﾑ COM-9 ENVELOPE COM-10 ENVELOPE MONARCH ENV DL ENVELOPE C5 ENVELOPE ﾊｶﾞｷ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ ﾌｳﾄｳ1 ﾌｳﾄｳ2 ﾌｳﾄｳ3 ﾌｳﾄｳ4	マルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。	○	○	○
	MP ﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ OHP ﾗﾍﾞﾙｼ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ	マルチパーパストレイの用紙種類を設定します。	◎	◎	◎
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	MP ﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	マルチパーパストレイの用紙厚さを設定します。	◎	◎	◎
	ｶｽﾀﾑﾖｳｼ ｻｲｽﾞ	ｲﾝﾁ ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙を設定するときの単位を設定します。	◎	◎	◎
	ﾖｳｼﾊﾊﾞ ｻｲｽﾞ	64 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 216 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙の用紙幅を設定します。「カスタムヨウシ　サイズ」で［インチ］を選択するとインチに換算した値になります。	◎	◎	◎
	ﾖｳｼﾅｶﾞｻ ｻｲｽﾞ	148 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 1200 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙の用紙長を設定します。「カスタムヨウシ　サイズ」で［インチ］を選択するとインチに換算した値になります。	◎	◎	◎
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ ﾓｰﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭﾄﾞｳ	濃度補正と階調補正を自動で行うか設定します。	○	○	○
	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ	ｼﾞｯｺｳ	実行を選択すると、プリンタは直ちに濃度補正を行います。アイドル状態で実行してください。	○	○	○
	ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲ (ML5400 のみ)	ﾊﾟﾀｰﾝ ｲﾝｻﾂ	カラー調整パターンを印刷します。 注: プリントジョブアカウンティング（オプション）で［ローカルプリント］が［印刷不可］または［カラー印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。	○	○	○
	C HIGHLIGHT (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○	○	○
	C MID-TONE (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	C DARK (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○	○	○
	M HIGHLIGHT (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○	○	○
	M MID-TONE (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○	○	○
	M DARK (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○	○	○
	Y HIGHLIGHT (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○	○	○
	Y MID-TONE (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○	○	○
	Y DARK (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	K HIGHLIGHT (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○	○	○
	K MID-TONE (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○	○	○
	K DARK (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○	○	○
	C ﾉｳﾄﾞ (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。 4色分設定後、「カラーメニュー」の「ノウド　ホセイ」を実行してください。	○	○	○
	M ﾉｳﾄﾞ (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。 4色分設定後、「カラーメニュー」の「ノウド　ホセイ」を実行してください。	○	○	○
	Y ﾉｳﾄﾞ (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。 4色分設定後、「カラーメニュー」の「ノウド　ホセイ」を実行してください。	○	○	○
	K ﾉｳﾄﾞ (ML5400 のみ)	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。 本設定は濃度補正実行後の印刷から有効になります。 4色分設定後、「カラーメニュー」の「ノウド　ホセイ」を実行してください。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内 容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	ｼﾞﾄﾞｳ ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ	ｼﾞｯｺｳ	このメニューを実行すると、プリンタは自動色ずれ補正動作を実行します。アイドル状態で実行してください。	○	○	○
	C ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの画像位置ズレを微調整します。	○	○	○
	M ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの画像位置ズレを微調整します。	○	○	○
	Y ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの画像位置ズレを微調整します。	○	○	○
	ｲﾝｸｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ (ML5400 のみ)	ｵﾌ SWOP EUROSCALE JAPAN	インクシミュレーションを設定します。この設定はPS言語ジョブに対してのみ有効です。	◎	ー	◎
	UCR (ML5400 のみ)	ｽｸﾅｲ ﾌﾂｳ ｵｵｲ	カラー印刷するときの墨版（黒）の量を選択できます。墨版の量を多くすると他の3色のトナー量の節約になります。	○	○	○
	CMY 100% ﾉｳﾄﾞ (ML5400 のみ)	ﾑｺｳ ﾕｳｺｳ	CMY100%階調値に対する100%出力を有効とするかどうかを選択します。	○	○	○
	CMYKﾍﾝｶﾝ (ML5400 のみ)	ｵﾝ ｵﾌ	［オフ］にすると、ポストスクリプト印刷データの中でCMYKデータを多用される場合に印字時間を短縮するのに有効です。ただし、印刷結果の色合いが変わります。また、インクシミュレーション機能を利用する場合にはこのメニュー設定は無効になります。	○	ー	○

カテゴリ	操作パネル表示		内 容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ	5 ﾌﾝ 15 ﾌﾝ 30 ﾌﾝ 60 ﾌﾝ 240 ﾌﾝ	省電力モードに入るまでの時間を設定します。	○	○	○
	ﾄﾞｳｻﾓｰﾄﾞ (ML5400 のみ)	ｼﾞﾄﾞｳ PCL PS3 ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	プリント言語を選択します。[ジドウ]にするとプリント言語を自動切替えします。	○	○	○
	ｾﾝﾄﾛ PS-ﾌﾟﾛﾄｺﾙ (ML5400 のみ)	ASCII RAW	セントロからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。	○	ー	ー
	USB PS-ﾌﾟﾛﾄｺﾙ (ML5400 のみ)	ASCII RAW	USBからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。	○	ー	○
	NET PS-ﾌﾟﾛﾄｺﾙ (ML5400 のみ)	ASCII RAW	ネットワークカードからのデータのPS通信プロトコルのモードを指定します。	○	ー	○
	ｱﾗｰﾑ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝ ｼﾞｮﾌﾞ	PS：この設定によらずジョブ中のみエラーを表示します。 PCL：復旧可能エラー表示の解除タイミングを設定します。 ［オン］は「オンライン」スイッチを押すまでエラーを表示します。 ［ジョブ］は次のジョブを受信するまでエラーを表示します。	ー	○	ー
	ｴﾗｰ ｼﾞﾄﾞｳ ｶｲｼﾞｮ (ML5400 のみ)	ｵﾝ ｵﾌ	メモリオーバフロー発生時、自動的にプリンタを復旧させるかを設定します。	ー	○	ー
	ﾏﾆｭｱﾙ ﾀｲﾑｱｳﾄ	60 ﾋﾞｮｳ 30 ﾋﾞｮｳ ｵﾌ	手差し印刷時の用紙がセットされるのを待つ時間を設定します。	○	○	○
	ﾀｲﾑｱｳﾄ ｲﾝｻﾂ	ｵﾌ 5 ﾋﾞｮｳ 〳 40 ﾋﾞｮｳ 〳 90 ﾋﾞｮｳ 〳 300 ﾋﾞｮｳ	データを受信しなくなってから強制印刷するまでの時間を設定します。 PSはジョブをキャンセルします。 （ML5400の初期値は［40 ビョウ］、ML5200の初期値は［90 ビョウ］）	◎	○	◎
	ﾄﾅｰﾌｿｸ ｲﾝｻﾂｹｲｿﾞｸ	ｹｲｿﾞｸ ﾁｭｳｼ	［トナー　フソク］が表示されたときに印刷を継続させるかどうか設定します。チュウシの場合は［***　トナーフソク］(***はトナー色）が表示されるとオフライン状態になります。	○	○	○
	ｼﾞｬﾑ ﾘｶﾊﾞｰ	ｵﾝ ｵﾌ	紙づまりの後、つまったページから印刷するかどうか設定します。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	ｴﾗｰ ﾚﾎﾟｰﾄ	ｵﾝ ｵﾌ	ポストスクリプトエラーが発生したとき、エラーレポートを印刷するかどうか設定します。	◎	ー	◎
	ｹﾞﾝｺﾞ	ﾆﾎﾝｺﾞ ｴｲｺﾞ	操作パネルの表示言語を設定します。	○	○	○
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ (ML5400 のみ)	ｼﾖｳ ﾌｫﾝﾄ	ﾅｲｿﾞｳ ﾌｫﾝﾄ ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ﾌｫﾝﾄ	使用するフォントの場所を指定します。［ダウンロードフォント］は RAM にフォントがダウンロードされている場合に表示されます。	ー	ー	ー
	ﾌｫﾝﾄ No.	I000 〜	使用するフォントの番号を選択します。	ー	ー	ー
	ﾌｫﾝﾄ ﾋﾟｯﾁ	0.44 CPI 〜 10.00 CPI 〜 99.99 CPI	フォントの幅を設定します。 （単位：character/inch） ［フォント No.］で選択されたフォントが固定スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。	ー	ー	ー
	ﾌｫﾝﾄ ｻｲｽﾞ	4.00 ﾎﾟｲﾝﾄ 〜 12.00 ﾎﾟｲﾝﾄ 〜 999.75 ﾎﾟｲﾝﾄ	フォントの高さを設定します。 （単位：ポイント） ［フォント No.］で選択されたフォントが比例スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。	ー	ー	ー
	ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ	WIN3.1J* 〜	シンボルセットを選択します。	ー	ー	ー
	A4 ｲﾝｼﾞ ﾊﾊﾞ	78 ｹﾀ 80 ｹﾀ	A4 用紙の自動改行する桁数を設定します。	ー	ー	ー
	ﾊｸｼ ﾍﾟｰｼﾞ ｼﾞｮｶﾞｲ	ｵﾌ ｵﾝ	空白ページを印刷しないようにするか設定します。	ー	ー	ー
	CR ﾄﾞｳｻ	CR ﾉﾐ CR+LF	CR コード受信時の動作を設定します。	ー	ー	ー
	LF ﾄﾞｳｻ	LF ﾉﾐ LF+CR	LF コード受信時の動作を設定します。	ー	ー	ー
	ｲﾝｻﾂ ﾘｮｳｲｷ	ﾉｰﾏﾙ 1/5 ｲﾝﾁ 1/6 ｲﾝﾁ	用紙の印刷不可能領域を設定します。	ー	ー	ー
	ｲﾒｰｼﾞ ｸﾛ ｾﾝﾀｸ	ｺﾝｺﾞｳ ｸﾛ ﾀﾝｼｮｸ ｸﾛ	イメージデータの黒を CMYK 混色で印刷するか、ブラックトナーのみで印刷するか設定します。	ー	◎	ー
	ﾍﾟﾝﾊﾊﾞ ﾎｾｲ	ｵﾝ ｵﾌ	細い線を見えるように補正します。	ー	◎	ー

カテゴリ	操作パネル表示		内容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｾﾝﾄﾛ ﾒﾆｭｰ (ML5400 のみ)	ｾﾝﾄﾛ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	パラレルインタフェースの有効／無効を設定します。	○	○	ー
	ｿｳﾎｳｺｳ ｾﾝﾄﾛ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	双方向通信の有効／無効を設定します。	○	○	ー
	ECP	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	ECP モードの有効／無効を設定します。	○	○	ー
	ACK ﾊﾊﾞ	ｾﾏｲ ﾌﾂｳ ﾋﾛｲ	コンパチ受信時の ACK 幅を設定します。	○	○	ー
	ACK/BUSY ﾀｲﾐﾝｸﾞ	ACK IN BUSY ACK WHILE BUSY	コンパチ受信時の BUSY 信号と ACK 信号の出力順序を設定します。	○	○	ー
	I-PRIME	3 ﾏｲｸﾛﾋﾞｮｳ 50 ﾏｲｸﾛﾋﾞｮｳ ﾑｺｳ	I-PRIME 信号の有効時間／無効を設定します。	○	○	ー
	ｵﾌﾗｲﾝ ｼﾞｭｼﾝ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでも、データ受信を行うかどうか設定します。	○	○	○
USB ﾒﾆｭｰ	USB (ML5400 のみ)	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	USB インタフェースの有効／無効を設定します。	○	○	○
	ｿﾌﾄ ﾘｾｯﾄ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	ソフトリセットコマンドの有効／無効を設定します。	○	○	○
	SPEED	12Mbps 480Mbps	USB インタフェースの最大転送速度を設定します。	○	○	○
	ｵﾌﾗｲﾝ ｼﾞｭｼﾝ (ML5400 のみ)	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	オフライン状態や復旧可能なエラーが発生しているときでも、データ受信を行うかどうか設定します。	○	○	○
	ｼﾘｱﾙ ﾅﾝﾊﾞｰ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	USB シリアルナンバーの有効／無効を指定します。 USB シリアルナンバーは、PC が接続されている USB デバイスを識別するために使用されます。	○	○	○
NETWORK MENU (ML5400/ 5200)	TCP/IP	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	NETBEUI	ENABLE DISABLE	NetBEUI プロトコルの有効 / 無効を設定します。ML5200 は初期値 DISABLE、ML5400 は初期値 ENABLE	○	○	○
	NETWARE (ML5400 のみ)	ENABLE DISABLE	NetWare プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	ETHERTALK (ML5400 のみ)	ENABLE DISABLE	EtherTalk プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
NETWORK MENU	FRAME TYPE (ML5400 のみ)	AUTO 802.2 802.3 ETHERNETII SNAP	フレームタイプを設定します。	○	○	○
	IP ADDRESS SET	AUTO MANUAL	IP アドレスの設定方法を設定します。TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。	○	○	○
	IP ADDRESS	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○	○	○
	SUBNET MASK	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○	○	○
	GATEWAY ADDRESS	192.168.100.254	ゲートウェイアドレスを設定します。TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○	○	○
	INITIALIZE NIC ?	EXECUTE	ネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。	○	○	○
	WEB/IPP	ENABLE DISABLE	WEB/IPP の有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	TELNET	ENABLE DISABLE	TELNET の有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	FTP	ENABLE DISABLE	FTP の有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	SNMP	ENABLE DISABLE	SNMP の有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	LAN	NORMAL SMALL	NORMAL：一般にはこの設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが 2,3 台の小さな LAN に接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL：コンピュータが 2,3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合に効率よく動作できない場合があります。	○	○	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
NETWORK MENU	HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	HUB LINK SETTING を設定します。	○	○	○
ﾒﾓﾘ ﾒﾆｭｰ	ｼﾞｭｼﾝ ﾊﾞｯﾌｧ ｻｲｽﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ 0.5MB 1MB 2MB 4MB 8MB 16MB	受信バッファサイズを設定します。装着しているメモリ容量により、設定値が異なります。	○	○	○
	ﾘｿｰｽｾｰﾌﾞ ｴﾘｱ (ML5400 のみ)	ｼﾞﾄﾞｳ ｵﾌ 0.5MB 1MB 2MB 4MB 8MB 16MB	フォントキャッシュエリアのサイズを設定します。装着しているメモリ容量により設定値が異なります。	○	○	○
	FLASHﾒﾓﾘ ｼｮｷｶ*1	ｼﾞｯｺｳ	FLASH メモリのイニシャライズを行います。	○	○	○
ﾃﾞｨｽｸ ﾒﾝﾃﾅﾝｽ*1*2 (ML5400 のみ) *2：オプションのハードディスク装着時に表示。	HDD ｼｮｷｶ	ｼﾞｯｺｳ	ハードディスクのパーティション分割を行い、各パーティションをフォーマットします。	○	○	○
	ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ ｻｲｽﾞ	ｼﾞｯｺｳ	パーティションサイズの変更を行います。	○	○	○
	PCL/ｷｮｳﾂｳ/PSE	nnn%/　mmm% ｌｌｌ%	変更後のパーティションサイズを割合で指定します。	○	○	○
	HDD ﾌｫｰﾏｯﾄ	PCL ｷｮｳﾂｳ PSE	指定パーティションのフォーマットを行います。	○	○	○

*1: プリントジョブアカウンティング(オプション)で「HDD/FLASH の初期化を禁止する」に設定している場合は非表示。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｼｽﾃﾑ ﾎｾｲ ﾒﾆｭｰ	X ﾎｾｲ	0.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 +2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 -0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	全体の印刷位置を0.25mm単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○	○	○
	Y ﾎｾｲ	0.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 +2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 -0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	全体の印刷位置を0.25mm単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。 PSではマイナス方向の補正は無効です。	○	○	○
	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ X ﾎｾｲ * (ML5400/5200)	0.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 +2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 -0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	両面印刷の裏面全体の印刷位置を0.25mm単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。 *：オプションの両面印刷ユニット装着時に表示。	○	○	○
	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ Y ﾎｾｲ * (ML5400/5200)	0.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 +2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 -0.25ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	両面印刷の裏面全体の印刷位置を0.25mm単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。 PSではマイナス方向の補正は無効です。 *：オプションの両面印刷ユニット装着時に表示。	○	○	○
	PCL ﾄﾚｲ2 ID # * (ML5400のみ)	1 〜 5 〜 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ2指定の#を指定します。 *：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	—	○	—
	PCL MP ﾄﾚｲ ID # (ML5400のみ)	1 〜 4 〜 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、マルチパーパストレイ指定の#を指定します。	—	○	—
	ﾄﾞﾗﾑｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	ｵﾌ ｵﾝ	印刷前にイメージドラムのクリーニング動作を行います。画質改善の効果がある場合があります。	◎	◎	◎
	ﾍｷｻ ﾀﾞﾝﾌﾟ (ML5400のみ)°	ｼﾞｯｺｳ	16進ダンプで印刷します。16進ダンプの印刷を終了するには、電源をOFFにします。	○	○	○

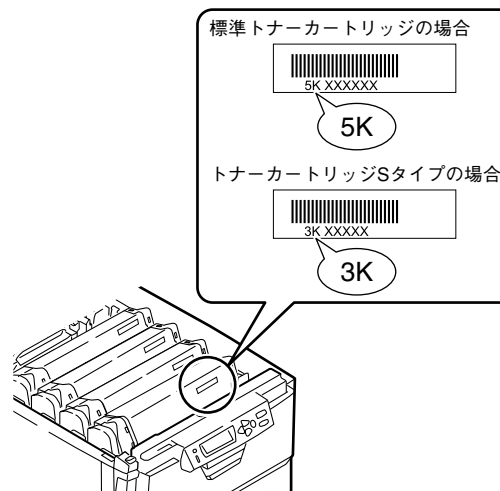
カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ	ﾒﾆｭｰ ﾘｾｯﾄ	ｼﾞｯｺｳ	メニューの設定値を初期化します。	○	○	○
	ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲｦ ﾎｿﾞﾝ	ｼﾞｯｺｳ	現在のメニュー設定を保存します。	○	○	○
	ﾎｿﾞﾝﾒﾆｭｰ ﾆ ﾓﾄﾞｽ	ｼﾞｯｺｳ	保存しているメニュー設定に変更します。 メニューを保存したときのみ表示されます。	○	○	○
	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｷﾉｳ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	パワーセーブモードの有効/無効を設定します。 有効時のパワーセーブ移行時間は［システムコウセイメニュー］の［パワーセーブ イコウジカン］で設定します。	○	○	○
	ﾌﾂｳｼ ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。	○	○	○
	ﾌﾂｳｼ ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。かすれる場合に値を変更します。	○	○	○
	OHP ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHPシートに印刷してかすれる場合に値を変更します。	○	○	○
	OHP ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	温度差による印字のばらつきを補正します。OHPシートに印刷してかすれる場合に値を変更します。	○	○	○

注 メモリメニュー、ディスクメンテナンスメニュー、システムホセイメニューは工場出荷時の設定ではユーザメニューに表示されません。管理者メニューで「MEMORY MENU」、「DISK MAINTENANCE」、「SYS ADJUST MENU」の設定を「ENABLE」に変更するとユーザメニューに表示されます。詳しくは55ページをご覧ください。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目(上段)	設定値(下段)				
ｼﾞｭﾐｮｳ ﾒﾆｭｰ	ﾄｰﾀﾙ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	総印刷枚数を表示します。	－	－	－
	ﾄﾚｲ1 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	トレイ１の総印刷枚数を表示します。	－	－	－
	ﾄﾚｲ2 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ*	nnnnnn	トレイ２の総印刷枚数を表示します。 ＊：オプションのセカンドトレイユニット装着時に表示。	－	－	－
	MPﾄﾚｲ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	マルチパーパストレイの総印刷枚数を表示します。	－	－	－
	ｶﾗｰ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	カラーページ印刷を行ったページ数を表示します。	－	－	－
	ﾓﾉｸﾛ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	モノクロページ印刷を行ったページ数を表示します。	－	－	－
	K ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	黒のドラムの残り寿命を表示します。	－	－	－
	C ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	シアンのドラムの残り寿命を表示します。	－	－	－
	M ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	マゼンタのドラムの残り寿命を表示します。	－	－	－
	Y ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	イエローのドラムの残り寿命を表示します。	－	－	－
	ﾍﾞﾙﾄ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	ベルトユニットの残り寿命を表示します。	－	－	－
	ﾃｲﾁｬｸｷ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ xxx %	定着器ユニットの残り寿命を表示します。	－	－	－
	K ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K=xxx % 3K=yyy %	黒トナーの残量を表示します。 5K=xxx%：標準トナーカートリッジ使用の場合 3K=yyy%：トナーカートリッジＳタイプ使用の場合	－	－	－
	C ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K=xxx % 3K=yyy %	シアントナーの残量を表示します。 5K=xxx%：標準トナーカートリッジ使用の場合 3K=yyy%：トナーカートリッジＳタイプ使用の場合	－	－	－
	M ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K=xxx % 3K=yyy %	マゼンタトナーの残量を表示します。 5K=xxx%：標準トナーカートリッジ使用の場合 3K=yyy%：トナーカートリッジＳタイプ使用の場合	－	－	－
ｼﾞｭﾐｮｳ ﾒﾆｭｰ	Y ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K=xxx % 3K=yyy %	イエロートナーの残量を表示します。 5K=xxx%：標準トナーカートリッジ使用の場合 3K=yyy%：トナーカートリッジＳタイプ使用の場合	－	－	－

トナー残量は目安です。以下の場合には正しい残量は表示されません。

- イメージドラム交換時に使用途中のトナーカートリッジを付けた場合

トナーカートリッジの見分け方

2 プリンタのユーザメニュー一覧

プリンタのアドミニストレータメニュー一覧

ユーザメニューの各カテゴリの有効/無効などを設定できます。無効のカテゴリはユーザメニューに表示されません。
システム管理者の方のみ使用してください。

ML3100は「プリンタ設定ユーティリティ」で設定します。プリンタ設定ユーティリティの使用方法は、応用編の「プリンタの設定を変更したい」をご覧ください。

変更方法

❶ プリンタの電源をOFFにします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

❷ 「設定」スイッチを押しながらプリンタの電源をONにします。
[OP MENU]が表示されたら指を離します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、設定する「カテゴリ」を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは −「メニュー−」スイッチを数回押し、設定する「項目」を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押します。

❼ ＋「メニュー＋」スイッチまたは −「メニュー−」スイッチを数回押し、「設定値」を表示します。

❽ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❾ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
OP MENU	ALL CATEGORY	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ユーザメニューのすべてのカテゴリの有効 / 無効を設定します。
	PRINT JOBS MENU (ML5400 のみ)	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インサツジョブメニューの有効 / 無効を設定します。
	INFORMATION MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インフォメーションメニューの有効 / 無効を設定します。
	SHUTDOWN MENU (ML5400 のみ)	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	シャットダウンメニューの有効 / 無効を設定します。
	PRINT MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	インサツメニューの有効 / 無効を設定します。
	MEDIA MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	メディアメニューの有効 / 無効を設定します。
	COLOR MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	カラーメニューの有効 / 無効を設定します。
	SYS CONFIG MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	システムコウセイメニューの有効 / 無効を設定します。
	PCL EMULATION (ML5400 のみ)	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	PCL エミュレーションメニューの有効 / 無効を設定します。
	PARALLEL MENU (ML5400 のみ)	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	セントロメニューの有効 / 無効を設定します。
	USB MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	USB メニューの有効 / 無効を設定します。
	NETWORK MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NETWORK メニューの有効 / 無効を設定します。
	MEMORY MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	メモリメニューの有効 / 無効を設定します。
	DISK MAINTENANCE (ML5400 のみ)	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ディスクメンテナンスメニューの有効 / 無効を設定します。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
OP MENU	SYS ADJUST MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	システムホセイメニューの有効 / 無効を設定します。
	MAINTE-NANCE MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	メンテナンスメニューの有効 / 無効を設定します。
	USAGE MENU	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ジュミョウメニューの有効 / 無効を設定します。
COLOR MENU	RESET C GAMMA	EXECUTE	シアンの濃度履歴データをリセットします。通常は使用しないでください。
	RESET M GAMMA	EXECUTE	マゼンタの濃度履歴データをリセットします。通常は使用しないでください。
	RESET Y GAMMA	EXECUTE	イエローの濃度履歴データをリセットします。通常は使用しないでください。
	RESET K GAMMA	EXECUTE	ブラックの濃度履歴データをリセットします。通常は使用しないでください。
BLOCK DEV MENU	INITIAL LOCK	YES NO	フラッシュメモリの初期化の有効 / 無効を設定します。［YES］にするとメモリメニューの［FLASH メモリショキカ］は表示されません。
CONFIG MENU	NEARLIFE LED	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	トナー残量が少なくなった場合や、ドラム、定着器、ベルトの寿命が近づいた場合に、点検ランプを点灯させるかを設定します。 ワーニングのメッセージは表示されます。
FILE SYS MAINTE（ML5400 のみ）	CHK FILE SYS	OFF FLASH HDD	ファイルシステムの空き容量と管理データの修復を行います。
	CHK ALL SECTORS	OFF ON	エラー訂正不能セクタの修正とファイルシステムの空き容量と管理データの修復を行います。
	HDD	ENABLE DISABLE	オプションのハードディスクの使用 / 不使用を設定します。
JOB LOG MENU（ML5400 のみ）	JOB LOG	ENABLE DISABLE	通常は DISABLE のまま変更しないでください。
PS MENU（ML5400 のみ）	L1 TRAY	TYPE1 TYPE2	TYPE1 設定時はレベル 1 オペレータのトレイ選択番号を 1 から有効とし、TYPE2 設定時は 0 から有効とします。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
SIDM MENU（ML5400 のみ）	SIDM MANUAL ID#	0 ～ 2 ～ 9	MANUAL-1 ID No. FX/PPR/ESCP エミュレーションでの CSF コントロールコマンド（ESC EM Pn）において MANUAL 指定の Pn を設定します。
	SIDM MANUAL2 ID#	0 ～ 3 ～ 9	MANUAL-2 ID No. FX/PPR エミュレーションでの CSF コントロールコマンド（ESC EM Pn）において MANUAL 指定の Pn を設定します。
	SIDM MP TRAY ID#	0 ～ 4 ～ 9	MP Tray ID No. FX/PPR/ESCP エミュレーションでの CSF コントロールコマンド（ESC EM Pn）において TRAY0（MP Tray）指定の Pn を設定します。
	SIDM TRAY1 ID#	0 1 ～ 9	Tray 1 ID No. FX/PPR/ESCP エミュレーションでの CSF コントロールコマンド（ESC EM Pn）において TRAY1 指定の Pn を設定します。
	SIDM TRAY2 ID#（実装時のみ表示）	0 ～ 2 ～ 5 ～ 9	Tray 2 ID No. FX/PPR/ESCP エミュレーションでの CSF コントロールコマンド（ESC EM Pn）において TRAY2 指定の Pn を設定します。

3 ネットワーク接続でWindowsにセットアップします（ML5400、ML5200）

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

- Windows Server 2003
  Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
  ただし、32ビット版のみの対応です。

- WindowsXP
  WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- WindowsMe/98/95
  WindowsMe/98/95日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

ML5200、ML3100はWindows95には対応していません。

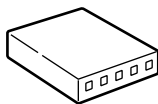
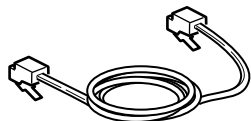
- Windows2000
  Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- WindowsNT4.0
  WindowsNT4.0日本語版の動作するコンピュータ（PSプリンタドライバはサービスパック5以上）
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51では動作しません。
- WindowsNT4.0は、ARC 互換RISCベースのプロセッサ（MIPS®シリーズ、Alpha、PowerPC™など）のシステムには対応していません。
- Windows95 PSプリンタドライバをインストールするためには、「Windows95日本語版オペレーティングシステムCD-ROM」あるいは「フロッピーディスク」が別途必要です。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをインストールするためには、「WindowsNT Server 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM」、「WindowsNT Workstation 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM」または「WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM」が別途必要です。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバの機能を全て使用するためには、「WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM」が必要です。
- 「WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM」は、マイクロソフト社ホームページの「Service Pack 6a CD-ROM申し込みのご案内」ページから入手することができます。

ケーブルを接続します

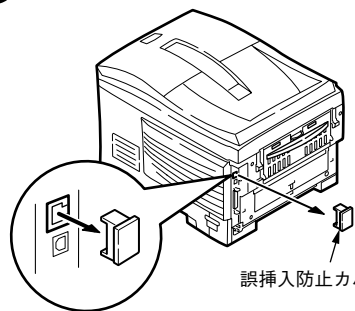
1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル(カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート)とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉 〈ハブ〉

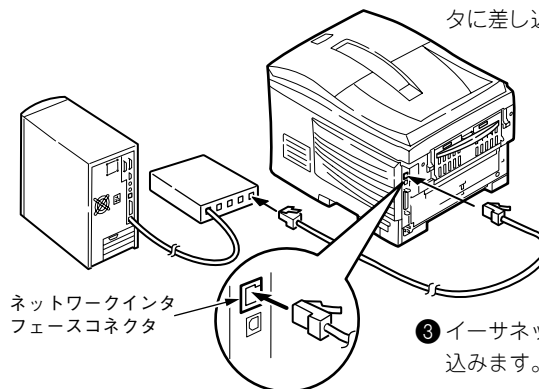
注 ML3100はネットワーク接続できません。

2 プリンタとコンピュータの電源をOFFにします。

メモ プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶プリンタのネットワークインタフェースコネクタに挿入されている誤挿入防止カバーを外します。

メモ 誤挿入防止カバーは捨てずに保管し、ネットワーク接続しない場合に挿入してください。

❷イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

メモ ネットワーク接続のセットアップ手順は、WindowsXP/2000/Server2003の場合、「WindowsXP/2000/Server2003にセットアップします」(60ページ)、WindowsMe/98/95/NT4.0の場合、「WindowsMe/98/95/NT4.0にセットアップします」(68ページ)をご覧ください。

WindowsXP/2000/Server2003にセットアップします

セットアップの流れ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

Windows に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバ、OKI LPRユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

- ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
- ML5200には、PSプリンタドライバはありません。

セットアップします

ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバ、BOOTPサーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
現在のプリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報(Network Information)については、「メニューマップ印刷をします」(22ページ)をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ(DHCPなど)は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ

・プリンタはネットワークPlug&Playに対応しています。接続しているコンピュータがすべてWindowsXP/2000/Server2003の場合や、接続しているルータがネットワークPlug&Playに対応している場合は、ネットワーク上にサーバが存在しなくても自動的にIPアドレスを設定します。コンピュータとプリンタにIPアドレスを手動で設定する必要はありませんので、「手順4　プリンタドライバをインストールします」(64ページ)からセットアップしてください。
・コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピュータ

IPアドレス	：192.168.0.1～254のいずれか
サブネットマスク	：255.255.255.0
ゲートウェイ	：0.0.0.0（使用しません）
DNS	：使用しません

プリンタ

IPアドレス	：192.168.0.1～254のいずれか（コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	：255.255.255.0
ゲートウェイ	：0.0.0.0
DHCP/BOOTPを使用する	：チェックしない
RARPを使用する	：チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決	：チェックしない
LAN	：SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	：WindowsXP Home Edition
プリンタ	：ML5400（PCL）
IPアドレス	：192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	：255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	：192.168.0.1

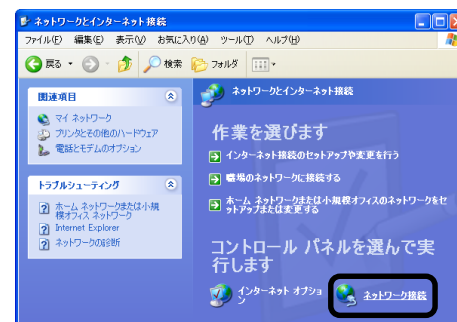
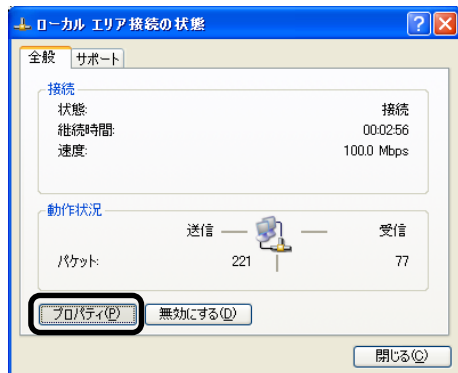
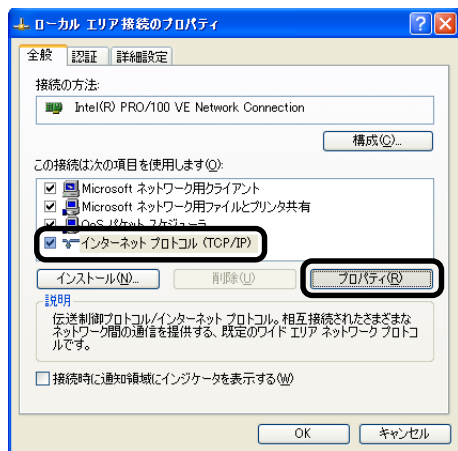
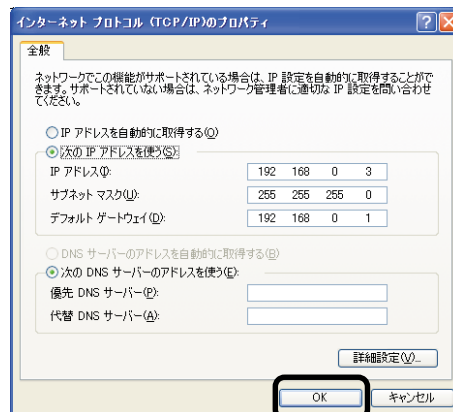
1 プリンタとコンピュータの電源をONにします。

2 WindowsにIPアドレス等を設定します。

すでにWindowsにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタにIPアドレス等を設定します」(63ページ)へ進みます。

❶ Windowsを起動します。

❷ WindowsXPの場合、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。
[コントロールパネルを選んで実行します]の[ネットワーク接続]をクリックします。

Windows2000/Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[ネットワーク接続]をクリックします。

❸ [ローカルエリア接続]をダブルクリックし、[プロパティ]をクリックします。

❹ [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し、[プロパティ]をクリックします。

❺ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバを入力し、[OK]をクリックします。

メモ
- DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択し、IPアドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。

❻ [ローカルエリア接続]を閉じます。

3 プリンタにIPアドレス等を設定します。

注 すでにプリンタにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順4「プリンタドライバをインストールします」(64ページ)へ進みます。

❶プリンタの電源をONにします。

❷「メニュー+」スイッチを数回押し、[NETWORK　MENU]を表示します。

❸「設定」スイッチを押します。

❹[TCP/IP/ENABLE　*]と表示されていることを確認します。

[TCP/IP/DISABLE　*]と表示されている場合は次の設定を行います。

① 「設定」スイッチを押します。

② 「メニュー+」スイッチを押し、[TCP/IP/ENABLE]を表示します。

③ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[*]を付けます。

④ 「戻る」スイッチを押します。

❺「メニュー+」スイッチを数回押し、[IP　ADDRESS]を表示します。

❻「設定」スイッチを押します。

❼「メニュー+」スイッチまたは「メニュー-」スイッチを数回押し、IPアドレスの1桁目の値にします。

❽「設定」スイッチを押し、次の桁に移動します。❼と❽を繰り返して、全ての桁の値を設定します。

❾「戻る」スイッチを押します。

以後、❹~❽を繰り返し、[SUBNET　MASK](サブネットマスク)、[GATEWAY　ADDRESS](ゲートウェイアドレス)を設定します。

❿「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

4 プリンタドライバをインストールします。

❶プリンタの電源がONで、Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

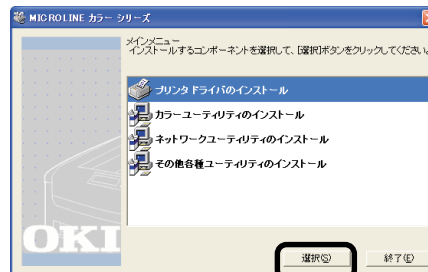
❷[スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

❸[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[ML_COLOR]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

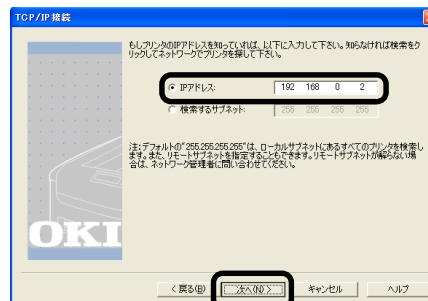
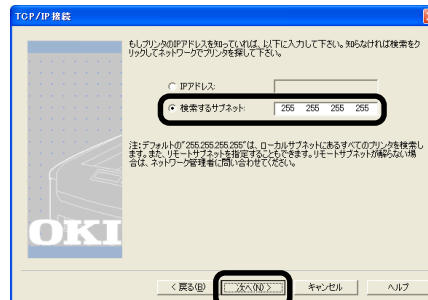
❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

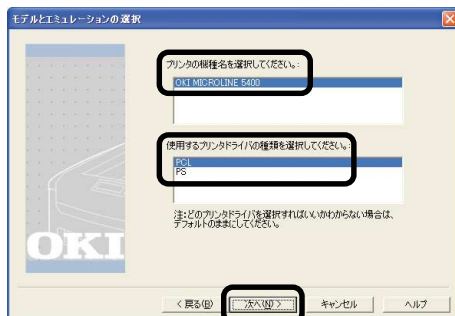
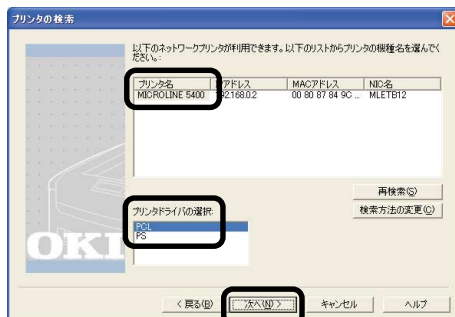
セットアッププログラムが起動します。

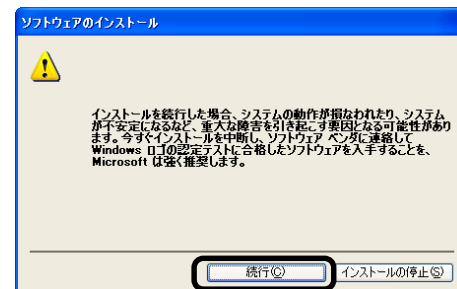
❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼[ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽[TCP/IPプロトコル]を選択し、[次へ]をクリックします。

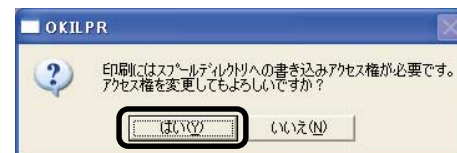
❾手順3（61ページ）で設定したプリンタのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

プリンタのIPアドレスが自動取得の場合や、IPアドレスがわからない場合は、[検索するサブネット]を選択し、[次へ]をクリックします。

❿ 手順❾でプリンタのIPアドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

- ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
- ML5200には、PSプリンタドライバはありません。

手順❾で[検索するサブネット]を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

⓬ 共有するか確認の画面が表示されるので、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [続行]をクリックします。

プリンタドライバとOKI LPRユーティリティとNetwork Extensionがインストールされます。

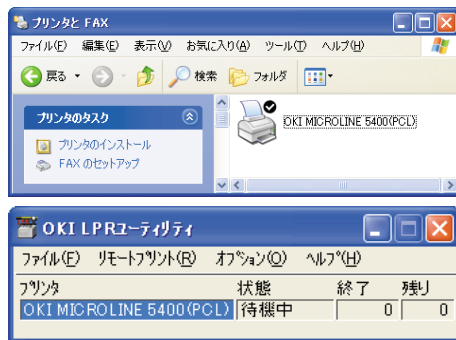
⓮ OKI LPRユーティリティのポート変更画面が表示されるので、[OK]をクリックします。

⓯ コンピュータのファイルシステムがNTFSの場合は、アクセス権を変更する画面が表示されますので[はい]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

⓲へ進みます。

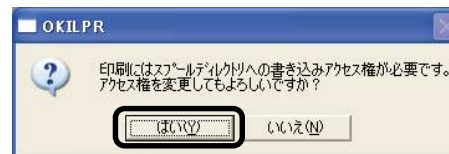
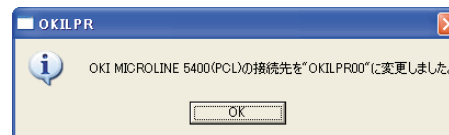
⑯ [完了]をクリックします。

⑰ [終了]をクリックします。

[プリンタ]または[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ　プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、[自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、[OK] をクリックします。

⑮からの続き

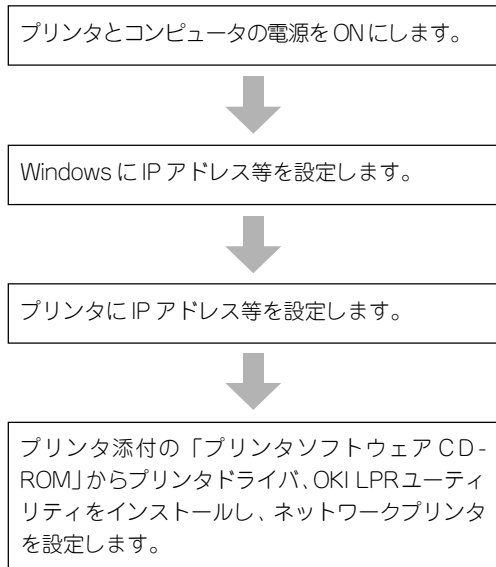
⑱ [完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

⑲ 再起動後、アクセス権を変更する画面が表示される場合は、[はい]をクリックします。

⑳ 再起動後、OKI LPRユーティリティのポート変更画面が表示される場合は、[OK]をクリックします。

[プリンタ]または[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

5 10 章「印刷します」（179 ページ）へ進みます。

WindowsMe/98/95/NT4.0にセットアップします

セットアップの流れ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

Windows に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバ、OKI LPRユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

- ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
- ML5200には、PSプリンタドライバはありません。

セットアップします

ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバ、BOOTPサーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。

また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。

現在のプリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、「メニューマップ印刷をします」（22ページ）をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバは、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- WindowsNT4.0にセットアップするには、コンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピュータ
- IPアドレス : 192.168.0.1〜254のいずれか
- サブネットマスク : 255.255.255.0
- ゲートウェイ : 0.0.0.0(使用しません)
- DNS : 使用しません

プリンタ
- IPアドレス : 192.168.0.1〜254のいずれか(コンピュータと異なるもの)
- サブネットマスク : 255.255.255.0
- ゲートウェイ : 0.0.0.0
- DHCP/BOOTPを使用する : チェックしない
- RARPを使用する : チェックしない
- サーバを使用しないアドレス解決 : チェックしない
- LAN : SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

- Windows : Windows98
- プリンタ : ML5400(PCL)
- IPアドレス : 192.168.0.3(コンピュータ)、192.168.0.2(プリンタ)
- サブネットマスク : 255.255.255.0
- ゲートウェイアドレス : 192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 WindowsMe/98/95/NT4.0 に IP アドレス等を設定します。

- すでにWindowsにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタにIPアドレス等を設定します」(70ページ)へ進みます。
- WindowsNT4.0のIPアドレス等の設定方法は、[スタート]-[ヘルプ]を参照してください。

❶ Windowsを起動します。

❷ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❸ [ネットワーク]をダブルクリックします。

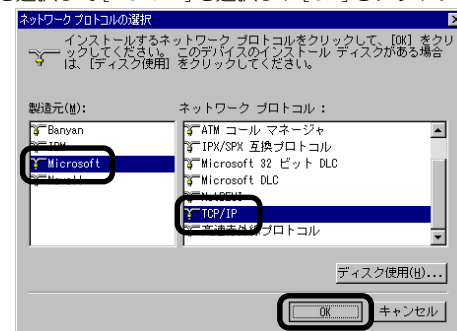
[現在のネットワークコンポーネント]に[TCP/IP→*** (***はアダプタ名)]が表示されている場合は?
❼へ進みます。

WindowsMeで[ネットワーク]が表示されていない場合は?
[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する]をクリックします。

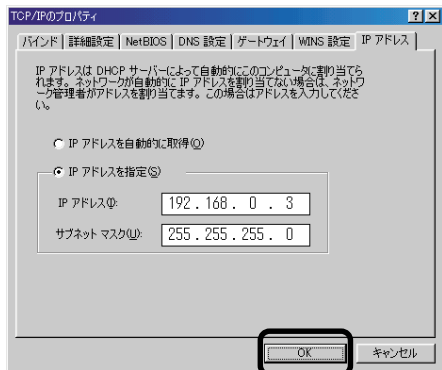
WindowsNT4.0で[ネットワーク]が表示されていない場合は?
❺へ進みます。

❹「ネットワークの設定」タブの[追加]をクリックします。

❺ [プロトコル]を選択し、[追加]をクリックします。

❻ [Microsoft]を選択して[TCP/IP]を選択し、[OK]をクリックします。

❸からの続き

❼ [TCP/IP→***](***はアダプタ名)を選択し、[プロパティ]をクリックします。

❽ [IPアドレス]タブでIPアドレス、サブネットマスク、[ゲートウェイ]タブでゲートウェイ、[DNS設定]タブでDNSを入力し、[OK]をクリックします。

メモ DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得」を選択し、IPアドレスは入力しません。

❾ Windowsを再起動します。

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

注 すでにプリンタにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順4「プリンタドライバをインストールします」(71ページ)へ進みます。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[NETWORK　MENU]を表示します。

❸ 「設定」スイッチを押します。

❹ [TCP/IP／ENABLE　＊]と表示されていることを確認します。

[TCP/IP／DISABLE　＊]と表示されている場合は次の設定を行います。

① 「設定」スイッチを押します。

② ＋「メニュー＋」スイッチを押し、[TCP/IP／ENABLE]を表示します。

③ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

④ 「戻る」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[IP　ADDRESS]を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押します。

❼ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、IPアドレスの1桁目の値にします。

❽ 「設定」スイッチを押し、次の桁に移動します。❼と❽を繰り返して、全ての桁の値を設定します。

❾ 「戻る」スイッチを押します。

以後、❹〜❽を繰り返し、[SUBNET　MASK]（サブネットマスク）、[GATEWAY　ADDRESS]（ゲートウェイアドレス）を設定します。

❿ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

4 プリンタドライバをインストールします。

注 Windows95 PSプリンタドライバをインストールする場合、「5　Windows95をプリンタの追加でセットアップします」（75ページ）に進みます。WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをインストールする場合、「6　WindowsNT4.0をプリンタの追加でセットアップします」（76ページ）に進みます。

❶プリンタの電源がONで、Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷マイコンピュータを開きます。

❸[ML_COLOR]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

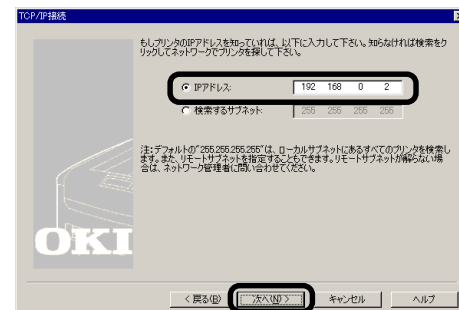
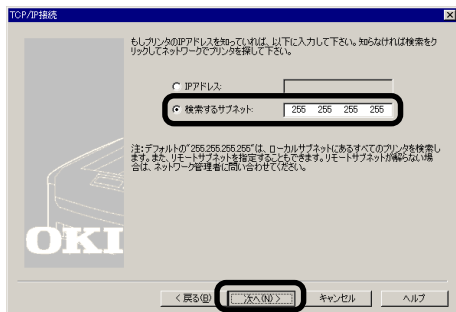
セットアッププログラムが起動します。

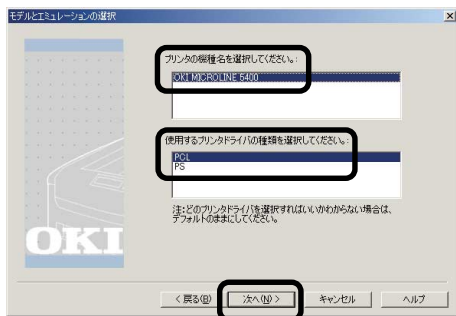
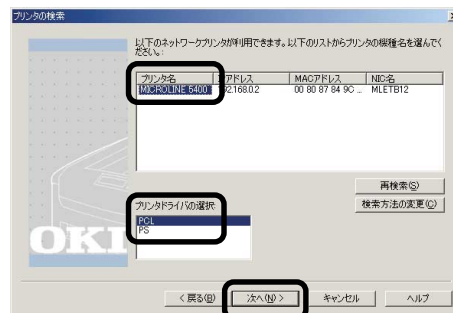
❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼[ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽[TCP/IPプロトコル]を選択し、[次へ]をクリックします。

❾プリンタのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

プリンタのIPアドレスがわからない場合は、[検索するサブネット]を選択し、[次へ]をクリックします。

⑩ 手順❾でプリンタのIPアドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

- ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
- ML5200には、PSプリンタドライバはありません。

手順❾で[検索するサブネット]を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

Windows95/NT4.0 PSプリンタドライバは選択することができません。

⑪ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

WindowsNT4.0の場合は共有するか確認する画面が表示されるので、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

プリンタドライバとOKI LPRユーティリティとNetwork Extensionがインストールされます。

⑫ OKI LPRユーティリティのポート変更画面が表示されるので、[OK]をクリックします。

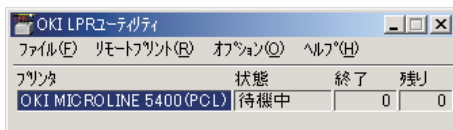
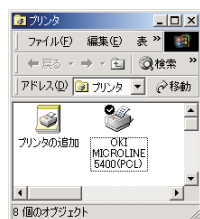
WindowsNT4.0でコンピュータのファイルシステムがNTFSの場合は、アクセス権を変更する画面が表示されるので[はい]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

⑯へ進みます。

⑬ [完了]をクリックします。

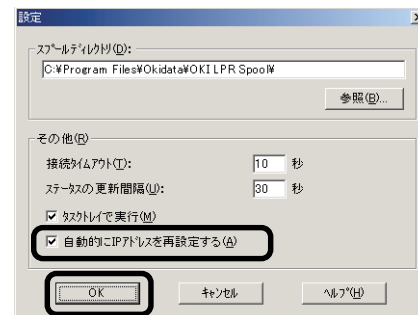
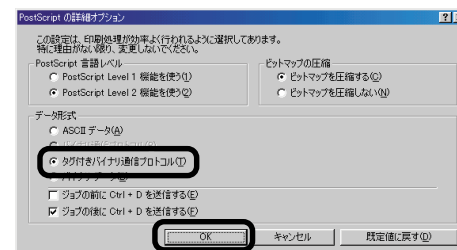
⑭ [終了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されます。

メモ プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

⑮ ML5400 WindowsMe/98 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

3

WindowsMe/98/95/NT4.0にセットアップします

⑫からの続き

⑯ [再起動する]にチェックを付け、[完了]をクリックします。

Windowsが再起動されます。

⑰ 再起動後、OKI LPRユーティリティのポート変更画面が表示される場合は、[OK]をクリックします。

WindowsNT4.0でコンピュータのファイルシステムがNTFSの場合は、アクセス権を変更する画面が表示されるので[はい]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されます。

メモ プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

⑱ ML5400 WindowsMe/98 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

5 Windows95 をプリンタの追加でセットアップします。

注
- Windows95をお使いの方だけご覧ください。
- Windows95日本語版オペレーティングシステム（CD-ROMあるいはフロッピーディスク）をご用意ください。

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［プリンタの追加］をダブルクリックします。

❸「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

❹［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺［ディスク使用］をクリックします。

❻「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❼［配布ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥WIN95¥PS¥JPN

❽プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

ディスクの挿入が表示されたら［OK］をクリックします。
Windows95のシステムディスクをセットします。

〈フロッピーディスク版の方〉
Windows95の［DISK XX］をセットし、［OK］をクリックします。

〈CD-ROM版の方〉
Windows95のCD-ROMをセットし、［ファイルのコピー元］を「D:WIN95」にして、［OK］をクリックします。

❾ [利用できるポート]で[LPT1:プリンタポート]を選択し、[次へ]をクリックします。

❿ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ [印字テストを行いますか?]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

6 WindowsNT4.0 をプリンタの追加でセットアップします。

・WindowsNT4.0をお使いの方だけご覧ください。
・コンピュータの管理者の権限が必要です。
・WindowsNT Server 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM、または、WindowsNT Workstation 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM、または、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMをご用意ください。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [プリンタの追加]をダブルクリックします。

❸「プリンタの追加ウィザード」画面で、[このコンピュータ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❹ [利用可能なポート]で[LPT1:Local Port]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

❺ [ディスク使用]をクリックします。

❻「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❼ [配布ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用する場合
D:¥WinNT¥PS¥JPN¥SP6
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM以外を使用する場合
D:¥WinNT¥PS¥JPN¥SP5

❽ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

❾ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

❿ [共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ [テストページを印刷しますか？]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

ディスクの挿入が表示されたら[OK]をクリックします。
WindowsNTのCD-ROMをセットして[参照]をクリックし、次のパスを選択し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用する場合
D:¥SUPPORT¥USPRNDRV¥I386
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM以外を使用する場合
D:¥I386

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

7 10章「印刷します」(179ページ)へ進みます。

プリンタドライバを削除するには

- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷［OKI MICROLINE 5400（**）］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））または［OKI MICROLINE 5200］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹「プリンタ」フォルダ（WindowsXP/Server2003では「プリンタとＦＡＸ」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❺［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

プリンタドライバと一緒にインストールされるOKI LPRユーティリティとNetwork Extensionは、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
OKI LPRユーティリティとNetwork Extensionを削除する場合は、「Windowsソフトウェア」の「OKI LPRユーティリティ」、「Network Extension」（応用編）をご覧ください。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。（WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

❸ [OKI MICROLINE 5400(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))または[OKI MICROLINE 5200]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします。（Windows Me/98/95の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。）

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

❼ [OKI MICROLINE 5400(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))または[OKI MICROLINE 5200]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類(PSまたはPCL)のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ(Windows XP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫ Windowsを再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは、3章～5章をご覧ください。

・必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
・WindowsXPでは、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98/95
　［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
　［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0
　［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（Windows Me/98/95の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100Mランプ(緑)/LINK 10Mランプ(緑)を確認します。100BASE-TX/10BASE-Tで接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUSランプ(橙)を確認します。データを受信しているときに点滅します。「一定間隔(1秒あるいは0.1秒)で点滅」「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブのLINKランプが点灯しません。
- Pingに応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源がONになっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類が存在します。HUBとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源をONにします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源をONにするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「HUB LINK SETTING」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[NETWORK MENU]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[HUB LINK SETTING]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは −「メニュー−」スイッチを数回押し、[10BASE-T HALF]を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

- ハブの動作モード(100BASE-TX/10BASE-T、全二重/半二重)を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。(設定方法はHUBに付属のマニュアルをご覧ください。)

それでも問題が解決しない場合

WindowsMe/98/95

- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]-[ネットワークの設定タブ]-[現在のネットワークコンポーネント]で、[TCP/IP → ***](***はアダプタ名)が表示されていることを確認します。
- [TCP/IP → ***](***はアダプタ名)の[プロパティ]で、[IPアドレス],[サブネットマスク],[ゲートウェイ]が正しいか確認します。
- OKI LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、[リモートプリントメニュー]-[一時停止]のチェックを外します。
- 「OKI LPRユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IPアドレス]がプリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPRユーティリティの最新版は沖データホームページ(http://www.okidata.co.jp)で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“OKI LPRユーティリティを削除”してから最新版をインストールしてください。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

WindowsXP/2000/Server2003

- [スタート]-[設定]-[ネットワークとダイアルアップ接続]-[ローカルエリア接続]をダブルクリックし、[プロパティ]に[インターネットプロトコル(TCP/IP)]が表示されていることを確認します。
- [インターネットプロトコル(TCP/IP)]の[プロパティ]をクリックし、[IPアドレス],[サブネットマスク],[デフォルトゲートウェイ]が正しいことを確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでプリンタを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これはWindowsXP/2000/Server2003の仕様によるものです。
- 「OKI LPRユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IPアドレス]がプリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPRユーティリティの最新版は沖データホームページ(http://www.okidata.co.jp)で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“OKI LPRユーティリティを削除”してから最新版をインストールしてください。
- OKI LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、[リモートプリントメニュー]-[一時停止]のチェックを外します。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

WindowsNT4.0

- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]をダブルクリックし、[プロトコルタブ]の[ネットワークプロトコル]で[TCP/IPプロトコル]が表示されていることを確認します。
- [TCP/IPプロトコル]の[プロパティ]で、[IPアドレス],[サブネットマスク],[デフォルトゲートウェイ]が正しいことを確認します。
- 「OKI LPRユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IPアドレス]がプリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPRユーティリティの最新版は沖データホームページ(http://www.okidata.co.jp)で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“OKI LPRユーティリティを削除”してから最新版をインストールしてください。
- OKI LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、[リモートプリントメニュー]-[一時停止]のチェックを外します。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
	プリンタ	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	プリンタ	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	プリンタ	0.0.0.0

4 USB 接続で Windows にセットアップします（ML5400、ML5200、ML3100）

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

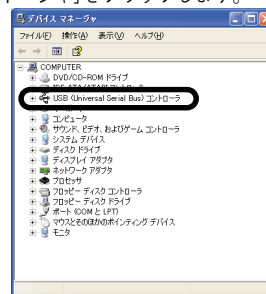
- Windows Server 2003
  Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機でUSBインタフェースを搭載している機種
  ただし、32ビット版のみの対応です。
- WindowsXP
  WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェースを搭載している機種
- WindowsMe/98
  WindowsMe/98日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェースを搭載している機種
- Windows2000
  Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェースを搭載している機種

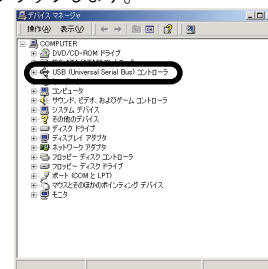
- Windows95/3.1からアップグレードインストールしたWindows Me/98での動作は保証できません。
- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- Windows95/3.1/NT4.0/NT3.51では動作しません。
- 印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全てのUSB機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「OKI MICROLINE 5400(**)」「OKI MICROLINE 5400(**)(コピー2)」「OKI MICROLINE 5400(**)(コピー3)」(**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源をONする順序によって変わります。
- USBハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続されたUSBハブに接続してください。

メモ

- USBインタフェースケーブルはUSB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。
- USB2.0の「Hi-Speed」モード（最大転送速度480Mbps）で使用するには、WindowsXP/2000で、USB2.0対応のインタフェースを搭載しているコンピュータを使用し、Microsoft社が公開しているUSB2.0ドライバがインストールされている必要があります。
- お使いのコンピュータがUSBに対応しているか確認できます。

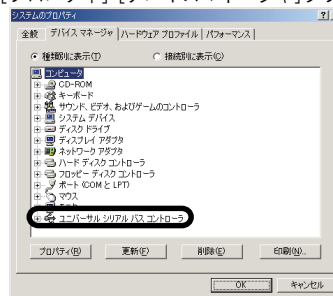
〈WindowsXP〉

［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックします。

〈Windows2000/Server2003〉

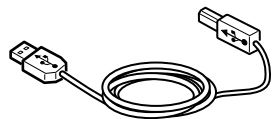
［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックします。

〈WindowsMe/98〉

［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［デバイスマネージャ］タブを開きます。

（WindowsMe の画面）

4 動作環境

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

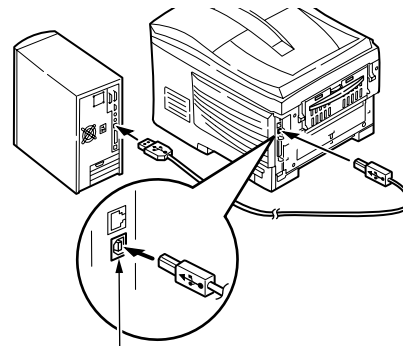
- プリンタのケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のケーブルを別途用意してください。
- USB2.0の「Hi-Speed」モードで接続する場合は、Hi-Speed仕様のUSBケーブルを使用してください。

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

メモ

- プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ) をご覧ください。
- USBケーブルはコンピュータ、プリンタの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源をOFFにしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

注

USBケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USBケーブルをコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

メモ

USB接続のセットアップ手順は、WindowsXP/Server2003の場合、「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(88ページ)、WindowsMe/98/2000の場合、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(92ページ) をご覧ください。

WindowsXP/Server2003にセットアップします

・WindowsXP/Server2003をお使いの方だけご覧ください。
・コンピュータの管理者の権限が必要です。

・USBインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタとWindowsXP/Server2003を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP/Server2003で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。

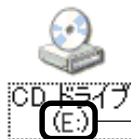
以下の説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

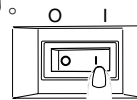
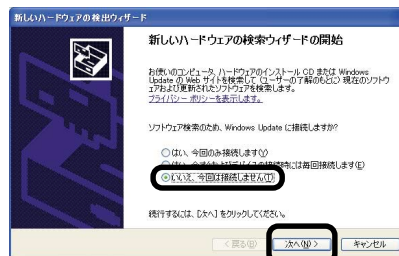
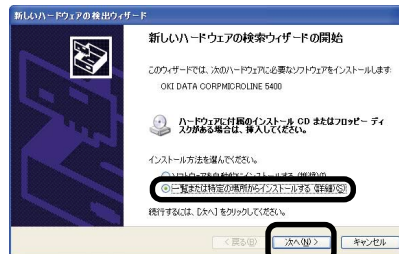
1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

WindowsXP/Server2003 の CD-ROM ドライブを確認します。

❶［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❷［リムーバブル記憶域があるデバイス］-［CD ドライブ（E:）］のカッコ内に表示されている英文字を確認します。

この場合は、［E］がCD-ROMのドライブです。

2 プリンタドライバをインストールします。

❶プリンタの電源をONにします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面で次の画面が表示されたら、［いいえ、今回は接続しません］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ］をクリックします。

画面が表示されなかったら？
「WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」（102ページ）へ進みます。

❹「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❺［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索］のチェックを外します。

❻［次の場所を含める］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML5400 PSドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PS¥JPN
ML5400 PCLドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN
ML5200ドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥JPN
ML3100ドライバを使用する場合
E:¥WIN2KXP¥JPN

メモ
・ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
・ML5200、ML3100には、PSプリンタドライバはありません。

❼「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
⓫へ進みます。

❽［完了］をクリックします。

❾［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❿「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。（Windows Server2003の場合、［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

❼からの続き

⓫「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⓬［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML5400 PSドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PS¥JPN
ML5400 PCLドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN
ML5200ドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥JPN
ML3100ドライバを使用する場合
E:¥WIN2KXP¥JPN

メモ
・ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
・ML5200、ML3100には、PSプリンタドライバはありません。

ファイルのコピーが開始されます。

⓭［完了］をクリックします。

⓮［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

⓯「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。（Windows Server2003の場合、［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶コンピュータの電源をONにし、［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❷［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタとFAX］をクリックします。（Windows Server2003の場合、［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❸［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。（Windows Server2003の場合、［プリンタの追加］をダブルクリックします。）

❹「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

❺［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

注
［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。

❻「次のポートを使用」画面で［USBxxx］（xxxはポートの番号）を選択し、［次へ］をクリックします。

❼［ディスク使用］をクリックします。

❽「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❾ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML5400 PSドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PS¥JPN
ML5400 PCLドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN
ML5200ドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥JPN
ML3100ドライバを使用する場合
E:¥WIN2KXP¥JPN

メモ
- ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
- ML5200、ML3100には、PSプリンタドライバはありません。

❿ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [テストページを印刷しますか?]で[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

セットアップは完了です。

4

WindowsXP/Server2003にセットアップします

WindowsMe/98/2000にセットアップします

 Windows2000ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

 プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、[キャンセル]をクリックし、プリンタの電源をOFFにしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷ [マイコンピュータ]を開きます。

❸ [ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

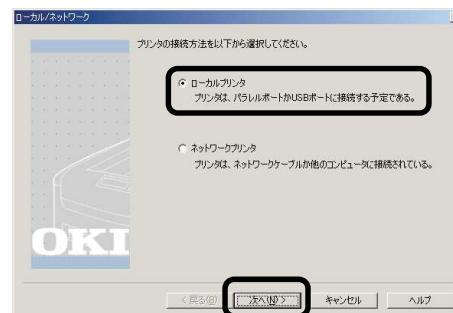
❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

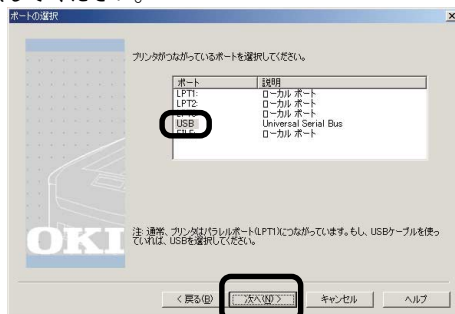
❶「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

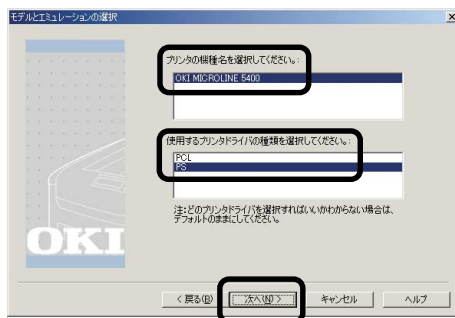
❷ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❸ [ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「3　ネットワーク接続でWindowsにセットアップします」(57ページ)をご覧ください。

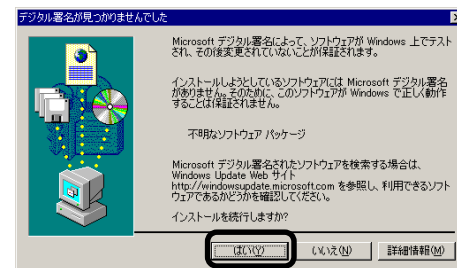
 ML3100では、ネットワーク接続できません。

❹ポートで[USB]を選択し、[次へ]をクリックします。

ML5400でUSBインタフェースで接続して2種類のプリンタドライバ(PSプリンタドライバとPCLプリンタドライバ)をお使いになりたい場合、2つ目のプリンタドライバをインストールするときは、[FILE]を選択してインストールを行ってください。インストール完了後、プリンタフォルダでプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[詳細]タブの[印刷先のポート]で[USBxxx](Windows2000では[ポート]タブの[印刷するポート]で[USBxxx])を選択してください。

❺プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

・ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
・ML5200、ML3100には、PSプリンタドライバはありません。

WindowsMe/98の場合は、ファイルのコピーが行われます。

WindowsMe/98の場合
手順4(94ページ)へ進みます。

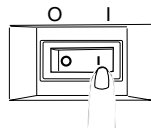
❻Windows2000で「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

ファイルのコピーが行われます。

手順4(94ページ)へ進みます。

4
WindowsMe/98/2000にセットアップします

4 USB ドライバをインストールします。

❶「ケーブル接続」の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
　❸に進みます。

❷プリンタの電源をONにします。

USBドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000の場合
　95ページに進みます。

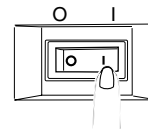
WindowsMeの場合
　95ページに進みます。

Windows98の場合
　97ページに進みます。

❶からの続き

❸[再起動する]にチェックを付け、[完了]をクリックします。

Windowsが再起動されます。

❹Windowsが完全に起動したら、プリンタの電源をONにします。

USBドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000の場合
　95ページに進みます。

WindowsMeの場合
　95ページに進みます。

Windows98の場合
　97ページに進みます。

Windows2000の場合

❶ システム標準のUSBドライバが自動的にインストールされます。1〜2分かかることがあります。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

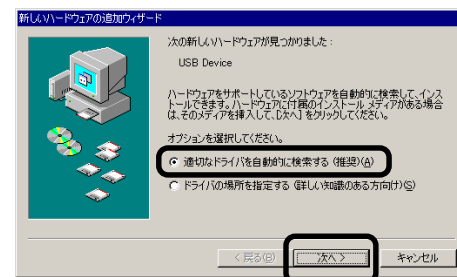
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

WindowsMeの場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(103ページ)をご覧ください。

❶ [適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❷ [完了]をクリックします。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら?
5へ進みます。

❸「MICROLINE カラーシリーズ」画面が表示されている場合は、[終了]をクリックします。

❹［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML5400 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

❷からの続き

❺［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML5400 PSドライバを使用する場合
E:¥WINME¥PS¥JPN
ML5400 PCLドライバを使用する場合
E:¥WINME¥PCL¥JPN
ML5200ドライバを使用する場合
E:¥WIN9XME¥JPN
ML3100ドライバを使用する場合
E:¥WIN98ME¥JPN

メモ
- ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
- ML5200、ML3100には、PSプリンタドライバはありません。

ファイルのコピーが開始されます。

❻［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML5400 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

Windows98の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（105ページ）をご覧ください。

❶「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

❷［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸［CD-ROMドライブ］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

❹［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❺［完了］をクリックします。

引き続きUSBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら？
❽へ進みます。

❻「MICROLINE カラーシリーズ」画面が表示されている場合は、［終了］をクリックします。

❼［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML5400 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

---

❺からの続き

❽「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

❾ [ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML5400 PSドライバを使用する場合
E:¥WIN98¥PS¥JPN
ML5400 PCLドライバを使用する場合
E:¥WIN98¥PCL¥JPN
ML5200ドライバを使用する場合
E:¥WIN9XME¥JPN
ML3100ドライバを使用する場合
E:¥WIN98ME¥JPN

メモ
- ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。
- ML5200、ML3100には、PSプリンタドライバはありません。

❿ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML5400 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合 （WindowsMe/98/2000、USBインタフェース）

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。以下の手順に従ってセットアップを行います。

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ケーブルの接続」画面が表示されたら、USBケーブルの接続を確認し、電源をONにします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、Windowsを再起動した後、USBケーブルの接続を確認し、プリンタの電源をONにします。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(88ページ)をご覧ください。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ](WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX])を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択します。

❸ [詳細]タブの[印刷先のポート](WindowsXP/2000/Server2003では、[ポート]タブの[印刷するポート])で、接続先のポートを下記の設定にします。

WindowsXP/2000/Server2003…USBケーブルで接続する場合	[USBxxx]
WindowsMe/98…USBケーブルで接続する場合	[OP1 USBx]

- WindowsXP/2000/Server2003で、[印刷するポート]に[USBxxx]が表示されないときは、プリンタの電源がONになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。
- WindowsMe/98で[印刷先のポート]に[OP1 USBx]が表示されないときは、プリンタの電源がOFFになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度セットアップを行ってください。詳細は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(92ページ)をご覧ください。
- WindowsMe/98でセットアップ中に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(103ページ)、「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(105ページ)をご覧ください。
- WindowsMe/98の場合、ご利用の環境により[USBxxx]と表示される場合もあります。

ML5400でPSまたはPCLのどちらか一方しかインストールできない場合 （USBインタフェース）

USBインタフェースで接続する場合、同じプリンタに対して、2種類のプリンタドライバを同時にインストールすると、2つ目にインストールするプリンタドライバのアイコンが作成されません。
2つ目のプリンタドライバをインストールする場合は以下のようにしてください。

〈WindowsXP/Server2003〉

1. [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]（Windows Server2003では、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]）を選択します。
2. [プリンタのインストール]をクリックします。
3. 画面の指示に従ってセットアップし、「次のポートを使用」画面で「FILE」にチェックを付けます。
4. 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

   詳細は、「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プリンタのインストールでセットアップします」（90ページ）をご覧ください。
5. [プリンタ]フォルダで2つ目のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
6. [ポート]タブの[印刷するポート]で[USBxxx]にチェックを付けます。

〈WindowsMe/98/2000〉

1. セットアッププログラムを起動します。
2. 画面の指示に従ってセットアップし、「ポートの選択」画面で接続先のポートを「FILE」に設定します。
3. 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

   詳細は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」（92ページ）をご覧ください。
4. [プリンタ]フォルダで2つ目のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。
5. [詳細]タブの[印刷先のポート]で[OP1 USBx]（Windows2000では[ポート]タブの[印刷するポート]で[USBxxx]）にチェックを付けます。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合 （WindowsMe/98/2000）

WindowsMe/98/2000とUSB接続する場合、プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行っているか確認してください。

1. プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。
2. USBケーブルを接続します。
3. プリンタの電源をONにします。
4. Windowsを起動します。
5. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」（Windows2000では「新しいハードウェアの検索ウィザード」）が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「プリンタソフトウェアCD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

WindowsXP/Server2003で、パソコンを起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示される場合

プリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップしていません。以下の手順に従って、セットアップしてください。

1. プリンタドライバを削除します。
2. 「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（90ページ）の手順に従ってセットアップします。

メモ　接続するポートを変えた場合も「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。できるだけ同じポートに接続してください。

4 セットアップがうまくいかないとき

WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❷ [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。

❸ [その他のデバイス]の「OKI DATA CORPMICROLINE 5400」、「OKIDATA CORPMICROLINE 5200」または「OKIDATA CORPMICROLINE 3100」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

[その他のデバイス]が表示されなかったら?

[表示]メニューの[非表示のデバイスの表示]を選択し、[プリンタ]の「OKI DATA CORPMICROLINE 5400」、「OKIDATA CORPMICROLINE 5200」または「OKIDATA CORPMICROLINE 3100」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

❹ 「デバイスの削除の確認」画面で[OK]をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺ 「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックします。

❻ Windowsを再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(88ページ)へ戻ります。

WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたドライバを引き続きインストールしてください。

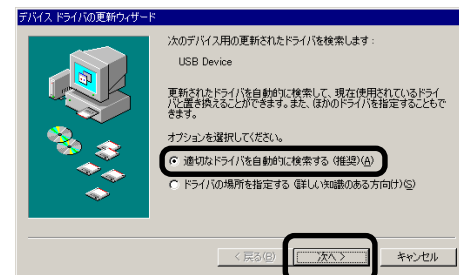
❶[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❷[システム]をダブルクリックします。

❸[デバイスマネージャ]タブの[その他のデバイス]で[USB Device]を選択し、プロパティをクリックします。

❹[ドライバの再インストール]をクリックします。

❺「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❻「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、[適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

❼「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽[使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する(推奨)]を選択し、「リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)」のチェックを外します。

❾ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

> ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
> ML5400 PSドライバを使用する場合
> E:¥WINME¥PS¥JPN
> ML5400 PCLドライバを使用する場合
> E:¥WINME¥PCL¥JPN
> ML5200ドライバを使用する場合
> E:¥WIN9XME¥JPN
> ML3100ドライバを使用する場合
> E:¥WIN98ME¥JPN

❿ [次へ]をクリックします。

⓫ 通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [印字テストを行いますか？]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ [完了]をクリックします。

⓯「Oki USB Driverプロパティ」画面で[閉じる]をクリックします。

⓰「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックし、[コントロールパネル]を閉じます。

⓱ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML5400 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

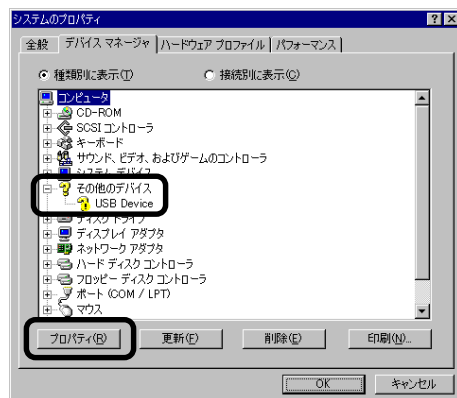
Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたドライバを引き続きインストールしてください。

❶ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❷ [システム]をダブルクリックします。

❸ [デバイスマネージャ]タブの[その他のデバイス]で[USB Device]を選択し、プロパティをクリックします。

[不明なデバイス]と表示されることがあります。

❹ [ドライバの再インストール]をクリックします。

❺「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

❻ [現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❽ [CD-ROM ドライブ]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

❾ [次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❿ [完了]をクリックします。

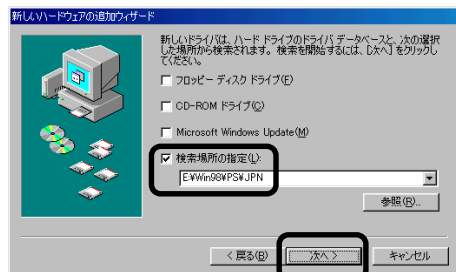
⓫「Oki USB Driverプロパティ」画面で[閉じる]をクリックします。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

⓬「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

⓭ [使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する(推奨)]を選択します。

⑭ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML5400 PSドライバを使用する場合
E:¥WIN98¥PS¥JPN
ML5400 PCLドライバを使用する場合
E:¥WIN98¥PCL¥JPN
ML5200ドライバを使用する場合
E:¥WIN9XME¥JPN
ML3100ドライバを使用する場合
E:¥WIN98ME¥JPN

⑮ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ]をクリックします。

⑯ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⑰ [印字テストを行いますか？]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

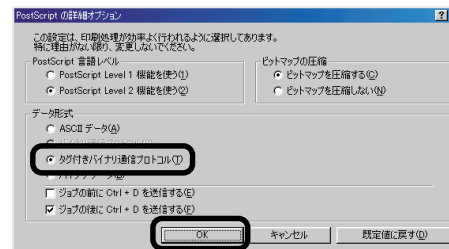
ファイルのコピーが開始されます。

⑱ [完了]をクリックします。

⑲「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックし、[コントロールパネル]を閉じます。

⑳ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

ML5400 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

プリンタドライバを削除するには

- WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷ [OKI MICROLINE 5400(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))、[OKI MICROLINE 5200]または[OKI MICROLINE 3100]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹ 「プリンタ」フォルダ(WindowsXP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❺ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。（WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

❸ [OKI MICROLINE 5400(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))、[OKI MICROLINE 5200]または[OKI MICROLINE 3100]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします(Windows Me/98/95の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

❼ [OKI MICROLINE 5400(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))、[OKI MICROLINE 5200]または[OKI MICROLINE 3100]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

ドライバのアップデートを確実に行うために、ML5400/5200/3100のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ(Windows XP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫ Windowsを再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(88ページ)、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(92ページ)をご覧ください。

注
- 必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
- WindowsXPでは、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98
　[ドライバで使用されるファイル]以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
　[このドライバが使う追加ファイル]以下に記載されているバージョン

注
テストページ上に記載される[ドライバのバージョン](WindowsMe/98の場合、[ドライバ　バージョン])には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

USB接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
Windows95/NT4.0でセットアップできません。	USB接続できるのはWindowsMe/98/2000/XP/Server2003です。Windows95/NT4.0は接続できません。
Windows95/3.1からアップグレードしたWindowsMe/98を使用しています。	動作保証できません。WindowsMe/98をクリーンインストールしたコンピュータを使用してください。
コンピュータがUSBインタフェースに対応していません。	デバイスマネージャでUSBコントローラが表示されるか確認してください。
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で[USB]を「ユウコウ」にしてください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に[検索場所の指定]、[場所の指定]が表示されます。	「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：「E:¥WIN98¥PS¥JPN」 （ここではCD-ROMドライブがE：の場合を例にしています）
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
WindowsXP/Me/98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されません。	「セットアップがうまくいかないとき」をご覧ください。（100ページ）

4
USB接続でセットアップできないときには

5 パラレル接続でWindowsにセットアップします（ML5400のみ）

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

● Windows Server 2003
Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機で、双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
ただし、32ビット版のみの対応です。

● WindowsXP
WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98/95
WindowsMe/98/95日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
Internet Explorer 4.0以上がインストールされていること

● Windows2000
Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

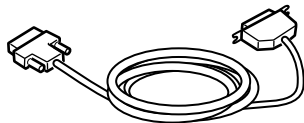
● WindowsNT4.0
WindowsNT4.0日本語版の動作するコンピュータ（PSプリンタドライバはサービスパック5以上）
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821でパラレルインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51では動作しません。
- WindowsNT4.0は、ARC互換RISCベースのプロセッサ（MIPS®シリーズ、Alpha、PowerPC™など）のシステムには対応していません。
- Windows95 PSプリンタドライバをインストールするためには、「Windows95日本語版オペレーティングシステムCD-ROM」あるいは「フロッピーディスク」が別途必要です。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをインストールするためには、「WindowsNT Server 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM」、「WindowsNT Workstation 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM」または「WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM」が別途必要です。
- WindowsNT4.0 PSプリンタドライバの機能を全て使用するためには、「WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM」が必要です。
- 「WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM」は、マイクロソフト社ホームページの「Service Pack 6a CD-ROM申し込みのご案内」ページから入手することができます。

- コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードにすると、データ転送速度が向上する場合があります。設定方法はコンピュータの製造元にお問い合わせください。
- パラレルケーブルはシールドされたものをお使いください。（最長1.8m）

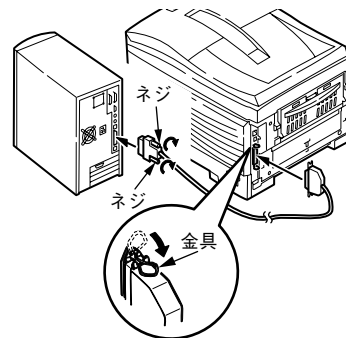
ケーブルを接続します

1 パラレルケーブルを準備します。

注 プリンタケーブルは添付されていません。IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを別途用意してください。

注 ML5200、ML3100はパラレル接続できません。

2 プリンタとコンピュータの電源をOFFにします。

メモ プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

3 コンピュータとプリンタを接続します。

❶ パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。

❷ パラレルケーブルをコンピュータのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

メモ パラレル接続のセットアップ手順は、WindowsXP/Server2003の場合、「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(114ページ)、WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」(118ページ)をご覧ください。

WindowsXP/Server2003にセットアップします

- WindowsXP/Server2003をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- パラレルインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタとWindowsXP/Server2003を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP/Server2003で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- 2種類のプリンタドライバ(PSプリンタドライバとPCLプリンタドライバ)をお使いになりたい場合は、初めにどちらかのプリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップし、次にもう一方のプリンタドライバをプリンタのインストールでセットアップしてください。（116ページ）

以下の説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

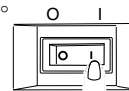
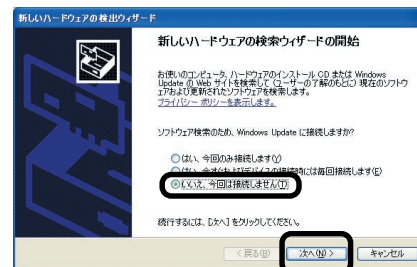
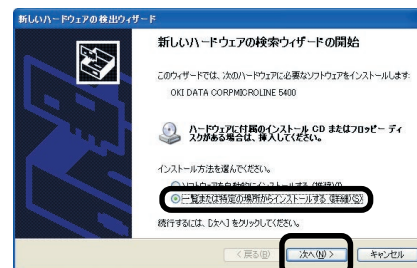
WindowsXP/Server2003 の CD-ROM ドライブを確認します。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

❷ [リムーバブル記憶域があるデバイス]-[CDドライブ(E:)]のカッコ内に表示されている英文字を確認します。

この場合は、[E]がCD-ROMのドライブです。

2 プリンタドライバをインストールします。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面で次の画面が表示されたら、[いいえ、今回は接続しません]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリックします。

画面が表示されなかったら？

☞ 「WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」（126ページ）へ進みます。

❹「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❺［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索］のチェックを外します。

❻［次の場所を含める］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML5400 PSドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PS¥JPN
ML5400 PCLドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN

メモ ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。

❼「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
⓫へ進みます。

❽［完了］をクリックします。

❾［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❿「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。（Windows Server2003の場合、［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

---

❼からの続き

⓫「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⓬ [コピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
ML5400 PSドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PS¥JPN
ML5400 PCLドライバを使用する場合
E:¥WINXP¥PCL¥JPN

メモ ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。

ファイルのコピーが開始されます。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

⓯「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶ コンピュータの電源をONにし、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

❷ [コントロールパネルを選んで実行します]の[プリンタとFAX]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

❸ [プリンタのタスク]-[プリンタのインストール]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[プリンタの追加]をダブルクリックします。）

❹「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

❺ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。

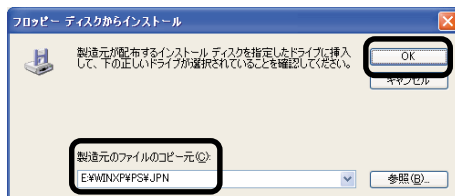
❻「次のポートを使用」画面で[LPT1:(推奨プリンタポート)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [ディスク使用]をクリックします。

❽「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❾ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。 ML5400 PSドライバを使用する場合 E:¥WINXP¥PS¥JPN ML5400 PCLドライバを使用する場合 E:¥WINXP¥PCL¥JPN

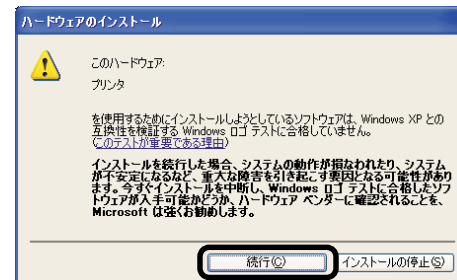
メモ ML5400には、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSプリンタドライバを使います。

❿ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [テストページを印刷しますか?]で[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

セットアップは完了です。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします

- Windows2000/NT4.0ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows95の場合、Internet Explorer4.0以上がインストールされていないと、セットアッププログラムでのセットアップができません。
- Windows95 PSプリンタドライバをインストールする場合、「4　Windows95をプラグアンドプレイでセットアップします」(121ページ)に進みます。WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをインストールする場合、「6　WindowsNT4.0をプリンタの追加でセットアップします」(124ページ)に進みます。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、[キャンセル]をクリックし、プリンタの電源をOFFにしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷ [マイコンピュータ]を開きます。

❸ [ML_COLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

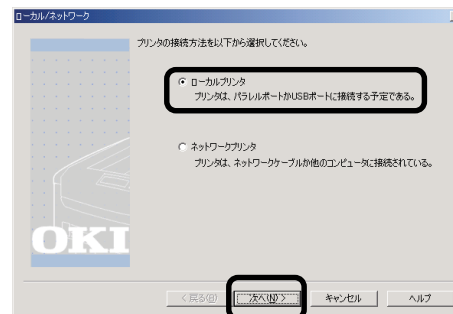
❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

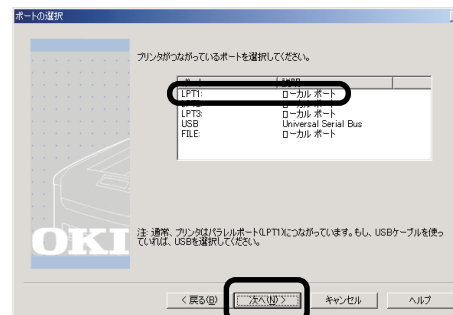
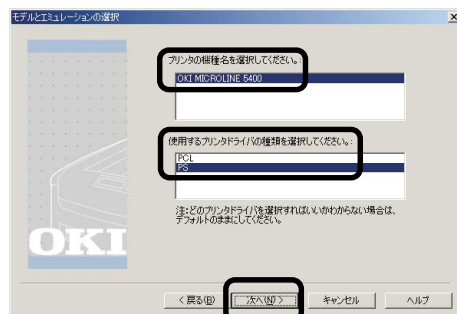
セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❷ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

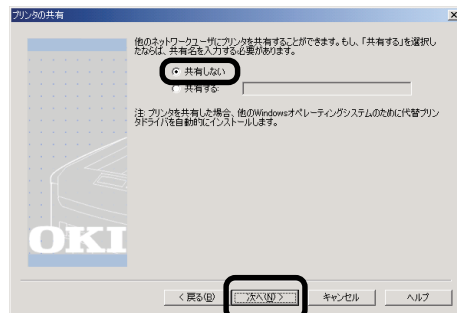
❸ [ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「3　ネットワーク接続でWindowsにセットアップします」(57ページ)をご覧ください。

❹ ポートで[LPT1]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

・ML5400には、ML5400 PSドライバ、ML5400 PCLドライバの2種類があります。PostScriptに対応しているアプリケーションを使用する場合は、PSドライバを使います。
・Windows95/NT4.0 PSプリンタドライバは選択することができません。

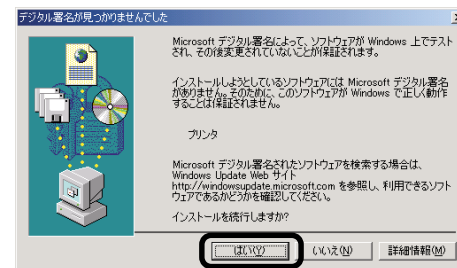
❻プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

WindowsMe/98/95では、ファイルのコピーが行われます。

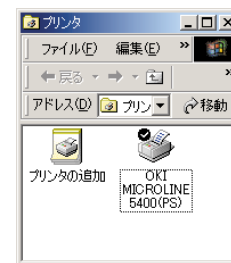
❼Windows2000/NT4.0の場合、「プリンタの共有」画面が表示されたら、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 WindowsMe/98/95では表示されません。

WindowsNT4.0では、ファイルのコピーが行われます。

❽Windows2000の場合、「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

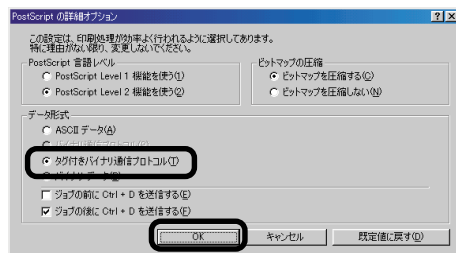
 WindowsMe/98/95/NT4.0では表示されません。

ファイルのコピーが行われます。

❾[完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合
⑫に進みます。

❿[終了]をクリックします。

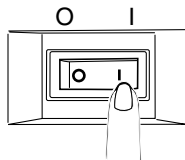
⓫[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

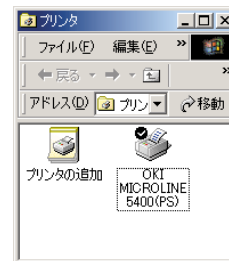
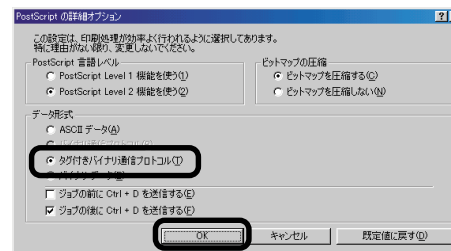
WindowsMe/98 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

❾からの続き

⓬「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、[再起動する]を選択し、[完了]をクリックします。

Windowsが再起動されます。

⓭ Windowsが完全に起動したら、プリンタの電源をONにします。

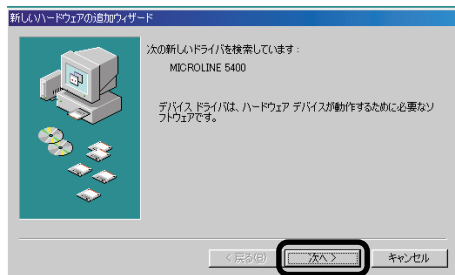
⓮ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

WindowsMe/98 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択し、[PostScript]-[詳細設定]-[データ形式]で[タグ付きバイナリ通信プロトコル]を選択して、[OK]をクリックします。[OK]をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

4 Windows95をプラグアンドプレイでセットアップします。(パラレル)

・Windows95をお使いの方だけご覧ください。
・Windows95日本語版オペレーティングシステム(CD-ROMあるいはフロッピーディスク)をご用意ください。

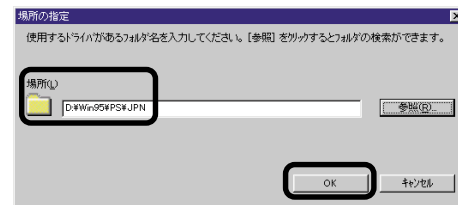
❶プリンタとコンピュータをパラレルケーブルで接続し、プリンタ、コンピュータの電源をONにします。

「デバイスドライバウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

「新しいハードウェア」画面が表示されたら?
　⑩へ進みます。
「ディスクの挿入」画面が表示されたら?
　❽へ進みます。
画面が表示されなかったら?
　「Windows95をプリンタの追加でセットアップします」の手順5(123ページ)へ進みます。

❷[場所の指定]をクリックします。

❸「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❹[場所]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

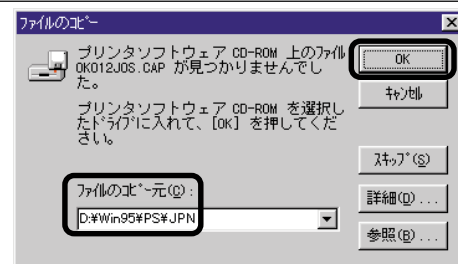
ここではCD-ROMドライブがDの場合を例にしています。 D:¥WIN95¥PS¥JPN

❺更新されたドライバが見つかったことを確認し、[完了]をクリックします。

❻プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼[印字テストを行いますか?]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

❽「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、[OK]をクリックします。

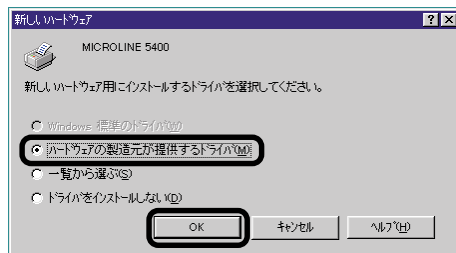
❾[ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがDの場合を例にしています。 D:¥WIN95¥PS¥JPN

ファイルのコピーが開始されます。
ディスクの挿入が表示されたら[OK]をクリックします。
Windows95のシステムディスクをセットします。

〈フロッピーディスク版の方〉
Windows95の[DISK XX]をセットし、[OK]をクリックします。

〈CD-ROM版の方〉
Windows95のCD-ROMをセットし、[ファイルのコピー元]を「D:WIN95」にして、[OK]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

⑩「新しいハードウェア」画面が表示されたら、[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選択し、[OK]をクリックします。

⑪「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

⑫[配布ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがDの場合を例にしています。
D:¥WIN95¥PS¥JPN

⑬プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⑭[印字テストを行いますか?]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。
ディスクの挿入が表示されたら[OK]をクリックします。
Windows95のシステムディスクをセットします。

〈フロッピーディスク版の方〉
Windows95の[DISK XX]をセットし、[OK]をクリックします。

〈CD-ROM版の方〉
Windows95のCD-ROMをセットし、[ファイルのコピー元]を「D:WIN95」にして、[OK]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

5 Windows95 をプリンタの追加でセットアップします。

注
- Windows95をお使いの方だけご覧ください。
- Windows95日本語版オペレーティングシステム(CD-ROMあるいはフロッピーディスク)をご用意ください。

❶[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷[プリンタの追加]をダブルクリックします。

❸「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

❹[ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺[ディスク使用]をクリックします。

❻「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❼[配布ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。 D:¥WIN95¥PS¥JPN

❽プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

ディスクの挿入が表示されたら[OK]をクリックします。
Windows95のシステムディスクをセットします。

〈フロッピーディスク版の方〉
Windows95の[DISK XX]をセットし、[OK]をクリックします。

〈CD-ROM版の方〉
Windows95のCD-ROMをセットし、[ファイルのコピー元]を「D:WIN95」にして、[OK]をクリックします。

❾[利用できるポート]で[LPT1:プリンタポート]を選択し、[次へ]をクリックします。

❿プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫[印字テストを行いますか?]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

6 WindowsNT4.0 をプリンタの追加でセットアップします。

- WindowsNT4.0をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsNT Server 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM、または、WindowsNT Workstation 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM、または、WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMをご用意ください。

❶[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷[プリンタの追加]をダブルクリックします。

❸「プリンタの追加ウィザード」画面で、[このコンピュータ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❹[利用可能なポート]で[LPT1:Local Port]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

❺[ディスク使用]をクリックします。

❻「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❼ [配布ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用する場合
D:¥WinNT¥PS¥JPN¥SP6
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM以外を使用する場合
D:¥WinNT¥PS¥JPN¥SP5

❽ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

❾ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

❿ [共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ [テストページを印刷しますか?]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

ディスクの挿入が表示されたら[OK]をクリックします。
WindowsNTのCD-ROMをセットして[参照]をクリックし、次のパスを選択し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROMを使用する場合
D:¥SUPPORT¥USPRNDRV¥I386
WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM以外を使用する場合
D:¥I386

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]（WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]）を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択します。

❸ [詳細]タブの[印刷先のポート]（WindowsXP/2000では、[ポート]タブの[印刷するポート]）で、接続先のポートを下記の設定にします。

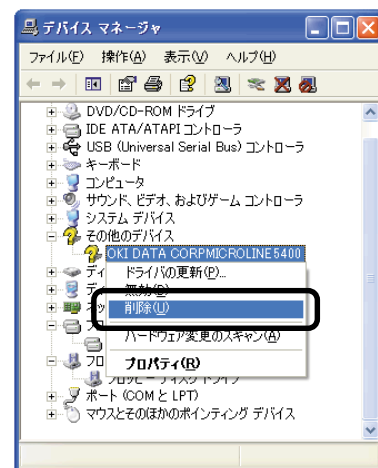
パラレルケーブルで接続する場合	[LPT1]

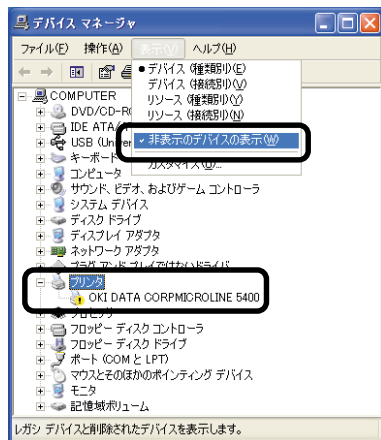
WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]（Windows Server2003ではデスクトップ上の[マイコンピュータ]）をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❷ [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。

❸ [その他のデバイス]の「OKI DATA CORP MICROLINE 5400」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

［その他のデバイス］が表示されなかったら？

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA CORP MICROLINE 5400」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

❹「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

❻ Windowsを再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（114ページ）へ戻ります。

プリンタドライバを削除するには

- WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷［OKI MICROLINE 5400（**）］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹「プリンタ」フォルダ（WindowsXP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❺［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❸ [OKI MICROLINE 5400(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします。(Windows Me/98/95の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

❼ [OKI MICROLINE 5400(**)](**はPSまたはPCL(プリンタドライバの種類))アイコンをマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類(PSまたはPCL)のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ(WindowsXP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫Windowsを再起動します。

⓬新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP/Server2003にセットアップします」（114ページ）、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」（118ページ）をご覧ください。

- 必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
- WindowsXP/Server2003では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98/95
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0
［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（Windows Me/98/95の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

パラレル接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
WindowsNT4.0でプラグアンドプレイでセットアップできません。	プラグアンドプレイでセットアップできるのはWindowsMe/98/ 95/2000/XP/Server2003です。WindowsNT4.0はセットアッププログラムからセットアップしてください。（118ページ）
コンピュータが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	双方向パラレルインタフェースをサポートしているコンピュータを使用してください。
パラレルケーブルが規格に合っていない可能性があります。	IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で[セントロ]を[ユウコウ]にしてください。（46ページ）
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
パラレルケーブルが外れています。	パラレルケーブルを差し込んでください。
パラレルケーブルに問題があります。	予備のパラレルケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブルなどを使用しています。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。

現　象	対処方法
セットアップの途中で画面に[検索場所の指定]、[場所の指定]が表示されます。	「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：「E:¥WIN98¥PS¥JPN」 （ここではCD-ROMドライブがE：の場合を例にしています。）
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。

6 ネットワーク接続でMacintoshにセットアップします（ML5400のみ）

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

MacOS8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic環境 日本語版が動作するMacintoshでEtherTalk対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外のOSには対応していません。
- MacOS8.0以前のシステムには対応していません。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合もあります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。
- ML5200はMacOSで使用できません。Mac OS Xで使用してください。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

注 プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル(カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート)とハブを別途用意してください。

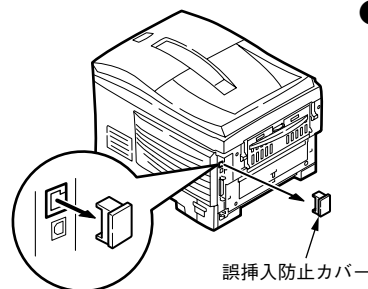
〈イーサネットケーブル〉

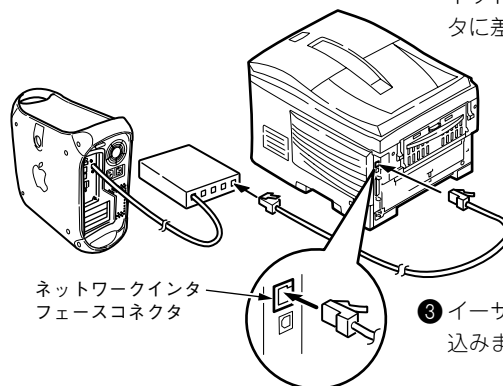
〈ハブ〉

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ プリンタのネットワークインタフェースコネクタに挿入されている誤挿入防止カバーを外します。

メモ 誤挿入防止カバーは捨てずに保管し、ネットワーク接続しない場合に挿入してください。

❷ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします

以下の説明は、MacOS9.0を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン　　　　　　　　. AUTO
　　　　　　　　　　　　　トレイ 1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintoshを起動します。

❷ [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[AppleTalk]を選択します。

❸ [Ethernet]を選択し、[AppleTalk]を閉じます。

❹「設定の保存」画面が表示されたら、[保存]をクリックします。

6
セットアップします

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintoshがハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ]を選択します。
  ② [セット]を[Mac OS x.x.x基本](x.x.xはMac OS のバージョン)設定にします。
  ③ Macintoshを再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、[機能拡張マネージャ]の[セット]を元の設定に戻して、Macintoshを再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、[省略時セット]を選択してください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ [Driver]フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS]をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ [アップルメニュー]の[セレクタ]を選択します。

❷ [LaserWriter8]をクリックし、[PostScriptプリンタの選択]で[MICROLINE 5400]を選択します。

プリンタ名は、MicrolinePS Utilityで変えることができます。

- [PostScriptプリンタの選択]で[MICROLINE 5400]が表示されない場合には、Macintoshとプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルが歪んでいないか確認してください。
- [セレクタ]に[LaserWriter8]が表示されない場合は、Mac OSのシステムCD-ROMからLaserWriter8プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8プリンタドライバをインストールします」(139ページ)をご覧ください。

❸ [作成]をクリックします。
プリンタ名の横にアイコンが表示されます。

❹ [セレクタ]を閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

5 プリントプラグインを設定します。

❶ [ファイル]メニューの[デスクトップのプリント...]を選択します。

❷ [プリンタ：]が[MICROLINE 5400]であることを確認し、ポップアップメニュー[一般設定]をクリックし、[プラグイン初期設定]を選択します。

❸ [プリントタイム・フィルタ]の左に表示されている[▷]印をクリックして[プリントタイム・フィルタ]を開き、[プリントタイム・フィルタ]と[ジョブタイプ]にチェックを付けます。

❹ [設定の保存]をクリックします。

❺ 確認メッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

❻ [キャンセル]をクリックし、[印刷ダイアログ]を閉じます。

6 欧文スクリーンフォントをインストールします。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ [Fonts]フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを[システムフォルダ]-[フォント]フォルダにコピーします。

❹ Macintoshを再起動します。

- [Chicago]、[Geneva]、[Monaco]、[NewYork]は添付されておりません。MacOS添付のフォントをご使用ください。
- Macintoshのシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントはMacOS添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

LaserWriter8プリンタドライバをインストールします

MacOS9.x.x付属のLaserWriter8プリンタドライバをカスタムインストールします。

［セレクタ］に［LaserWriter8］がすでに存在している場合は、インストール不要です。

以下の説明は、MacOS9.2.1を例にしています。

❶「MacOS9.x.xシステムCD-ROM」をセットします。

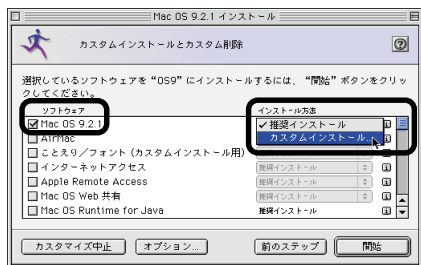
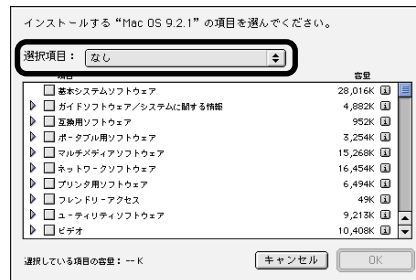
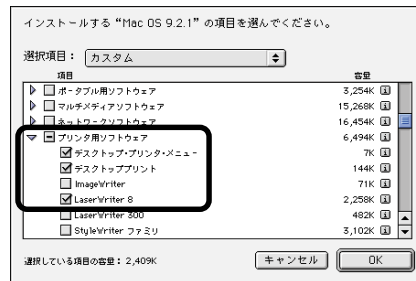
❷［MacOSインストーラ］をダブルクリックします。

Mac OS インストーラ

❸「ようこそMacOS9.x.xへ」画面で［続ける］をクリックします。

❹［インストール先ディスク］を選択し、［選択］をクリックします。

❺［追加/削除］をクリックします。

❻［ソフトウェア］で［MacOS9.x.x］にチェックをつけ、［インストール方法］で［カスタムインストール］を選択します。

❼［選択項目］で［なし］を選択します。

❽［プリンタ用ソフトウェア］の［▷］印をクリックし、［デスクトップ・プリンタ・メニュー］、［デスクトッププリント］、［LaserWriter8］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

❾［開始］をクリックします。

❿［続ける］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

⓫［再起動］をクリックします。

プリンタドライバを削除するには

1 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹「起動」画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

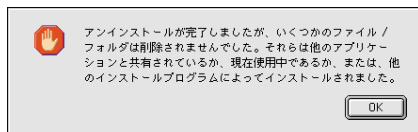
❻「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❼ ▲▼をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❽［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

アンインストールが完了しましたが、いくつかのファイル／フォルダは削除されませんでした。それらは他のアプリケーションと共有されているか、現在使用中であるか、または、他のインストールプログラムによってインストールされました。

OK

❾［OK］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

2 下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。

- LaserWriter8を使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリント初期設定］フォルダ内の「LaserWriter8設定」ファイル

プリンタドライバをアップデートするには

❶プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」(140ページ)をご覧ください。

❷新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは「セットアップします」(136ページ)をご覧ください。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100Mランプ（緑）/LINK 10Mランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-Tで接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯しない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUSランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「一定間隔（1秒あるいは0.1秒）で点滅」「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブのLINKランプが点灯しません。
- Pingに応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源がONになっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源をONにします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源をONにするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「HUB LINK SETTING」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[NETWORK MENU]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[HUB LINK SETTING]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[10BASE-T HALF]を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重/半二重）を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。（設定方法はHUBに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[AppleTalk]で[経由先]が[Ethernet]になっていることを確認します。
- [アップルメニュー]-[セレクタ]で、「LaserWriter 8」をクリックしたとき「プリンタ名」が表示されるか確認します。プリンタ名の初期値は「MICROLINE 5400」です。プリンタ名はネットワークの設定情報（Network Information）に表示されている[EtherTalk Configuration]の[Printer Name]です。

7 USB 接続で Macintosh にセットアップします（ML5400 のみ）

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

MacOS9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2日本語版が動作するMacintoshでUSBインタフェースを搭載している機種

- USB拡張ボードには対応していません。
- 日本語以外のOSには対応していません。
- 印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全てのUSB機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、デスクトップ・プリンタUtilityに「MICROLINE 5400」、「MICROLINE 5400 1」、「MICROLINE 5400 2」と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源をONする順序によって変わります。
- USBハブをご使用になる場合は、コンピュータと直接接続されたUSBハブに接続してください。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。
- Mac OS X Classic環境には対応していません。
- ML5200はMacintoshで使用できません。Mac OS Xで使用してください。

メモ

USBインタフェースケーブルは、USB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。

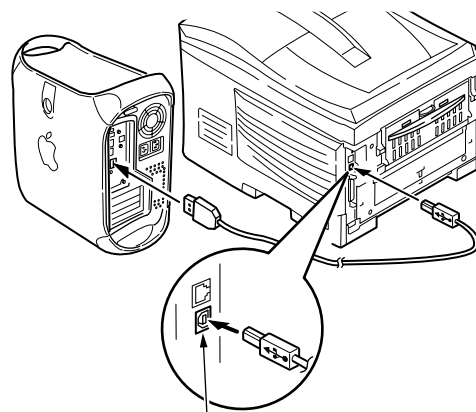
ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

USBケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のUSBケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

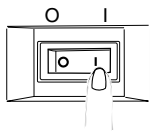
- 電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。
- USBケーブルはコンピュータ、プリンタの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源をOFFにしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

注 USBケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USBケーブルをMacintoshのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン	. AUTO トレイ1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintoshがハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① [アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[機能拡張マネージャ]を選択します。
  ② [セット]を[Mac OS x.x.x基本]（x.x.xはMac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintoshを再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、[機能拡張マネージャ]の[セット]を元の設定に戻して、Macintoshを再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、[省略時セット]を選択してください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ [Driver]フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS]をダブルクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

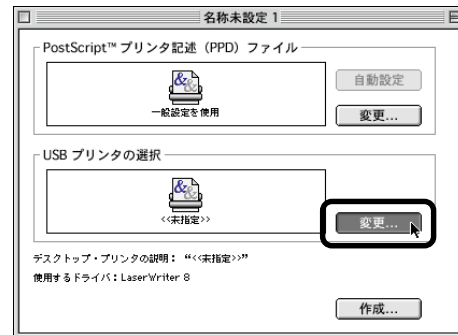
4 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ [Appleエクストラ]-[Apple LaserWriterソフトウェア]フォルダ(Mac OS 9.1以降では、[Applications(MacOS9)]-[ユーティリティ]フォルダ)内の[デスクトップ・プリンタUtility]をダブルクリックします。

デスクトップ・プリンタ Utility

❷ [プリンタ]で[LaserWriter8]を、[デスクトップに作成]で[プリンタ(USB)]を選択し、[OK]をクリックします。

[プリンタ]に[LaserWriter8]が表示されない場合は、Mac OSのシステムCD-ROMからLaserWriter8プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8プリンタドライバをインストールします」(127ページ)をご覧ください。

❸ [USBプリンタの選択]の[変更]をクリックします。

❹ [USBプリンタの選択]で[MICROLINE 5400]を選択し、[OK]をクリックします。

注 [USBプリンタの選択]で[MICROLINE 5400]が表示されない場合には、Macintoshとプリンタが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルが歪んでいないか確認してください。

❺ [PostScriptプリンタ記述(PPD)ファイル]で[自動設定]を選択します。

❻ [作成]をクリックします。

❼ [デスクトップ・プリンタの保存名]を入力し、[保存]をクリックします。

❽ デスクトップ・プリンタUtilityを終了します。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

メモ USBインタフェースで接続する場合は、「セレクタ」画面で「LaserWriter8」を選択しても、画面の右側にプリンタ名は表示されません。プリンタを選択するときはデスクトップ上に作成されたプリンタアイコンを選択して、「Finder」の[プリンタ]メニューで[省略時プリンタに指定]を選択して使用します。

5 プリントプラグインを設定します。

❶ [ファイル]メニューの[デスクトップのプリント...]を選択します。

❷ [プリンタ：]が[MICROLINE 5400]であることを確認し、ポップアップメニュー[一般設定]をクリックし、[プラグイン初期設定]を選択します。

❸ [プリントタイム・フィルタ]の左に表示されている[▷]印をクリックして[プリントタイム・フィルタ]を開き、[プリントタイム・フィルタ]と[ジョブタイプ]にチェックを付けます。

❹ [設定の保存]をクリックします。

❺ 確認メッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

❻ [キャンセル]をクリックし、[印刷ダイアログ]を閉じます。

6 欧文スクリーンフォントをインストールします。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ [Fonts]フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを[システムフォルダ]-[フォント]フォルダにコピーします。

❹ Macintoshを再起動します。

- [Chicago]、[Geneva]、[Monaco]、[NewYork]は添付されておりません。MacOS添付のフォントをご使用ください。
- Macintoshのシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントはMacOS添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

プリンタドライバを削除するには

1 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹「起動」画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

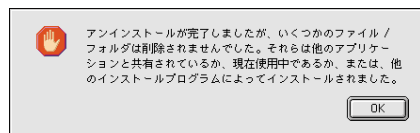
❻「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❼▲▼をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❽［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

アンインストールが完了しましたが、いくつかのファイル／フォルダは削除されませんでした。それらは他のアプリケーションと共有されているか、現在使用中であるか、または、他のインストールプログラムによってインストールされました。

OK

❾［OK］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

2 下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。

- LaserWriter8を使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリント初期設定］フォルダ内の「LaserWriter8設定」ファイル

プリンタドライバをアップデートするには

❶プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」（150ページ）をご覧ください。

❷新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは「セットアップします」（146ページ）をご覧ください。

USB接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で[USB]を[ユウコウ]にしてください。（46ページ）
MacOSのバージョンが対応していません。	USB接続できるのはMacOS9.0以降です。それ以前のMacOSにはネットワーク経由で接続してください。（134、144ページ）
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USBケーブルを短時間で抜き差ししています。	USBケーブルを抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	プリンタとMacintoshを直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。（146ページ）
プリンタの電源スイッチがOFFになっています。	プリンタの電源をONにしてください。（20ページ）
デスクトッププリンタアイコンに手のマークがついています。	Macintoshのプリンタメニューの[プリントキューの開始]を選択してください。
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（146ページ）
[オフライン]になっています。	「オンライン」スイッチを押して、[オンライン]にしてください。

8 ネットワーク接続でMac OS Xにセットアップします（ML5400、ML5200）

動作環境

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

Mac OS X10.0～10.3.5日本語版が動作するMacintoshでネットワークインタフェースを搭載している機種

ML5400の場合

- 日本語以外のOSには対応していません。
- Mac OS X 10.0～10.2.3では、カスタム用紙はサポートされません。
- OCFやCIDビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS Xのアプリケーションで表示される、細明朝体(SaiMincho)、中ゴシック(ChuGothic)はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット(CMYK混合色)で印刷される場合があります。
- MicrolinePS UtilityはMac OS Xでは動作しません。
- Mac OS X 10.0～10.0.4では、[用紙厚]や[解像度]設定などの、プリンタの固有機能を使用することができません。
- Mac OS X 10.0～10.0.4では、プリンタ名に日本語を使用するとコンピュータとプリンタ間で接続することができません。
- ブラックオーバープリント、トナーセーブ、CMYKシミュレーションはアプリケーションによっては使用できないことがあります。

ML5200の場合

- 次の機能は使用できません。
  往復はがき、封筒1、封筒2、封筒3の回転印刷
  とじ代、とじ位置の設定
  ウォーターマーク
  用紙サイズ変更
  ブラックオーバープリント
  カラー調整ユーティリティでのカラー調整機能
  極細線の補正
  1枚目を別トレイで印刷
  製本印刷
  ポスター印刷
  色見本印刷
  プリンタオプションの自動取得
- 黒色の指定は、CMYKまたはKのみのいずれかしか指定できません。
- Mac OS X 10.3以降ではRendezvous接続には対応していません。
- AppleTalkには対応していません。
- カスタム用紙は、Mac OS X 10.2.3以前では使用できません。
- Mac OS X 10.3以降では両面印刷は「両面印刷」パネルの設定を使用してください。
- 「カラー」パネルの[黒の生成]で[黒(K)トナーのみで生成]を設定しているときは、「プリンタオプション」パネルの[100%の黒は常に黒(K)トナーで生成する]の設定に関わらず、常に黒(K)トナーで印刷されます。
- Mac OS X 10.0～10.0.4では使用できません。

8 動作環境

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

注 プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル(カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート)とハブを別途用意してください。

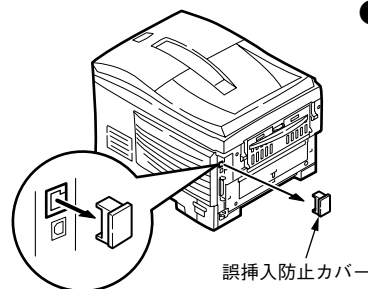
〈イーサネットケーブル〉

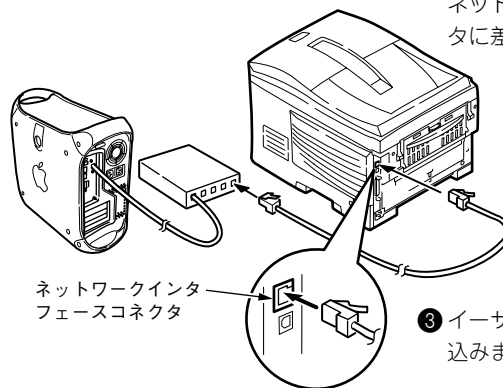
〈ハブ〉

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ プリンタのネットワークインタフェースコネクタに挿入されている誤挿入防止カバーを外します。

メモ 誤挿入防止カバーは捨てずに保管し、ネットワーク接続しない場合に挿入してください。

❷ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします

ネットワーク接続のセットアップについて

1 印刷する方法を決めます。

Mac OS X から印刷するためには、EtherTalk を使用する方法、TCP/IP を使用する方法、Rendezvous（ランデブー）を使用する方法の３種類があります。
まず、どちらを利用するか決めます。

印刷する方法	特　長
EtherTalk （ML5400 のみ）	Mac OS X が標準で持っている機能を使用します。
TCP/IP （ML5200 のみ）	沖データ製の TCP/IP を使用します。
Rendezvous （ランデブー）	Mac OS X 10.2 ～が標準で持っている機能を使用します。 EtherTalk が使用できないネットワークでは、こちらを使用します。

2 セットアップの流れ

EtherTalk（ML5400 のみ）

Macintosh に EtherTalk を設定します。

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

「EtherTalkプロトコルを利用します」（157 ページ）へ進みます。

TCP/IP（ML5200 のみ）

Macintosh に TCP/IP を設定します。

プリンタに IP アドレスを設定します。

プリンタドライバをインストールします。

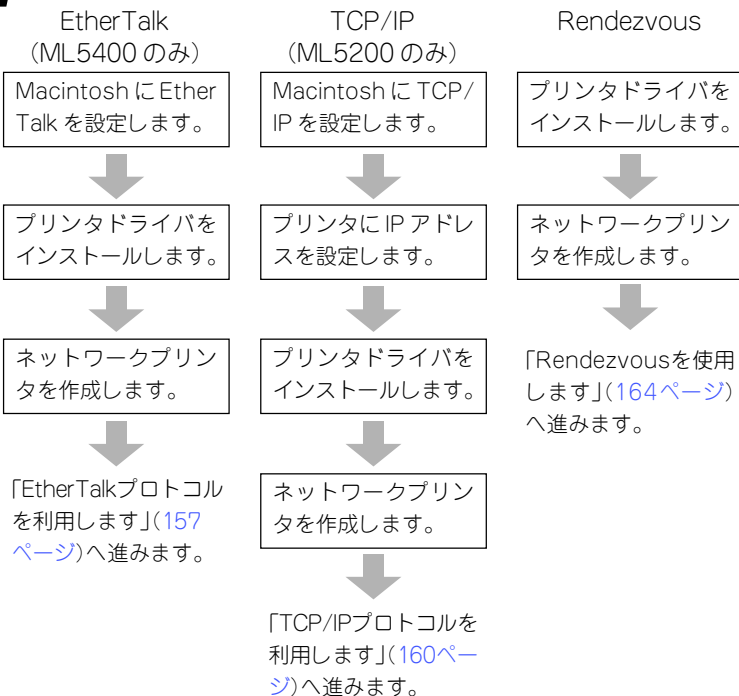
ネットワークプリンタを作成します。

「TCP/IPプロトコルを利用します」（160ページ）へ進みます。

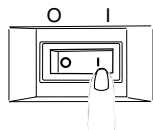
Rendezvous

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

「Rendezvousを使用します」（164ページ）へ進みます。

EtherTalkプロトコルを利用します(ML5400のみ)

以下の説明は、Mac OS X 10.3を例にしています。

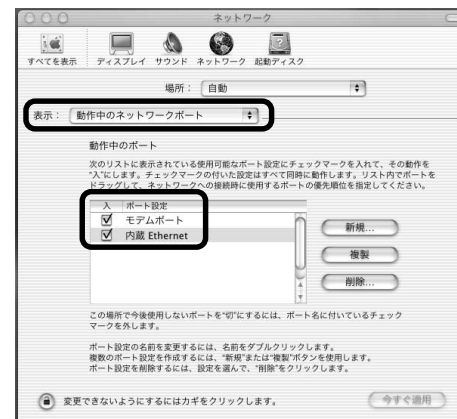
1 プリンタの電源をONにします。

オンライン	. AUTO トレイ1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintoshを設定します。

❶ Macintoshを起動します。

❷ [システム環境設定]-[ネットワーク]を選択します。

❸ [表示]-[ネットワークポート設定](Mac OS X 10.1.5以前では[動作中のネットワークポート])を選択し、[内蔵Ethernet]にチェックがついていることを確認します。

❹ [表示]-[内蔵Ethernet]-[AppleTalk]タブを選択し、[AppleTalk使用]にチェックがついていることを確認します。

3 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷ [ML_COLOR]アイコンをダブルクリックします。

❸ [Driver]フォルダ内の[Installer for Mac OS X]をダブルクリックします。

Installer for MacOSX

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X 10.2ではプリントセンター、Mac OS X 10.1.5以前ではPrint Center）が起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X 10.2では[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンター]、Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]フォルダ内の[Print Center]）をダブルクリックします。

❷ [追加]（Mac OS X 10.1.5以前の場合は[プリンタを追加]）をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、[追加]をクリックします。

❸ [AppleTalk]を選択します。

❹ プリンタ名を選択し、[追加]をクリックします。

❺ [プリンタリスト]に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリンタ設定ユーティリティ]を閉じます。

5 設定を確認します。

❶ TextEditなどのアプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]-[ページ設定]を開きます。

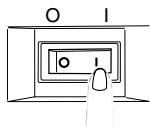
❸ [対象プリンタ](Mac OS X 10.1.5以前では[フォーマット])で追加したプリンタ名を選択します。

❹ [対象プリンタ]メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

注 プリンタドライバがPPDファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、[プリントセンター]でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

TCP/IPプロトコルを利用します（ML5200のみ）

以下の説明は、Mac OS X 10.3.2を例にしています。

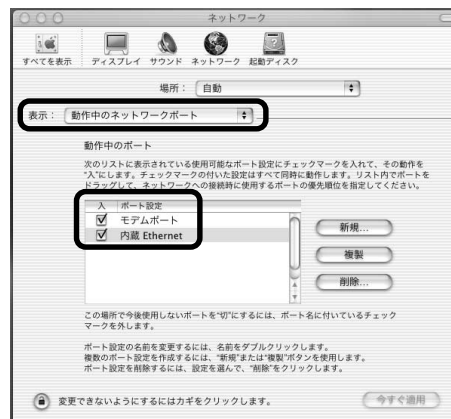
1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン . AUTO
トレイ1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintoshを起動します。

❷ [システム環境設定]-[ネットワーク]を選択します。

❸ [表示]-[ネットワークポート設定]（Mac OS X 10.1.5以前では[動作中のネットワークポート]）を選択し、[内蔵Ethernet]にチェックがついていることを確認します。

❹ [表示]-[内蔵Ethernet]-[TCP/IP]タブを選択し、IPアドレス、サブネットマスク、必要に応じてルータ、ドメインネームサーバを入力し、[今すぐ適用]をクリックします。

メモ DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、設定で[DHCPサーバを参照]を選択します。

8 セットアップします

メモ コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピュータ
IPアドレス　：192.168.0.1〜254のいずれか
サブネットマスク　：255.255.255.0
ゲートウェイ　：0.0.0.0(使用しません)
DNS　：使用しません

プリンタ
IPアドレス　：192.168.0.1〜254のいずれか(コンピュータと異なるもの)
サブネットマスク　：255.255.255.0
ゲートウェイ　：0.0.0.0
DHCP/BOOTPを使用する　：チェックしない
RARPを使用する　：チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決　：チェックしない
LAN　：SMALL

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ(DHCPなど)は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

3 プリンタにIPアドレス等を設定します。

すでにプリンタにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順4「プリンタドライバをインストールします」(162ページ)へ進みます。

❶プリンタの電源をONにします。

❷ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[NETWORK　MENU]を表示します。

❸ 「設定」スイッチを押します。

❹[TCP/IP／ENABLE　＊]と表示されていることを確認します。

[TCP/IP／DISABLE　＊]と表示されている場合は次の設定を行います。

① 「設定」スイッチを押します。

② ＋「メニュー＋」スイッチを押し、[TCP/IP／ENABLE]を表示します。

③ 「設定」スイッチを押し、値の右側に[＊]を付けます。

④ 「戻る」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[IP　ADDRESS]を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押します。

❼ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、IPアドレスの1桁目の値にします。

❽ 「設定」スイッチを押し、次の桁に移動します。❼と❽を繰り返して、全ての桁の値を設定します。

❾ 「戻る」スイッチを押します。

以後、❹～❽ を繰り返し、[SUBNET　MASK]（サブネットマスク）、[GATEWAY　ADDRESS]（ゲートウェイアドレス）を設定します。

❿ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

4 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷ [ML_COLOR]アイコンをダブルクリックします。

❸ [Driver]フォルダ内の[Installer for Mac OS X]をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

5 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

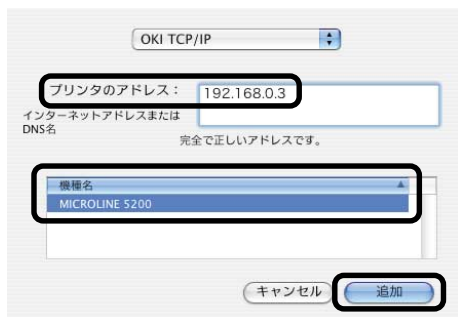
プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X 10.2ではプリントセンター、Mac OS X 10.1.5以前ではPrint Center）が起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X 10.2では[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンター]、Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]フォルダ内の[Print Center]）をダブルクリックします。

❷ [追加]（Mac OS X 10.1.5以前の場合は[プリンタを追加]）をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、[追加]をクリックします。

❸ [OKI TCP/IP]を選択します。

❹ 機種名のリストの中から[MICROLINE 5200]を選択します。プリンタのIPアドレスを入力し、[追加]をクリックします。

❺ [プリンタリスト]に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリンタ設定ユーティリティ]を閉じます。

6 設定を確認します。

❶ TextEditなどのアプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]-[ページ設定]を開きます。

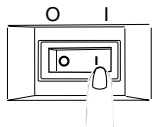
❸ [対象プリンタ]（Mac OS X 10.1.5以前では[フォーマット]）で追加したプリンタ名を選択します。

❹ [対象プリンタ]メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

Rendezvousを利用します

RendezvousはMac OS X 10.2以降で利用可能です。

ML5200では、Mac OS X 10.3で使用できません。

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン　　. AUTO
　　　　　　　トレイ 1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintoshを起動します。

❷ [システム環境設定]-[ネットワーク]を選択します。

❸ [表示]-[ネットワークポート設定]（Mac OS X 10.1.5以前では[動作中のネットワークポート]）を選択し、[内蔵Ethernet]にチェックがついていることを確認します。（157ページ参照）

3 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷ [ML_COLOR]アイコンをダブルクリックします。

❸ [Driver]フォルダ内の[Installer for Mac OS X]をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

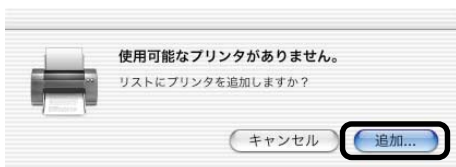
画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

プリンタ設定ユーティリティ（Mac OS X 10.2ではプリントセンター、Mac OS X 10.1.5以前ではPrint Center）が起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X 10.2では[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンター]）をダブルクリックします。

❷ [追加]をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、[追加]をクリックします。

❸ [Rendezvous]を選択します。

❹プリンタ名を選択し、[追加]をクイックします。

メモ
- プリンタ名は「ML」+「イーサネットアドレスの下6桁」です。
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。（22ページ）

❺ [プリンタリスト]に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリンタ設定ユーティリティ]を閉じます。

5 設定を確認します。

❶ TextEditなどのアプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]-[ページ設定]を開きます。

❸ [対象プリンタ]で追加したプリンタ名を選択します。

❹ [対象プリンタ]メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

注 ML5400ではプリンタドライバがPPDファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、[プリンタ設定ユーティリティ]でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

プリンタドライバを削除するには

1 プリンタリストからプリンタ名を削除します。

❶ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X 10.2では[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンター]、Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]フォルダ内の[Print Center]）をダブルクリックします。

❷プリンタ名を選択し、[削除]をクリックします。

❸[プリンタリスト]を閉じます。

2 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックします。

❸[Driver]フォルダを開きます。

❹[Installer for Mac OS X]をダブルクリックします。

❺管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

❻起動画面で[続ける]をクリックします。

❼「使用許諾契約」画面で、[同意]をクリックします。

❽「お読みください」画面で、[続ける]をクリックします。

❾▲▼をクリックし、[アンインストール]を選択します。

❿[アンインストール]をクリックします。

プリンタドライバの削除が行われます。

⓫[終了]をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

❶ [プリンタ設定ユーティリティ]-[プリンタリスト]のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」(166ページ)をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは「セットアップします」(156ページ)をご覧ください。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINK 100Mランプ（緑）/LINK 10Mランプ（緑）を確認します。100BASE-TX/10BASE-Tで接続している場合にそれぞれ点灯します。点灯していない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- STATUSランプ（橙）を確認します。データを受信しているときに点滅します。「一定間隔（1秒あるいは0.1秒）で点滅」「常に点灯」「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブのLINKランプが点灯しません。
- Pingに応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- プリンタの電源がONになっていることを確認します。
- ケーブルが確実にプリンタに接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからプリンタの電源をONにします。ケーブルを接続しないで先にプリンタの電源をONにするとネットワークで接続できないことがあります。

ハブとの相性が原因の場合

ハブとの相性により、通信が安定しない場合があります。

- プリンタの「HUB LINK SETTING」を「10BASE-T HALF」に設定してください。設定方法は以下を参照してください。

❶ ＋ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［NETWORK MENU］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、［HUB LINK SETTING］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋ 「メニュー＋」スイッチまたは － 「メニュー－」スイッチを数回押し、［10BASE-T HALF］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、値の右側に［✱］を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

- ハブの動作モード（100BASE-TX/10BASE-T、全二重/半二重）を「自動切替」から「10BASE-T HALF」にしてください。（設定方法はハブに付属のマニュアルをご覧ください。）

それでも問題が解決しない場合

- ［アップルメニュー］-［システム環境設定］-［インターネットとネットワーク］-［ネットワーク］-［表示］-［ネットワークポート設定］で［内蔵Ethernet］にチェックがついていることを確認します。
- ［表示］-［内蔵Ethernet］-［AppleTalk］で［AppleTalk使用］にチェックがついていることを確認します。
- ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2ではハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリントセンター］、Mac OS X 10.1.5以前では［Applications］-［Utilities］-［Print Center］）で、［追加］をクリックし、［AppleTalk］を選択したときに［MICROLINE 5400］が表示されるか確認します。

9 USB 接続で Mac OS X にセットアップします（ML5400、ML5200）

動作環境

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

Mac OS X10.1～10.3.5日本語版が動作するMacintoshでUSBインタフェースを搭載している機種

ML5400の場合

- 日本語以外のOSには対応していません。
- ハーフトーン調整機能は使用できません。
- Mac OS X 10.1.2～10.2.2では、カスタム用紙はサポートされません。
- OCFやCIDビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS Xのアプリケーションで表示される、細明朝体(SaiMincho)、中ゴシック(ChuGothic)はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット(CMYK混合色)で印刷される場合があります。
- MicrolinePS UtilityはMac OS Xでは動作しません。
- Mac OS X 10.1～10.1.1では、USBインタフェースでの接続はできません。
- Classic環境が動作しているときは、Mac OS Xからの印刷ができません。Classic環境を終了させてから印刷してください。
- ブラックオーバープリント、トナーセーブ、CMYKシミュレーションはアプリケーションによっては使用できないことがあります。

USBインタフェースケーブルは、USB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。

ML5200の場合

- 次の機能は使用できません。
  往復はがき、封筒1、封筒2、封筒3の回転印刷
  とじ代、とじ位置の設定
  ウォーターマーク
  用紙サイズ変更
  ブラックオーバープリント
  カラー調整ユーティリティでのカラー調整機能
  極細線の補正
  1枚目を別トレイで印刷
  製本印刷
  ポスター印刷
  色見本印刷
  プリンタオプションの自動取得
- 黒色の指定は、CMYKまたはKのみのいずれかしか指定できません。
- カスタム用紙は、Mac OS X 10.2.3以前では使用できません。
- Mac OS X 10.3以降では両面印刷は「両面印刷」パネルの設定を使用してください。
- 「カラー」パネルの[黒の生成]で[黒(K)トナーのみで生成]を設定しているときは、「プリンタオプション」パネルの[100%の黒は常に黒(K)トナーで生成する]の設定に関わらず、常に黒(K)トナーで印刷されます。

USBインタフェースケーブルは、USB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。

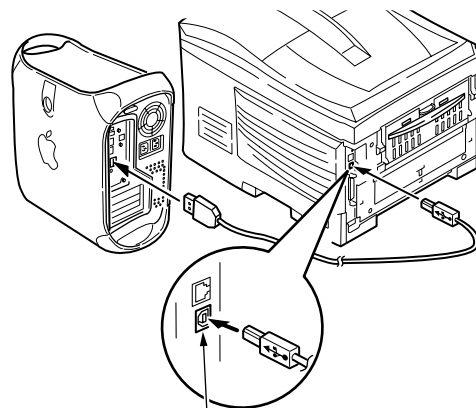
ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

USBケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のUSBケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

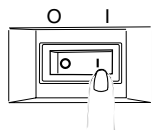
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

3 USB ケーブルを接続します。

❶USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

注 USBケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷USBケーブルをMacintoshのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

1 プリンタの電源をONにします。

オンライン	. AUTO トレイ1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 プリンタの操作パネルで［USB PSプロトコル］を［ASCII］にします。（ML5400の場合）

注
・Mac OS Xで使用する場合は、必ず設定してください。設定しないと正常に印刷できないことがあります。
・MacOS 9で使用する場合は、設定を[RAW]に戻してください。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[システム　コウセイ　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[USB　PSプロトコル]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを押し、[ASCII]を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

❽ プリンタの電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

3 Macintoshを起動します。

4 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアはOFFにしてください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷ [ML_COLOR]アイコンをダブルクリックします。

❸ [Driver]フォルダ内の[Installer for Mac OS X]をダブルクリックします。

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

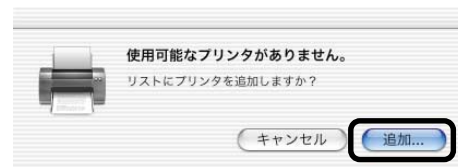
画面に従い、インストールを行ないます。

5 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

注 プリンタ設定ユーティリティ(Mac OS X 10.2ではプリントセンター、Mac OS X 10.1.5以前ではPrint Center)が起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ](Mac OS X 10.2では[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンター]、Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]フォルダ内の[Print Center])をダブルクリックします。

❷ [追加](Mac OS X 10.1.5以前の場合は[プリンタを追加])をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、[追加]をクリックします。

注 インストールしようとしているプリンタの名前がすでに表示されている場合は、プリンタ名を選択して[削除]をクリックします。

❸ [USB]を選択します。（ML5200でMac OS X 10.2以降の場合は[OKI USB]を選択します。）

❹ ML5400の場合、[種類]に[PostScript printer]と表示されているプリンタ名を選択し（Mac OS X 10.2以降の場合、[プリンタの機種]で[Oki]を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、[追加]をクリックします。

ML5200の場合、表示されているプリンタ名を選択し、[追加]をクリックします。

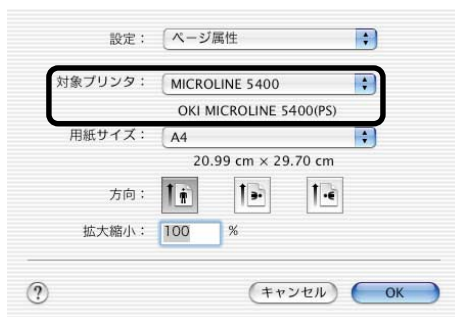
❺ [プリンタリスト]に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、[プリンタ設定ユーティリティ]を閉じます。

6 設定を確認します。

❶ TextEditなどのアプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]-[ページ設定]を開きます。

❸ [対象プリンタ](Mac OS X 10.1.5以前では[フォーマット])で追加したプリンタ名を選択します。

❹ [対象プリンタ]メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

注 ML5400では、プリンタドライバがPPDファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、[プリンタ設定ユーティリティ]でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

プリンタドライバを削除するには

1 プリンタリストからプリンタ名を削除します。

❶ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X 10.2では[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリントセンタ]、Mac OS X 10.1.5以前では[Applications]-[Utilities]フォルダ内の[Print Center]）をダブルクリックします。

❷プリンタ名を選択し、[削除]をクリックします。

❸[プリンタリスト]を閉じます。

2 インストーラで削除（アンインストール）します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷[ML_COLOR]アイコンをダブルクリックします。

❸[Driver]フォルダを開きます。

❹[Installer for Mac OS X]をダブルクリックします。

❺管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

❻起動画面で[続ける]をクリックします。

❼「使用許諾契約」画面で、[同意]をクリックします。

❽「お読みください」画面で、[続ける]をクリックします。

❾▲▼をクリックし、[アンインストール]を選択します。

❿[アンインストール]をクリックします。

プリンタドライバの削除が行われます。

⓫[終了]をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

❶ [プリンタ設定ユーティリティ]-[プリンタリスト]のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」(176ページ)をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは「セットアップします」(172ページ)をご覧ください。

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

USB接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
インタフェースが無効になっています。	プリンタのメニュー設定で[USB]を[ユウコウ]にしてください。（46ページ）
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USBケーブルを短時間で抜き差ししています。	USBケーブルを抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	プリンタとMacintoshを直接接続してみてください。
セットアップを中断しました。	もう一度初めからセットアップしてください。（172ページ）
プリンタの電源スイッチがOFFになっています。	プリンタの電源をONにしてください。（20ページ）
プリンタドライバが正しくインストールされていません。	プリンタドライバを再インストールしてください。（172ページ）
[オフライン]になっています。	「オンライン」スイッチを押して、[オンライン]にしてください。

10 印刷します

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、プリンタのメニュー設定の[メディアウェイト]、[メディアタイプ]で設定する内容が異なります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」(186ページ)と「メディアウェイトとメディアタイプを設定します」(187ページ)をご覧ください。

種類	サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ
普通紙	A4	210×297	連量55～172kg(64～200g/m^2)
	A5	148×210	
	A6	105×148	両面印刷(オプション)の場合、連量55～90kg(64～105g/m^2) 使用できる用紙サイズは、「A4、A5、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブ」です。
	B5	182×257	
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
	リーガル(13インチ)	215.9×330.2(8.5×13)	
	リーガル(13.5インチ)	215.9×342.9(8.5×13.5)	
	リーガル(14インチ)	215.9×355.6(8.5×14)	
	エグゼクティブ	184.2×266.7(7.25×10.5)	
	カスタム	幅　100～215.9 長さ148～1200 ただし、長さが356mm以上の場合は幅は210～215.9mmです。	連量55～172kg(64～200g/m^2) 長さが356mm以上の長尺用紙の場合は110kg(128g/m^2)です。
はがき	はがき	100×148	官製はがき
	往復はがき	148×200	
封筒	封筒1(長形3号)	120×235	85g/m^2の紙を使用したもの
	封筒2(長形4号)	90×205	
	封筒3(洋形4号)	105×235	
	封筒4(A4サイズ)	210×297	
	Com-9	98.4×225.4(3.875×8.875)	24lbの紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	Com-10	104.8×241.3(4.125×9.5)	
	DL	110×220(4.33×8.66)	
	C5	162×229(6.38×9.02)	
	Monarch	98.4×190.5(3.875×7.5)	
ラベル紙	A4	210×297	0.1～0.2mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
OHPシート	A4	210×297	0.1～0.125mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
部分印刷用紙	―	―	連量55～172kg(64～200g/m^2)
カラー用紙	―	―	連量55～172kg(64～200g/m^2)

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：エクセレントホワイト A4（OKIカラーページプリンタ用紙）
  （型名：PPR-CA4NA）
  両面印刷の場合は、エクセレントホワイト A4（厚口）
  （型名：PPR-CA4DA）
- 用紙の厚さが連量55～172kg（64～200g/m^2）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
  カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
  推奨再生紙　銘柄名 ： Green 100（富士ゼロックス製）
  再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（210度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式PPC用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- マルチパーパストレイで印刷するとシワが出ることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 官製はがき、および折っていない官製往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用官製はがき
- 2mm以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒
- 封筒1〜4は坪量85g/m^{2}の紙を使用した封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工(シボ)や浮き出し加工(エンボス)のある封筒

・印刷後は反りやシワが発生することがあります。
・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・封筒の貼り合わせ部分(厚さに段差のある部分)のまわり約5mmは印刷品位が低下することがあります。
・封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
・必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-A6XX(コクヨ製)(総厚：147μm)
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式PPC用のラベル紙
- プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが0.1〜0.2mmのラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙

・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
・必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

OHPシート

次の条件に合ったOHPシートを使用してください。

- 推奨紙 ： MLカラーOHPシート MLOHP01
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 電子写真プリンタ用または乾式PPC用に作られたOHPシート
- プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きないOHPシート
- 用紙の厚さが0.1～0.125mmのOHPシート

・OHPシートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
・印刷後はうねりが発生することがあります。
・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・表面に滑りやすいコーティングをしたOHPシートは滑って吸入できないことがあります。
・推奨紙以外のOHPシートを使用すると、種類によっては定着器ユニットのローラに巻きついたりしてプリンタが故障するおそれがあります。
・OHP装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で230℃に耐えるもの

印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：±2mm、用紙の斜行：±1mm/100mm、画像伸縮：±1mm/100mm（連量70kgの場合）

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で230℃に耐えるもの
- 用紙特性が白色紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：エクセレントホワイト　A4長尺(OKIカラーページプリンタ用紙)
  (型名：PPR-CT4DA)
- 用紙サイズは幅210～215.9mm、長さ356～1200mm　連量110kg(128g/m²)

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑(すべすべ)すぎる用紙、粗い(ザラ紙、繊維質)用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている(湿っている)用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工(シボ)、浮き出し加工(エンボス)、コーティング加工をした用紙(コート紙)
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性(210度)のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式PPC用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
- 長さが400mmを超える用紙は、「きれい」(1200×600dpi)では印刷されません。「ふつう」(600×600dpi)で印刷されます。
- 連量110kg以外の長尺用紙は、印刷品位は保証できません。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- 長尺印刷を行う場合は、64MB増設メモリの追加を推奨します。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度20℃、湿度50%RHの環境

次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

注 長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙」(180ページ)をご覧ください。

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

◎：片面、両面印刷*2とも使用できます
○：片面印刷のみ使用できます
△：一部のサイズで使用できます（片面印刷、両面印刷とも）
△：一部のサイズで使用できます（片面印刷のみ）
×：使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙カセット*1		マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
			トレイ1	トレイ2*2			
普通紙*3*8	連量55～64kg(64～74g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	△*5	△*6	△	△	△*5
	連量65～90kg(75～105g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	△*5	△*6	△	△	△*5
	連量91～105kg(106～120g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	△*5	△*6	○	○	△*5
	連量106～150kg(121～175g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	×	○	○	○	○
		A6	×	×	○	○	×
		カスタム*4	×	△*6	○	○	△*5
	連量151～172kg(176～200g/m²)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	×	×	○	○	×
		A6	×	×	○	○	×
		カスタム*4	×	×	○	○	×
はがき*7	―	はがき, 往復はがき	×	×	○	○	×
封筒*7*8	―	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) 封筒4(A4サイズ) Com-9, Com-10, DL C5, Monarch	×	×	○	○	×
ラベル紙*7	―	A4, レター	×	×	○	○	×
OHPシート*7	―	A4, レター	×	×	○	○	×

*1：上から順にトレイ1、トレイ2（セカンドトレイユニット）となります。
*2：トレイ2（セカンドトレイユニット）、両面印刷はML5400/ML5200のオプションです。（ML3100では使用できません）
*3：全ての用紙は縦送りです。
*4：カスタムは幅100～215.9mm、長さ148～1200mmです。ただし、長さが356mm以上の場合は幅210～215.9mmとなります。両面印刷可能なサイズは幅148～215.9mm、長さ210～355.6mmです。Mac OS X 10.0～10.2.2ではカスタム用紙はサポートされません。
*5：幅105～215.9mm、長さ148～355.6mmです。
*6：幅148～215.9mm、長さ210～355.6mmです。
*7：はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートを設定すると印刷速度が遅くなります。
*8：高温多湿により波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）

用紙サイズをA6、A5サイズおよび用紙幅が148mm（A5幅）以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。

メディアウェイトとメディアタイプを設定します

プリンタの操作パネルでメディアウェイト、メディアタイプを設定します。
メディアウェイトは用紙の厚さ、メディアタイプは用紙の種類に関する設定です。

- メディアウェイト、メディアタイプを適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、定着器ユニットを傷めるおそれがあります。
- 用紙の種類と厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。

1 用紙の種類と厚さから、メディアウェイト、メディアタイプの設定値を確認します。

種　類	厚　さ	プリンタドライバの［用紙厚］の設定*2	操作パネルの設定値	
			メディアウェイト（用紙の厚さ）	メディアタイプ（用紙の種類）*1
普通紙*3	55〜64kg（64〜74g/m²）	普通紙	フツウシ	フツウシ
	65〜89kg（75〜104g/m²）	厚い紙	アツイカミ	
	90〜103kg（105〜120g/m²）	より厚い紙	ヨリアツイカミ	
	104〜172kg（121〜200g/m²）	ごく厚い紙	ゴクアツイカミ	
はがき*4	—	—	—	—
封筒*4	—	—	—	—
ラベル紙	0.1〜0.17mm未満	ラベル紙1	ヨリアツイカミ	ラベルシ
	0.17〜0.2mm	ラベル紙2	ゴクアツイカミ	
OHPシート*5	—	OHPシート	—	OHP

*1：メディアタイプの工場出荷時の設定は[フツウシ]です。
*2：用紙の厚さ・種類は操作パネルとプリンタドライバで設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバ設定が優先されます。プリンタドライバの[給紙方法]で[自動選択]が選択されている場合、または[用紙厚]で[プリンタ設定]が選択されている場合は、操作パネルの設定で印刷します。
*3：両面印刷できる用紙の厚さは連量55〜90kg（64〜105g/m²）です。
*4：はがき、封筒はメディアウェイト、メディアタイプの設定の必要はありません。
*5：OHPシートはメディアタイプのみ設定します。メディアウェイトの設定は必要ありません。

メディアウェイトの[ヨリアツイカミ]、[ゴクアツイカミ]、メディアタイプの[ラベルシ]、[OHP]を設定すると、印刷速度が遅くなります。

2 操作パネルでメディアウェイトを設定します。

- プリンタドライバでメディアウエイトを設定した場合は、操作パネルで以下の設定を行う必要はありません。
- メディアウエイトは、給紙するトレイごとに設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。
- ML3100は「プリンタメニュー設定ユーティリティ」で設定します。プリンタメニュー設定ユーティリティの使用方法は、応用編の「プリンタの設定を変更したい」をご覧ください。

ここでは、トレイ1で普通紙(連量70kg紙)に印刷するときの設定手順([トレイ1　メディアウエイト]を[アツイカミ]に設定します)を説明します。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[トレイ1　メディアウエイト]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[アツイカミ]を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

3 操作パネルでメディアタイプを設定します。

- プリンタドライバでメディアタイプを設定した場合は、操作パネルで以下の設定を行う必要はありません。
- メディアタイプの工場出荷時の設定は[フツウシ]です。普通紙に印刷する場合はそのまま使用してください。
- メディアタイプは、給紙するトレイごとに設定してください。
- ラベル紙、OHPシートは必ず設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。
- メディアタイプは[フツウシ]、[ラベルシ]、[OHP]以外は設定しないでください。
- ML3100は「プリンタメニュー設定ユーティリティ」で設定します。プリンタメニュー設定ユーティリティの使用方法は、応用編の「プリンタの設定を変更したい」をご覧ください。

ここでは、マルチパーパストレイでOHPシートに印刷するときの設定手順([MPトレイ　メディアタイプ]を[OHP]に設定します)を説明します。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[MPトレイ　メディアタイプ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[OHP]を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

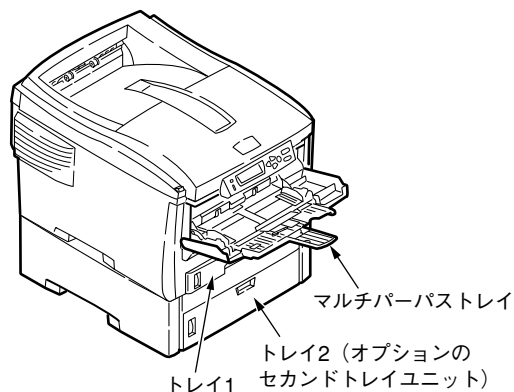
❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

印刷します

給紙方法は、トレイ1、トレイ2(ML5400、ML5200のオプション)、マルチパーパストレイの3通りあります。

普通紙(A6はトレイ1のみ)は用紙カセットから印刷します。
はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは用紙カセットから印刷できません。
用紙カセットは、トレイと呼ぶ場合があります。
トレイ1、トレイ2(オプションのセカンドトレイユニット)とも同じ操作になります。

はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートはマルチパーパストレイから印刷します。普通紙も印刷できます。

マルチパーパストレイで手差し印刷をすることもできます。
コンピュータから印刷を実行した後にプリンタに用紙をセットし、1枚ずつ確認してから 「オンライン」スイッチを押して印刷をします。

1 用紙をセットします。

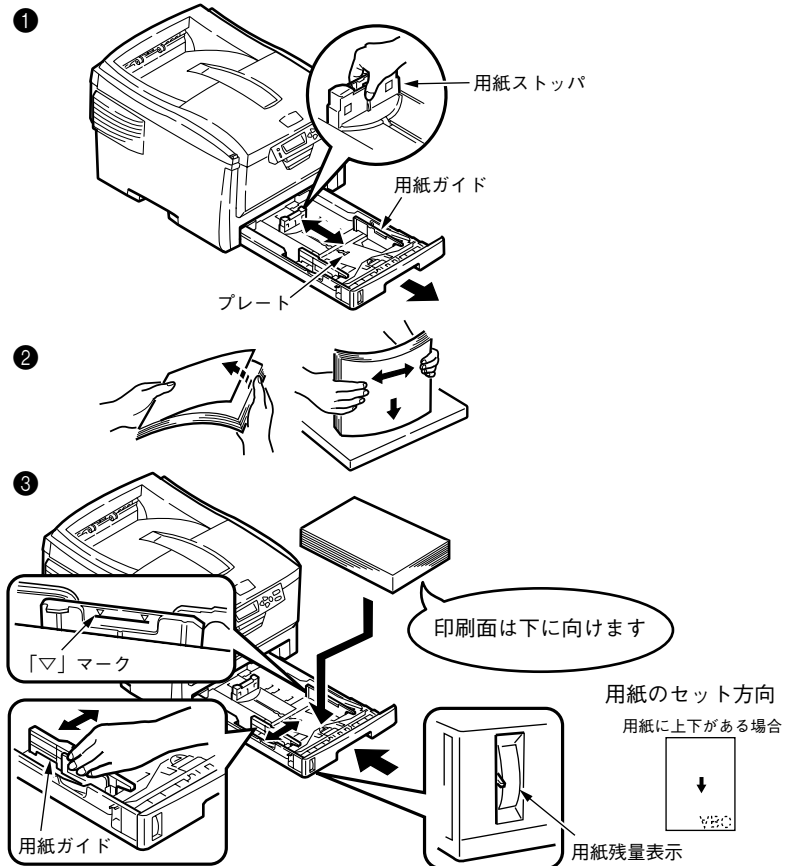
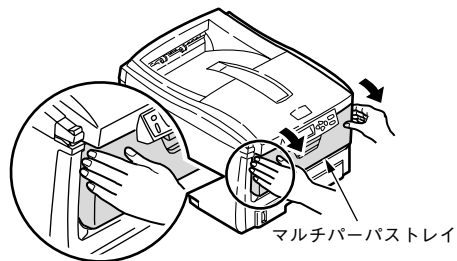
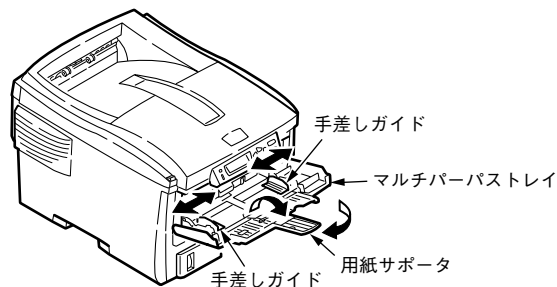
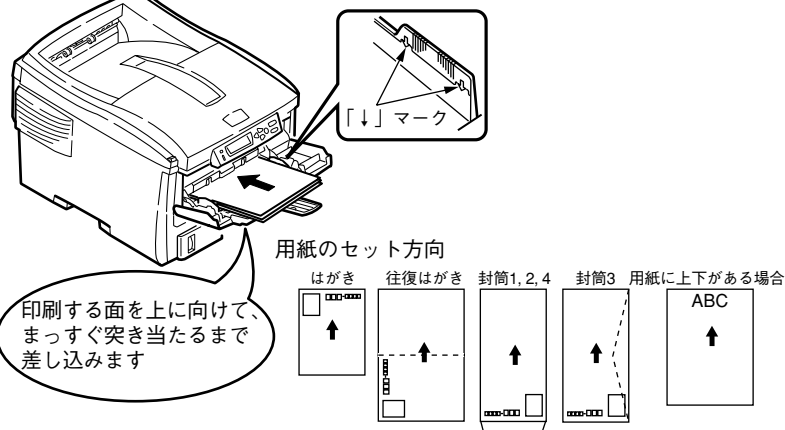
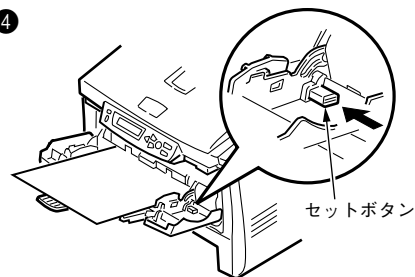
用紙カセットの場合（トレイ1、トレイ2）

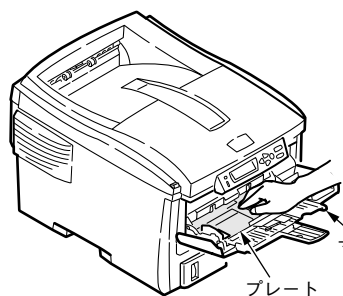
マルチパーパストレイの場合

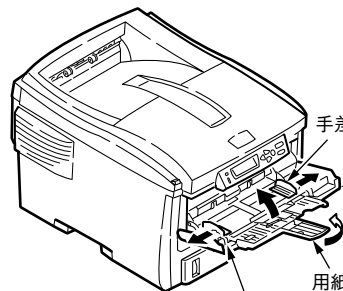
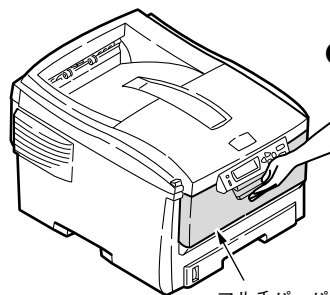
❶

❷

❸

❹

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。(用紙にシワが発生することがあります。)
- 用紙ガイドと用紙ストッパは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットしてください。(連量70kg紙で300枚)(トレイ2(オプション)では530枚、マルチパーパストレイでは100枚)
- 用紙は縦送りでセットしてください。
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中の用紙カセットおよび両面印刷時やトレイ2(オプション)からの印刷時のトレイ1の用紙カセットは引き出さないでください。
- 他のプリンタ等で一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- 用紙カセットでは、はがき、封筒を使用できません。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以内に修正してください。(マルチパーパストレイ)
- 封筒は縦送りでセットしてください。(マルチパーパストレイ)
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

マルチパーパストレイの閉じ方

❶マルチパーパストレイのプレートを、ロックするまで手で押し下げます。

注 必ずプレートをロックしてからマルチパーパストレイを閉じてください。ロックしないと、マルチパーパストレイが開かなくなる場合があります。

❷手差しガイドをいっぱいに広げ、用紙サポータを収納します。

❸マルチパーパストレイを閉じます。

2 操作パネルで用紙サイズを設定します。

プリンタ出荷時にはトレイ1、トレイ2（オプションのセカンドトレイユニット）、マルチパーパストレイの用紙サイズが［A4］で設定されています。A4以外の用紙で印刷する場合には、下記の手順に従ってユーザメニューの用紙サイズを変更する必要があります。

注
- 用紙サイズは、Webページからも設定できます。詳しくは、「ネットワーク機能について」の「Webブラウザを使います」（応用編）をご覧ください。
- ML3100は「プリンタメニュー設定ユーティリティ」で設定します。プリンタメニュー設定ユーティリティの使用方法は、応用編の「プリンタの設定を変更したい」をご覧ください。

ここでは、トレイ1でB5用紙に印刷するときの設定手順（［トレイ1　ヨウシサイズ］を［B5］に設定します）を説明します。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、［トレイ1　ヨウシサイズ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、［B5］を表示します。

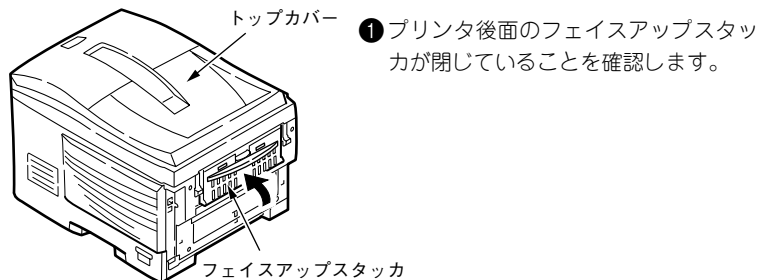
❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

3 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

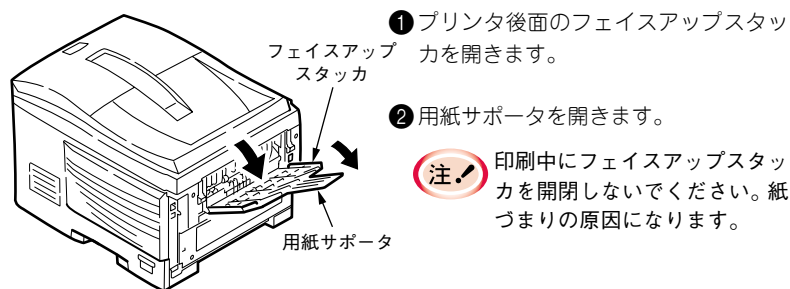
用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量70kg紙で約250枚をためることができます。

❶プリンタ後面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量70kg紙で約100枚ためることができます。

❶プリンタ後面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷用紙サポータを開きます。

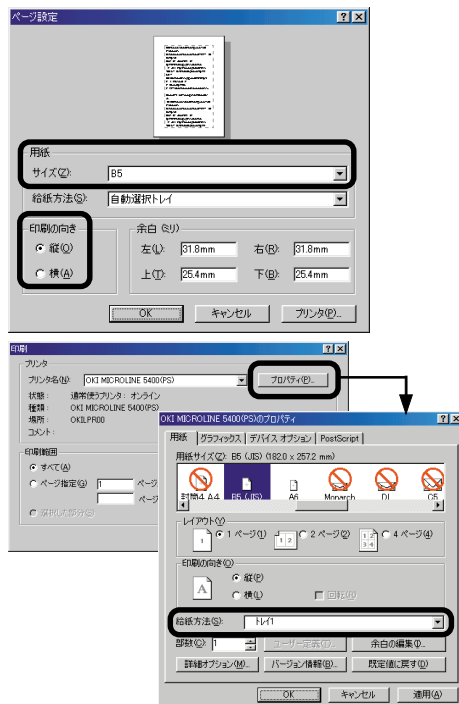
注 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

- Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［TextEdit］を使い、トレイ1でB5サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウエイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は、「便利な印刷機能」の「プリンタドライバのデフォルトを変更したい」（応用編）をご覧ください。

［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「いろいろな印刷について」の「トレイを自動的に選択したい」（応用編）をご覧ください。

ML5400 WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバの場合

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

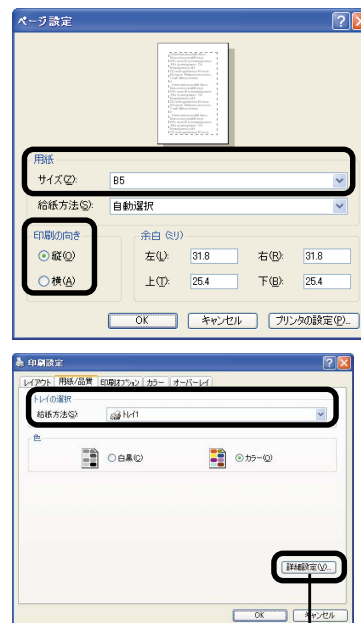
❷ [サイズ]で[B5]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ]をクリックし、[用紙]タブの[給紙方法]で[トレイ1]を選択し、[OK]をクリックします。

❺ [デバイスオプション]タブの[プリンタの機能]で[用紙厚]を選択し、[設定の変更]で[プリンタ設定]を選択し、[OK]をクリックします。

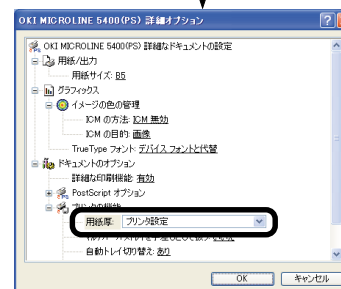
❻「印刷」画面で[OK]をクリックし、印刷します。

ML5400 WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバの場合

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で[B5]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [詳細設定]をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺ [用紙／品質]タブの[給紙方法]で[トレイ1]を選択します。

❻ [詳細設定]をクリックし、[用紙厚]で[プリンタ設定]を選択し、[OK]をクリックします。

❼ [OK]をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❽「印刷」画面で[印刷]をクリックし、印刷します。

ML5400 WindowsNT4.0 PSプリンタドライバの場合

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

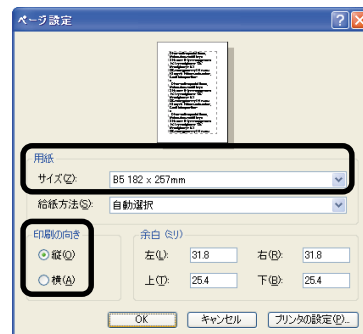
❷ [サイズ]で[B5]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ]をクリックし、[ページ設定]タブの[給紙方法]で[トレイ1]を選択します。

❺ [詳細]タブの[ドキュメントのオプション]-[プリンタの機能]-[用紙厚]で[プリンタ設定]を選択し、[OK]をクリックします。

❻「印刷」画面で[OK]をクリックし、印刷します。

ML5400 Windows PCLプリンタドライバおよびML5200、ML3100プリンタドライバの場合

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で[B5]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ](WindowsXP/Server2003では[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

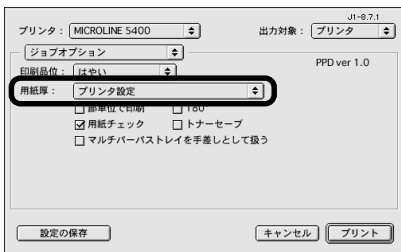
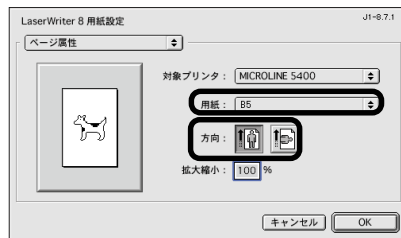
❺ [設定]タブの[給紙方法]で[トレイ1]を選択します。

❻ [用紙厚]で[プリンタ設定]を選択します。

❼ [OK]をクリックします。

(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❽「印刷」画面で[OK]または[印刷]をクリックし、印刷します。

ML5400 Macintoshプリンタドライバの場合

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［B5］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙元］で［トレイ1］を選択します。

❺［ジョブオプション］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

ML5400 Mac OS Xプリンタドライバの場合

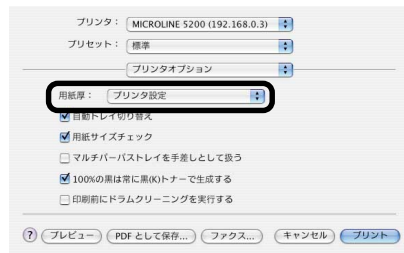
❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙サイズ］で［B5］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙］パネルで［トレイ1］を選択します。

❺［プリンタの機能］パネルの［給紙オプション］機能セットの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

Mac OS X 10.0〜10.0.4では、［用紙厚］の設定はできません。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

ML5200 Mac OS Xプリンタドライバの場合

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙サイズ］で［B5］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙］パネルで［トレイ1］を選択します。

❺［プリンタオプション］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

11 プリンタの設定項目について

現在の設定を確認します（メニューマップ/ステータスページ印刷）

ML5400、ML5200の場合

・ユーザメニューの設定とネットワークの設定情報のみ印刷されます。アドミニストレータメニューの設定は印刷されません。

・プリントジョブアカウンティング（オプション）で[ローカルプリント]が[印刷不可]または[カラー印刷不可]に設定されている場合には印刷できません。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

A4用紙以外で印刷を行うと、全ての内容が印刷されないことがあります。

❷ ＋「メニュー＋」スイッチを押し、[インフォメーション　メニュー]を表示します。

❸ 「設定」スイッチを押し、[メニューマップ　インサツ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

メニューマップ印刷が開始されます。（ML5400は2枚、ML5200は1枚）続いてネットワークの設定情報（Network Information）が印刷されます。（4枚）

（サンプル）　ML5400の例

MenuMap　　MICROLINE 5400

Printer Serial Number:3227B52JN1P0　プリンタ管理番号:
CU version:V1.02 [I01.03 U02.08 S2.4.2c B01.08 PPC750CXe 400MHz 00083311 00020020 F35 J0]
PU version:01.00.02 [PI02.21 L000.12.03]　ET:000000010506041C161C070001000000　KYMC-1111
PCL Program version:02.06 [0A.16 X01.06 P F]
PSE Program version:3010, PSE83 00.01　　DIMM Slot A:CU Program ROM
両面印刷:uninstalled トレイ1:A4
Total Memory Size:64 MB
Flash Memory:4 MB [F35]
HDD:uninstalled
JP1　LCD:T1　PNL:T1　DPR:1.3 32

インフォメーションメニュー
- メニューマップ印刷
- ファイルリスト印刷
- PCLフォント印刷
- PSEフォント印刷
- DEMO1
- エラーログ印刷

印刷メニュー	
コピー枚数	1
給紙トレイ	トレイ1
自動トレイ切り替え	オン
トレイ選択順序	下方向
MPトレイの使い方	使用しない
用紙チェック	有効
解像度	600DPI
トナーセーブモード	オフ
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ

メディアメニュー	
トレイ1用紙サイズ	A4
トレイ1用紙タイプ	普通紙
トレイ1用紙厚	普通紙
MPトレイ用紙サイズ	A4
MPトレイ用紙タイプ	普通紙
MPトレイ用紙厚	普通紙
カスタム用紙設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル

カラーメニュー	
自動濃度補正モード	自動
濃度補正	
カラー調整	
シアン HIGHLIGHT	0
シアン MID-TONE	0
シアン DARK	0
マゼンタ HIGHLIGHT	0
マゼンタ MID-TONE	0
マゼンタ DARK	0
イエロー HIGHLIGHT	0
イエロー MID-TONE	0
イエロー DARK	0
ブラック HIGHLIGHT	0
ブラック MID-TONE	0
ブラック DARK	0
シアン濃度	0
マゼンタ濃度	0
イエロー濃度	0
ブラック濃度	0
自動色ずれ補正	
シアン位置ずれ微調整	0
マゼンタ位置ずれ微調整	0
イエロー位置ずれ微調整	0
インクシミュレーション	オフ
UCR	少ない
CMY100%濃度	無効
CMYK変換	オン

システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	60 分
動作モード	自動
セントロ PS-プロトコル	ASCII
USB PS-プロトコル	RAW
NET PS-プロトコル	RAW
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
マニュアルタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
エラーレポート印刷	オフ
言語	日本語

PCL エミュレーション	
使用フォント	内蔵フォント
フォントNo.	I000
フォントサイズ	12.00 ポイント
シンボルセット	WIN3.1J
A4印字幅	78 桁
白紙ページ除外	オフ
CR 動作	CR のみ
LF 動作	LF のみ
印刷領域	ノーマル
イメージ黒選択	混合黒
ペン幅補正	オン

セントロ メニュー	
セントロ	有効
双方向セントロ	有効
ECP	有効
ACK幅	狭い
ACK/BUSYタイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
オフライン受信	無効

USBメニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
SPEED	480Mbps
オフライン受信	無効
シリアルナンバ	有効

NETWORK MENU	
TCP/IP	ENABLE
NETBEUI	ENABLE
NETWARE	ENABLE
ETHERTALK	ENABLE
FRAME TYPE	AUTO
IP ADDRESS SET	MANUAL
IP ADDRESS	172.　2.　1.　99
SUBNET MASK	255.255.255.　0
GATEWAY ADDRESS	172.　2.　1.254
INITIALIZE NIC?	
WEB/IPP	ENABLE
TELNET	ENABLE
FTP	ENABLE
SNMP	ENABLE
LAN	NORMAL
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動
リソースセーブエリア	オフ
FLASHメモリ 初期化	

Disable
Disable
Disable

ML5200の例

MenuMap　MICROLINE 5200

Printer Serial Number:AE43008844 ﾌﾟﾘﾝﾀ ｶﾝﾘ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:
CU version:J1.12 [I01.04 U02.09 S2.4.2k B01.07 PPC405PS 200MHz F35 J0]
PU version:01.02.02 [PI02.21 LO00.12.03] ET:000000010404041C261B090F01000000 KYMC-0000
Hiper-C version:00.14
ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾝｻﾂ:uninstalled ﾄﾚｲ1:A4
DIMM Slot A:CU Program ROM
Total Memory Size:32 MB
Flash Memory:2 MB [F35]
JP1 LCD:T1 PNL:T1
LimitedColorPrinting:FULL COLOR

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ ﾒﾆｭｰ	
ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ	
DEMO1	
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	
ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ	1
ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ1
ｼﾞﾄﾞｳ ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ	ｵﾝ
ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸｼﾞｭﾝｼﾞｮ	ｼﾀ ﾎｳｺｳ
MP ﾄﾚｲ ﾉ ﾂｶｲｶﾀ	ｼﾖｳｼﾅｲ
ﾖｳｼ ﾁｪｯｸ	ﾕｳｺｳ
ﾓﾉｸﾛ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	
ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4
ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ
ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ
MPﾄﾚｲ ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4
MPﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ
MPﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ
ｶｽﾀﾑﾖｳｼ ｻｲｽﾞ	ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
ﾖｳｼﾊﾊﾞ ｻｲｽﾞ	210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
ﾖｳｼﾅｶﾞｻ ｻｲｽﾞ	297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	
ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ ﾓｰﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ
ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ	
ｼﾞﾄﾞｳ ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ	
C ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0
M ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0
Y ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ	60 ﾌﾝ
ｱﾗｰﾑ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝ
ﾏﾆｭｱﾙ ﾀｲﾑｱｳﾄ	60 ﾋﾞｮｳ
ﾀｲﾑｱｳﾄ ｲﾝｻﾂ	90 ﾋﾞｮｳ
ﾄﾅｰﾌｿｸ ｲﾝｻﾂｹｲｿﾞｸ	ｹｲｿﾞｸ
ｼﾞｬﾑ ﾘｶﾊﾞｰ	ｵﾝ
ｴﾗｰ ﾚﾎﾟｰﾄ	ｵﾌ
ｹﾞﾝｺﾞ	ﾆﾎﾝｺﾞ
USB ﾒﾆｭｰ	
ｿﾌﾄ ﾘｾｯﾄ	ﾑｺｳ
SPEED	480Mbps
ｼﾘｱﾙﾅﾝﾊﾞ	ﾕｳｺｳ
NETWORK MENU	
TCP/IP	ENABLE
NETBEUI	DISABLE
IP ADDRESS SET	AUTO
IP ADDRESS	192.168.100.100
SUBNET MASK	255.255.255. 0
GATEWAY ADDRESS	192.168.100.254
INITIALIZE NIC?	
WEB/IPP	ENABLE
TELNET	ENABLE
FTP	ENABLE
SNMP	ENABLE
LAN	NORMAL
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

ﾒﾓﾘ ﾒﾆｭｰ	
ｼﾞｭｼﾝ ﾊﾞｯﾌｧ ｻｲｽﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ
FLASHﾒﾓﾘ ｼｮｷｶ	
ｼｽﾃﾑ ﾎｾｲ ﾒﾆｭｰ	
X ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
Y ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ
ﾄﾞﾗﾑ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	ｵﾌ
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ	
ﾒﾆｭｰ ﾘｾｯﾄ	
ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲｦ ﾎｿﾞﾝ	
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｷﾉｳ	ﾕｳｺｳ
ﾌﾂｳｼ ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0
ﾌﾂｳｼ ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0
OHP ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0
OHP ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0
ｼﾞｭﾐｮｳ ﾒﾆｭｰ	
ﾄﾚｲ1 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	23
MPﾄﾚｲ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	16
ｶﾗｰ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	16
ﾓﾉｸﾛ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	22
K ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 99 %
C ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 99 %
M ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 99 %
Y ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 99 %
ﾍﾞﾙﾄ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 99 %
ﾃｲﾁｬｸｷ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ 99 %
K ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K = 100 %
C ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K = 100 %
M ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K = 100 %
Y ﾄﾅｰ ﾉｺﾘ	5K = 100 %

ML3100の場合

❶ [スタート]-[プログラム]（WindowsXPでは[全てのプログラム]）-[沖データ]-[OKI MICROLINE 3100]-[OKI MICROLINE 3100プリンタメニュー設定]を選択します。

❷ [インフォメーションメニュー]の左側の田をクリックします。

❸ [メニューマップ印刷]（または[ステータスページ印刷]）をクリックします。

❹ [実行]をクリックします。

ステータスページ印刷が開始されます。

（サンプル）

Status Page　MICROLINE 3100

Printer Serial Number:BA3C000003 ﾌﾟﾘﾝﾀ ｶﾝﾘ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:
CU version:H1.19 [I01.09 U02.12 S2.4.2t3 B01.05 SC209 00000000 00000000 00000000 PPC405PS 200MHz F35 J0]
PU version:01.02.05 [PI02.21 LO00.12.03] ET:000000010405041D1DFE090F00000000 KYMC-1111
Hiper-C version:00.14
DIMM Slot A:CU Program ROM
Total Memory Size:32 MB
Flash Memory:512 KB [F35]
JP1

ｼｮｳﾓｳﾋﾝ	
ｲﾝｻﾂﾍﾟｰｼﾞ ﾏｲｽｳ	
ﾄﾚｲ1	5
MPﾄﾚｲ	0
ｶﾗｰﾍﾟｰｼﾞ	1
ﾓﾉｸﾛﾍﾟｰｼﾞ	1
ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ﾉｺﾘ	
K ﾄﾅｰ	5K=100% 3K=100%
C ﾄﾅｰ	5K=100% 3K=100%
M ﾄﾅｰ	5K=100% 3K=100%
Y ﾄﾅｰ	5K=100% 3K=100%
K ﾄﾞﾗﾑ	98%
C ﾄﾞﾗﾑ	98%
M ﾄﾞﾗﾑ	98%
Y ﾄﾞﾗﾑ	98%
ﾍﾞﾙﾄ	99%
ﾌｭｰｻﾞ	99%
ﾄﾚｲ ｼﾞｮｳﾎｳ	
ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ1
ﾄﾚｲ1	
ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4
ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ
ﾖｳｼｱﾂ	ﾌﾂｳｼ
MPﾄﾚｲ	
ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4
ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ
ﾖｳｼｱﾂ	ﾌﾂｳｼ

ﾗﾝﾌﾟﾉｾﾂﾒｲ

ｵﾝﾗｲﾝ
ｳｵｰﾑｱｯﾌﾟ,ﾃﾞｰﾀ,ﾌﾟﾘﾝﾃｨﾝｸﾞ

ﾖｳｼｶﾝｹｲｴﾗｰ
ﾖｳｼﾅｼ,ﾃｻｼﾖｳｷｭｳ

ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｹｲｺｸ
K ﾄﾅｰｺｳｶﾝｼﾞｭﾝﾋﾞ ﾅﾄﾞ

ｴﾗｰ
ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ,ﾖｳｼｼﾞｬﾑ,ﾄﾞﾗﾑﾅｼ..

ｽｲｯﾁ ｿｳｻ

ON-LINE　StatusPageｲﾝｻﾂ(2ﾋﾞｮｳ ｵｽ)
Demo Pageｲﾝｻﾂ(5ﾋﾞｮｳ ｵｽ)

CANCEL　ｲﾝｻﾂ ｷｬﾝｾﾙ　(2ﾋﾞｮｳ ｵｽ)

現在のメニュー設定を保存します

プリンタの操作パネルでの設定を保存できます。

ML5400、ML5200の場合

注
・ユーザメニューのみ保存できます。
・「NETWORK MENU」カテゴリは保存されません。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[メンテナンス　メニュー]を表示します。

❷「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[メニュー　セッテイヲ　ホゾン／ジッコウ]を表示します。

❹「設定」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ？]を表示します。

❺「設定」スイッチを押します。

設定値が保存されます。

メモ　現在の設定を、保存されている設定に変更することができます。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[メンテナンス　メニュー]を表示します。

❷「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[ホゾンメニューニ　モドス／ジッコウ]を表示します。

❹「設定」スイッチを押し、[ジッコウシマスカ？]を表示します。

❺「設定」スイッチを押します。

設定値が、保存されている設定に変更されます。

ML3100の場合

プリンタメニュー設定を保存できます。

注 ユーザメニュー設定のみ保存できます。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[全てのプログラム])-[沖データ]-[OKI MICROLINE 3100]-[OKI MICROLINE 3100プリンタメニュー設定]を選択します。

❷ [メンテナンスメニュー]の左側の田をクリックします。

❸ [メニュー設定保存]をクリックします。

❹ [実行]をクリックします。

設定値が保存されます。

メモ 現在の設定を、保存されている設定に変更することができます。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[全てのプログラム])-[沖データ]-[OKI MICROLINE 3100]-[OKI MICROLINE 3100プリンタメニュー設定]を選択します。

❷ [メンテナンスメニュー]の左側の田をクリックします。

❸ [保存メニューに戻す]をクリックします。

❹ [実行]をクリックします。

設定値が、保存されている設定に変更されます。

設定値を初期化します

・ユーザメニューのみ初期化します。
・「NETWORK MENU」カテゴリの初期化は、「NETWORK MENU」カテゴリ内の[INITIALIZE　NIC?]で行ってください。

ML5400、ML5200の場合

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[メンテナンス　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[メニュー　リセット／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

ML3100の場合

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[全てのプログラム])-[沖データ]-[OKI MICROLINE 3100]-[OKI MICROLINE 3100プリンタメニュー設定]を選択します。

❷ [メンテナンスメニュー]の左側の⊞をクリックします。

❸ [メニューリセット]をクリックします。

❹ [実行]をクリックします。

12 メンテナンスをします

トナーカートリッジを交換します

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに[＊　トナーコウカン　ジュンビ]（＊は各色を表わします）のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると[トナーヲ　コウカンシテクダサイ]を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、イメージドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、5%の印刷密度の場合（1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合）、A4サイズの用紙（片面印刷時）で以下の通りです。

- 標準トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ（単色）添付のトナーカートリッジの場合：約5,000枚
- トナーカートリッジSタイプ、イメージドラム3色パック添付のトナーカートリッジの場合：約3,000枚

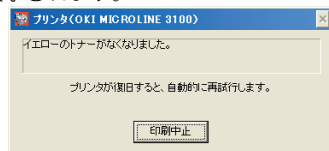
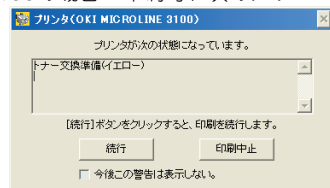
新しいドラムカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときの交換の目安は以下のようになります。これは、新しいイメージドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、1本目のトナーカートリッジからトナーを充填するためです。

- 標準トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ（単色）添付のトナーカートリッジの場合：約3,500枚
- トナーカートリッジSタイプ、イメージドラム3色パック添付のトナーカートリッジの場合：約1,500枚

```
オンライン
＊　トナーコウカン　ジュンビ
```

→

```
トナーヲ　コウカンシテクダ゛サイ
ｎｎｎ：＊　トナー　ナシ
```

ML3100の場合　印刷時、次のメッセージが表示されます。

ML3100では、[＊　トナーコウカン　ジュンビ]、[＊　トナーヲ　コウカンシテクダサイ]のメッセージは、ステータスページのショウモウヒンの欄にも出力されます。

[トナーコウカン　ジュンビ]を表示してから[トナー　ナシ]になるまでの目安は、約250枚です。（A4サイズ、片面印刷、5%印刷密度の場合）

- スタータトナー（製品購入時に添付されているトナーカートリッジ）は、A4, 5%の印刷密度の場合、約1,500枚印刷可能です。
- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- [トナーヲ　コウカンシテクダサイ]表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、イメージドラムカートリッジの故障の原因となりますので、トナーカートリッジを交換してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

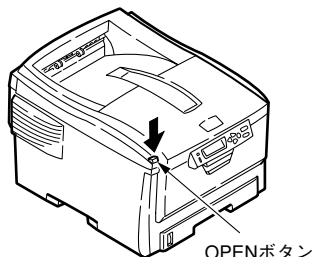
品　名	型　名
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C4BK1
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C4BY1
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C4BM1
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C4BC1
トナーカートリッジ　ブラックS	TNR-C4BK3
トナーカートリッジ　イエローS	TNR-C4BY3
トナーカートリッジ　マゼンタS	TNR-C4BM3
トナーカートリッジ　シアンS	TNR-C4BC3

※お近くの販売店またはサービス拠点（231ページ）でお求めください。

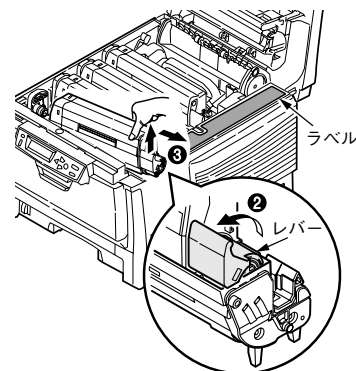
トナーカートリッジを交換します

1 OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

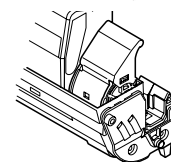
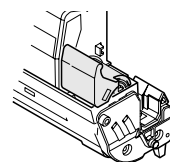
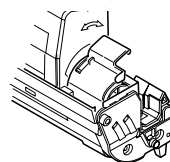
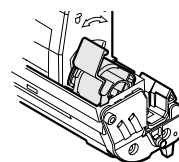
⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

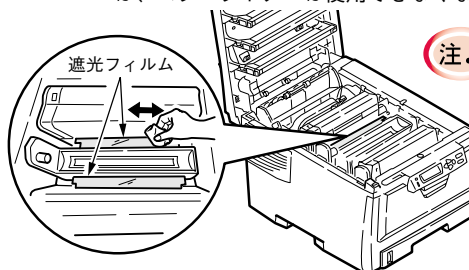
メモ 使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(232ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

❶ 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

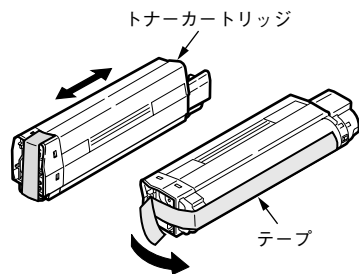
❷ トナーカートリッジの青いレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

❸ トナーカートリッジのレバー側の端を持って、斜めに持ち上げます。

❹ トナーカートリッジを斜めにしたまま、横方向に引き抜きます。

【トナーカートリッジのレバー位置】

スタータトナーカートリッジの場合　　通常のトナーカートリッジの場合

- トナーカートリッジのレバーと反対側はイメージドラムカートリッジのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。
- スタータトナーがセットされている場合は、[トナー　ナシ]になってから交換してください。通常のトナーカートリッジをセットした後は、スタータトナーは使用できなくなります。

注 トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LEDレンズにトナーがつく可能性があります。LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパで拭きとってください。

3 新しいトナーカートリッジをセットします。

❶新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

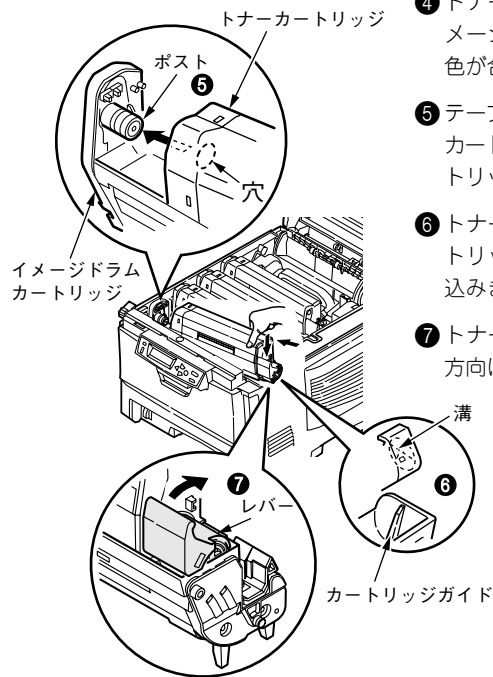
❷縦と横に数回振ります。

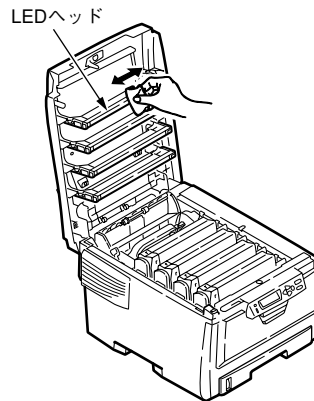
❸トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

❹トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

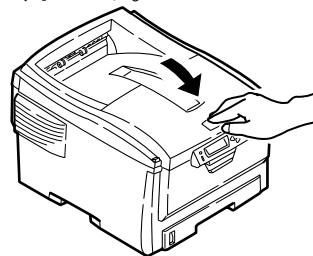
❺テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❻トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのレバーとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

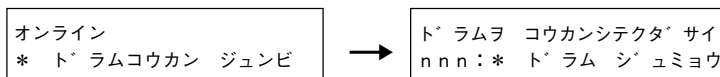
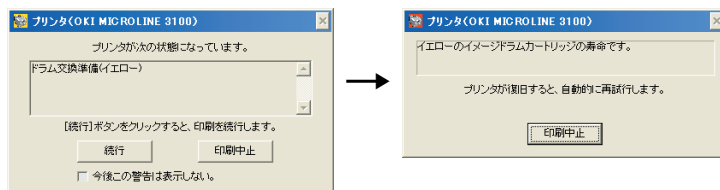
4 LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーでLEDヘッドのレンズ面を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ LEDレンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

5 トップカバーを閉じます。

メモ トナーカートリッジを交換しても、[トナーヲ　コウカンシテクダサイ]のメッセージが消えないときは、トナーカートリッジを取り付け直してください。

イメージドラムカートリッジを交換します

イメージドラムカートリッジ交換の目安

イメージドラムカートリッジが寿命になると操作パネルに[＊　ドラムコウカン　ジュンビ](＊は各色を表わします)のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[ドラムヲ　コウカンシテクダサイ]を表示して印刷を停止します。
イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4サイズの用紙(片面印刷時)で約15,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況(一度に3枚ずつ)で印刷した場合の枚数です。1枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。(連続印刷で約22,000枚に相当します。)

ML3100の場合　印刷時、次のメッセージが表示されます。

ML3100では、[＊　ドラムコウカン　ジュンビ]、[＊　ドラムヲ　コウカンシテクダサイ]のメッセージは、ステータスページのショウモウヒンの欄にも出力されます。

メモ [ドラムコウカン　ジュンビ]を表示してから[ドラム　ジュミョウ]になるまでの目安は、約500枚です。(A4サイズ、片面印刷、一度に3枚ずつ印刷した場合)

- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- 「ドラムヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとトナーが残っていれば印刷を続けることはできますが、印刷品質が低下することがありますので、早めに交換してください。
- 封筒、はがき、ラベル紙、ごく厚い紙の場合、モノクロ印刷でもカラードラムを消費する場合があります。

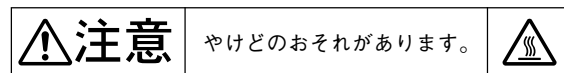
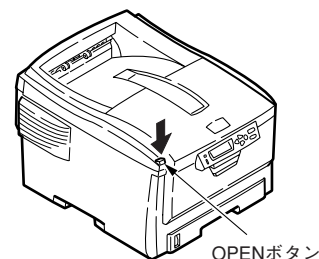
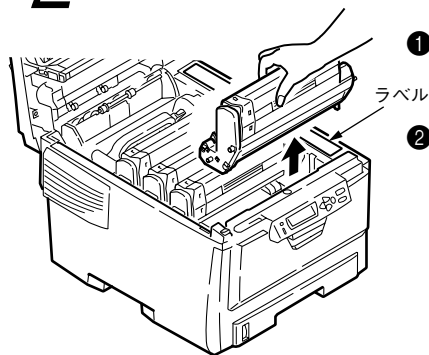
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)

品　名	型　名
イメージドラムカートリッジ　ブラック	ID-C4BK
イメージドラムカートリッジ　イエロー	ID-C4BY
イメージドラムカートリッジ　マゼンタ	ID-C4BM
イメージドラムカートリッジ　シアン	ID-C4BC
イメージドラム3色パック	ID-C4BP

※お近くの販売店またはサービス拠点(231ページ)でお求めください。

イメージドラムカートリッジを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ 交換するイメージドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

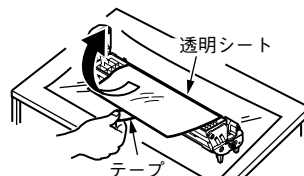
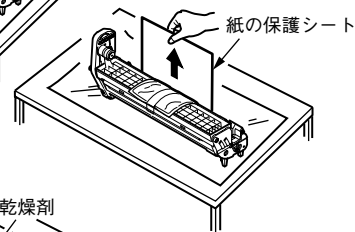
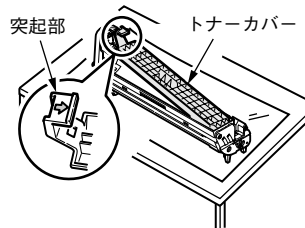
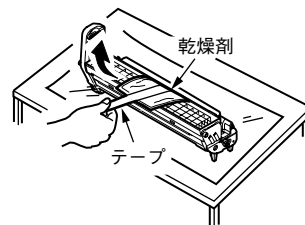
❷ トナーカートリッジをつけたまま、イメージドラムカートリッジを取り出します。

メモ 使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(232ページ) をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

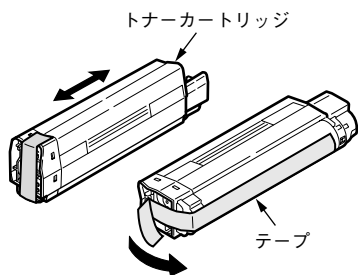
3 新しいイメージドラムカートリッジを準備します。

イメージドラムを傾けないでください。トナーがこぼれる場合があります。

- イメージドラム(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

❶ 透明シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❷ 乾燥剤を取り外します。

❸ トナーカバーを取り外します。

4 新しいトナーカートリッジをイメージドラムカートリッジに取り付けます。

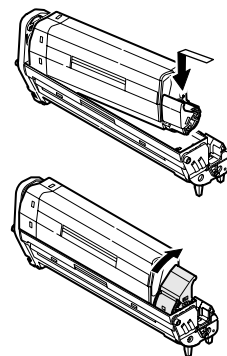
今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、以下の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。

- 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後1年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- 新しいイメージドラムカートリッジ内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充填されます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに「トナーヲ　コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示される場合があります。
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、「トナーコウカン　ジュンビ」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

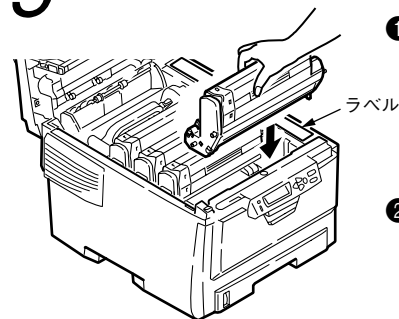
❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

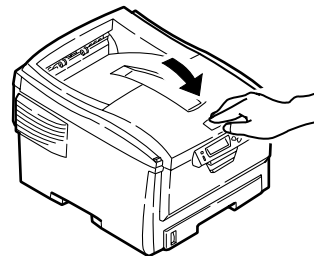
❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

❺ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❻ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

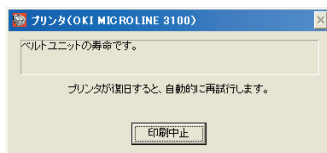
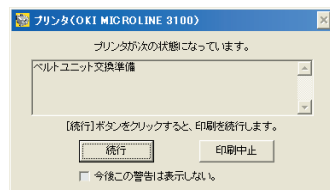
5 イメージドラムカートリッジをプリンタにセットします。

❶ イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認します。

❷ イメージドラムカートリッジを静かにセットします。

6 トップカバーを閉じます。

ベルトユニットを交換します

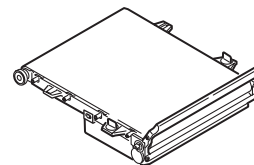
ベルトユニット交換の目安

ベルトユニットの交換時期になると、操作パネルに[ベルト　コウカン　ジュンビ]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[ベルトヲ　コウカンシテクダサイ]を表示し印刷を停止しますので、新しいベルトユニットに交換してください。
ベルトユニット交換の目安は、A4サイズの用紙(片面印刷時)で約50,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合(一度に3枚ずつ)の枚数です。1枚ずつ印刷する場合には、約半分でベルトユニットの寿命になります。

ML3100の場合　印刷時、次のメッセージが表示されます。

ML3100では、[ベルトコウカン　ジュンビ]、[ベルトヲ　コウカンシテクダサイ]のメッセージは、ステータスページのショウモウヒンの欄にも出力されます。

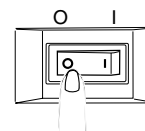
メモ　[ベルト　コウカン　ジュンビ]を表示してから[ベルト　ジュミョウ]になるまでの目安は、約750枚です。(A4サイズ、片面印刷、一度に3枚ずつ印刷した場合)

注　「ベルトヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、プリンタの故障の原因となりますので、ベルトユニットを交換してください。

ベルトユニット

型名：MLBLT-C4C

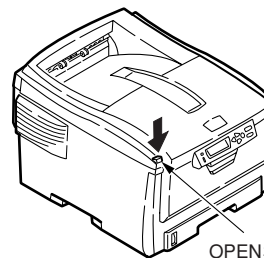
お近くの販売店またはサービス拠点(231ページ)でお求めください。

ベルトユニットを交換します

1 プリンタの電源をOFFにします。

2 OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みのベルトユニットを取り出します。

ロックレバー（青色）
ベルトユニット
レバー（青色）
ロックレバー（青色）

❶イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

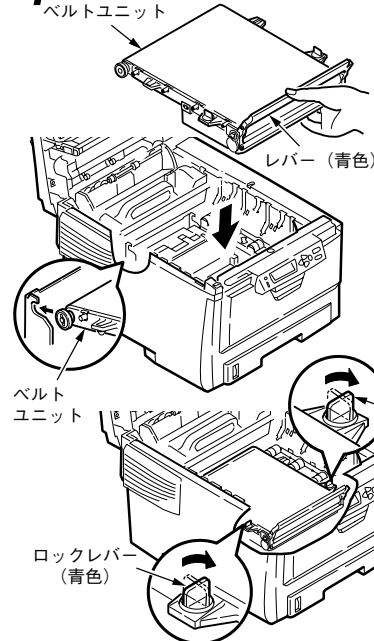
❷取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

❸ロックレバー（青色2ヶ所）を矢印 の方向に回転し、レバー（青色）を持ち、ベルトユニットを取り外します。

- 使用済みのベルトユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（232ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

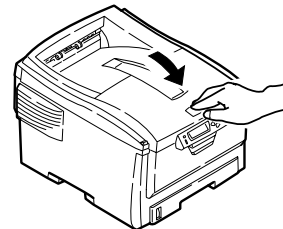
⚠警告	使用済みベルトユニットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

4 新しいベルトユニットをセットします。

❶新しいベルトユニットを包装袋から取り出します。

❷ベルトユニットのレバー（青色）を持ち、ベルトユニットをセットします。

❸ロックレバー（青色2ヶ所）を矢印 の方向に回転し、ベルトユニットが確実に固定されたことを確認します。

❹イメージドラムカートリッジ（4個）を静かにプリンタに戻します。

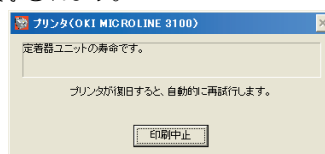
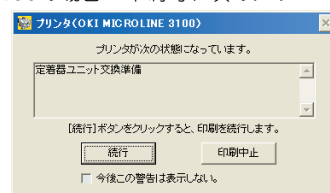
5 トップカバーを閉じます。

注 イメージドラムカートリッジがセットできなかったり、トップカバーが閉まらない場合は、ベルトユニットのロックレバーの位置を確認してください。

定着器ユニットを交換します

定着器ユニット交換の目安

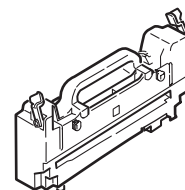
定着器ユニットの交換時期になると、操作パネルに[テイチャクキ　コウカン　ジュンビ]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると、操作パネルに[テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ]のメッセージが表示され、印刷を停止しますので、新しい定着器ユニットに交換してください。
定着器ユニット交換の目安は、A4サイズの用紙(片面印刷時)で約45,000枚です。

オンライン テイチャクキ　コウカン　ジ゛ュンビ゛	→	テイチャクキヲ　コウカンシテクダ゛サイ 354:テイチャクキ　ジ゛ュミョウ

ML3100の場合　印刷時、次のメッセージが表示されます。

ML3100では、[テイチャクキコウカン　ジュンビ]、[テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ]のメッセージは、ステータスページのショウモウヒンの欄にも出力されます。

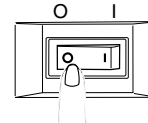
メモ　[テイチャクキ　コウカン　ジュンビ]を表示してから[テイチャクキ　ジュミョウ]になるまでの目安は、A4サイズ(片面印刷)で約750枚です。

注　「テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、プリンタの故障や紙づまりの原因となりますので、定着器ユニットを交換してください。

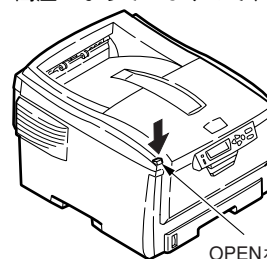
定着器ユニット

型名：MLFUS-C4D

お近くの販売店またはサービス拠点(231ページ)でお求めください。

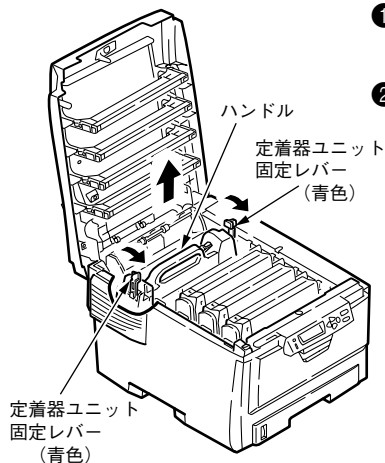
定着器ユニットを交換します

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みの定着器ユニットを取り出します。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

メモ 使用済みの定着器ユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（232ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

4 新しい定着器ユニットをセットします。

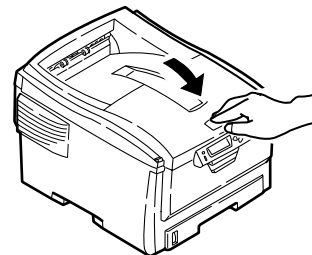
❶新しい定着器ユニットを包装袋から取り出します。

❷定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパーリリース（オレンジ色）を矢印②の方向へ取り外します。

注 ストッパーリリースはプリンタを輸送するときに使います。必ず保管してください。

❸定着器ユニットのハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに入れます。

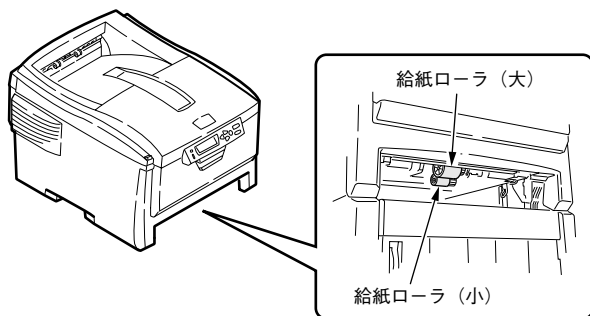
❹定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を奥側に倒し、固定します。

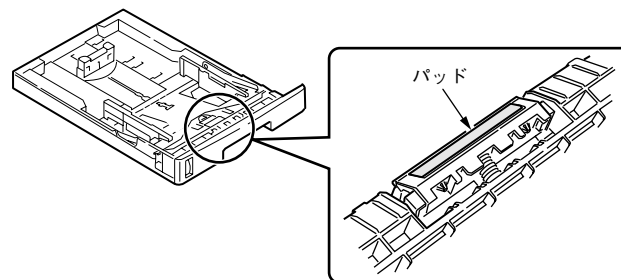
5 トップカバーを閉じます。

給紙ローラとパッドを清掃します

[391：ヨウシ　ジャム]が頻発する場合に行ってください。

1 用紙カセットを引き出します。

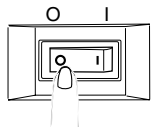
2 給紙ローラ（大）、給紙ローラ（小）を、水を含ませてかたく絞った布または LED レンズクリーナで拭きます。

メモ LEDレンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

3 用紙カセットのパッド部分を、水を含ませてかたく絞った布または LED レンズクリーナで拭きます。

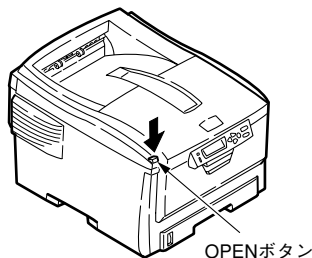
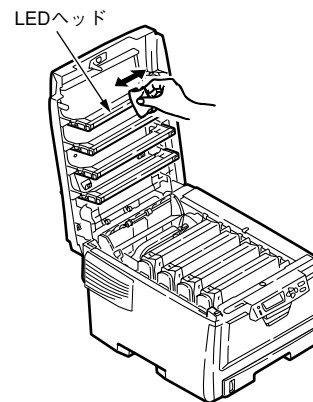
注

- [392：ヨウシ　ジャム]が頻発する場合はセカンドトレイ(オプション)を同様に清掃してください。
- [390：チェックMPトレイ]が頻発する場合は、マルチパーパストレイの給紙ローラを同様に清掃してください。
- ML3100の場合、ステータスモニタに[給紙ジャム]や[用紙フィードジャム]と表示されます。

LEDヘッドを清掃します

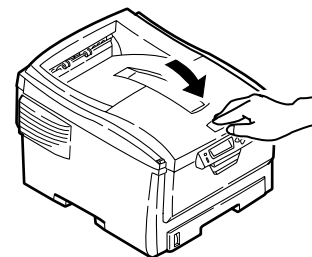
印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1 プリンタの電源をOFFにします。

2 OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーでLEDヘッドのレンズ面（4ヶ所）を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ LEDレンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

4 トップカバーを閉じます。

色ずれ補正調整をします

プリンタは電源をONにしたときやトップカバーを開閉したとき、また連続して印刷しているとき400枚印刷するごとに自動的に色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

ML5400、ML5200の場合

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[ジドウ　イロズレ　ホセイ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

[オンライン／カラー　チョウセイチュウ]と表示して、色ずれ補正調整動作が開始されます。

ML3100の場合

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[全てのプログラム])-[沖データ]-[OKI MICROLINE 3100]-[OKI MICROLINE 3100プリンタメニュー設定]を選択します。

❷ [カラーメニュー]の左側の田をクリックします。

❸ [自動色ずれ補正]をクリックします。

❹ [実行]をクリックします。

濃度補正調整をします

プリンタは新しいイメージドラムカートリッジを取り付けたとき、また連続して印刷しているとき500枚印刷するごとに自動的に濃度補正調整を行いますが、印刷濃度が気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

ML5400、ML5200の場合

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは －「メニュー－」スイッチを数回押し、[ノウド　ホセイ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

[オンライン／ノウド　ホセイチュウ]と表示して、濃度補正調整動作が開始されます。

ML3100の場合

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[全てのプログラム])-[沖データ]-[OKI MICROLINE 3100]-[OKI MICROLINE 3100プリンタメニュー設定]を選択します。

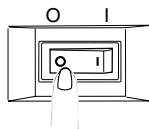
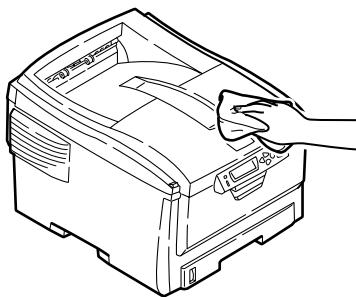
❷ [カラーメニュー]の左側の田をクリックします。

❸ [濃度補正]をクリックします。

❹ [実行]をクリックします。

プリンタ表面を清掃します

1 プリンタの電源を OFF にします。

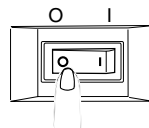
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

2 プリンタの表面を拭きます。

❶水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

❷柔らかい乾いた布で拭きます。

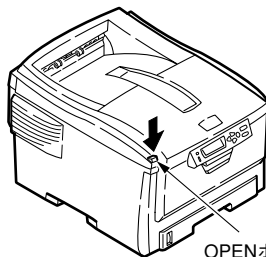
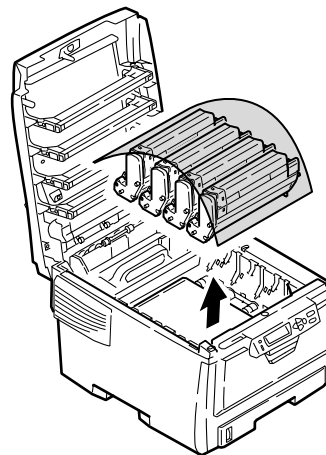
- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

プリンタ内部を清掃します

印刷パターンにより定着器とシアンイメージドラムカートリッジの間の金属シャフトにトナーが付着する場合があります。
金属シャフトにトナーが付着した場合に行ってください。

1 プリンタの電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 イメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

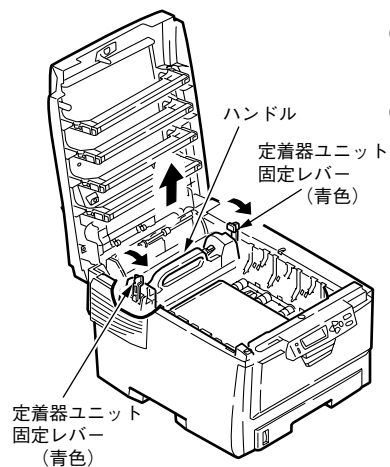
❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注

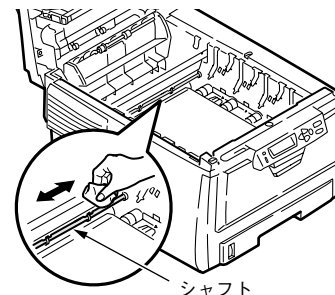
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

4 定着器ユニットを取り出します。

⚠注意 やけどのおそれがあります。

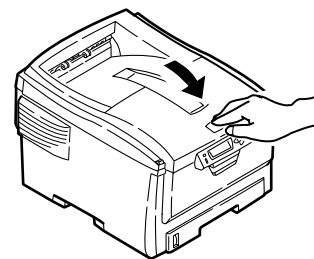
定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷ 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

5 LEDレンズクリーナ、柔らかい布、またはティッシュペーパーで金属シャフトを拭きます。

6 定着器ユニットをセットします。

詳しくは「定着器ユニットを交換します」（212ページ）をご覧ください。

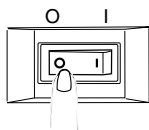
7 イメージドラムカートリッジ（4個）を静かにプリンタに戻します。

8 トップカバーを閉じます。

プリンタを輸送するとき

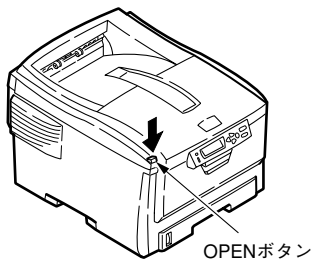
プリンタは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

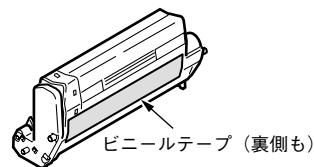
1 プリンタの電源をOFFにし、次の部品を取り外します。

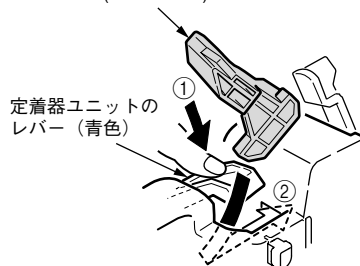
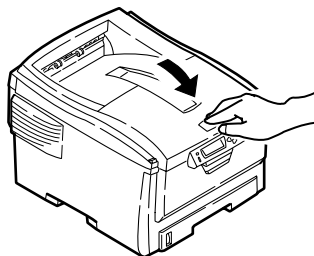
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(21ページ)をご覧ください。

- 電源コード、アース線
- プリンタケーブル
- 用紙カセットに入っている用紙

2 トップカバーを開け、イメージドラムカートリッジ(4個)を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの接合部分をビニールテープで止めて、プリンタに戻します。

プリンタにイメージドラムカートリッジを同梱して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。

4 定着器ユニットにストッパーリリースを取り付けます。

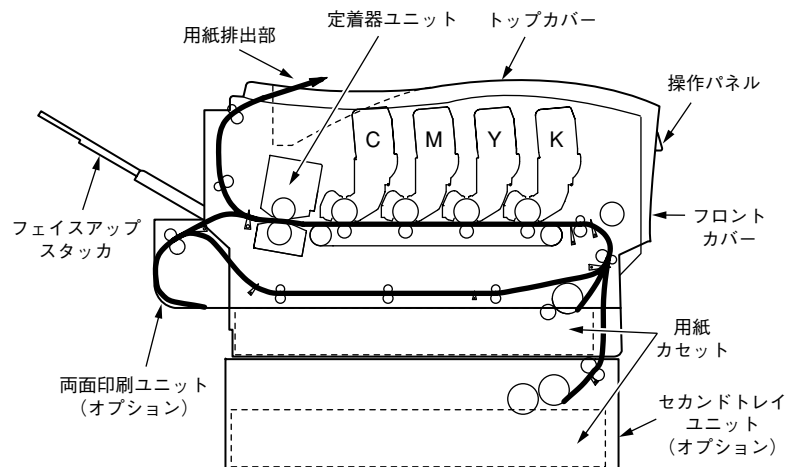
❶定着器ユニットのレバー(青色)を矢印①の方向へ押し下げながら、矢印②の方向にストッパーリリース(オレンジ色)を取り付けます。

5 トップカバーを閉じます。

6 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

注 プリンタ購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

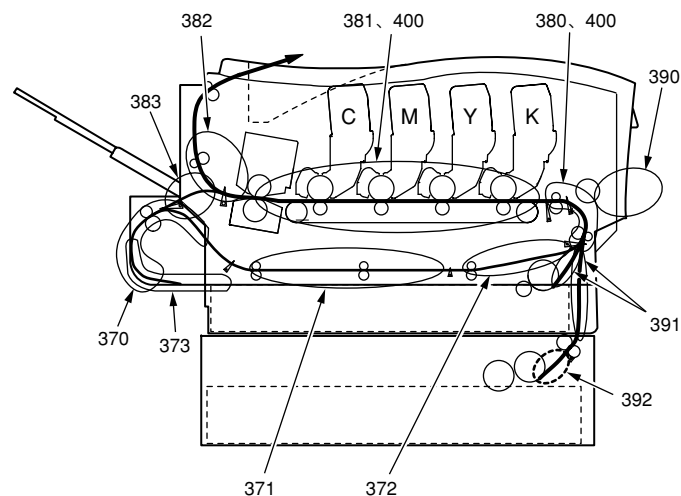
メモ プリンタを輸送後、再度設置するときには、イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジを止めたテープをはがし、ストッパーリリースを取り外してください。

13 紙づまりになったとき

紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると、ML5400、ML5200では操作パネルに[ヨウシ　ジャム]メッセージが表示されます。ML3100ではステータスモニタに[給紙ジャム]、[用紙フィードジャム]、[排紙ジャム]と表示されます。
次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

（プリンタを横から見た図）

紙づまり（ジャム）発生場所とエラーコード（ML5400/5200）

紙づまりの場所がエラーコードで表示されるので、場所を確認します。

（プリンタを横から見た図）

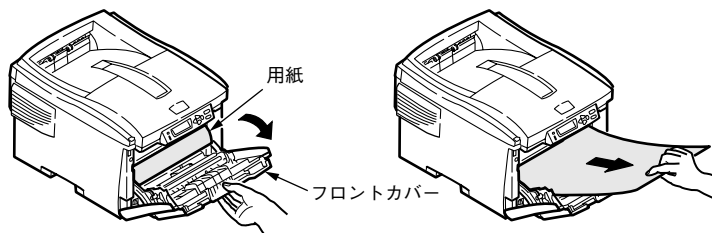
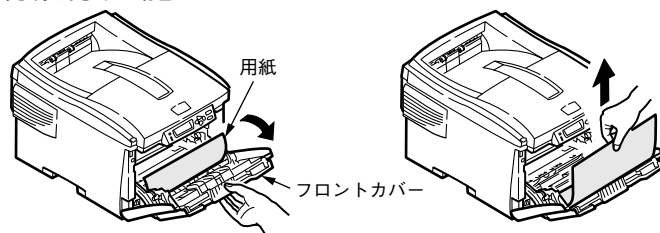
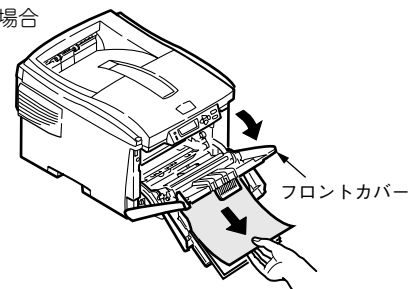
1 つまった用紙を取り除きます。

フロントカバー部（コード：372、380、390、391、400）

フロントカバーを開け、用紙の先端および後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。
コード400の場合、用紙が自動的に排出されることがあります。この場合は、フロントカバーを開閉するとエラーは解除されます。

後端が見える場合

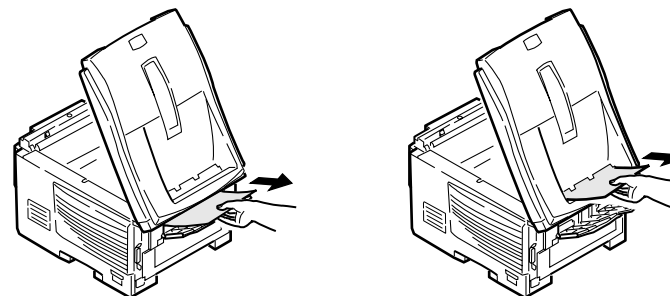
用紙

フロントカバー

先端が見える場合

先端が見えない場合

用紙排出部（コード：382）

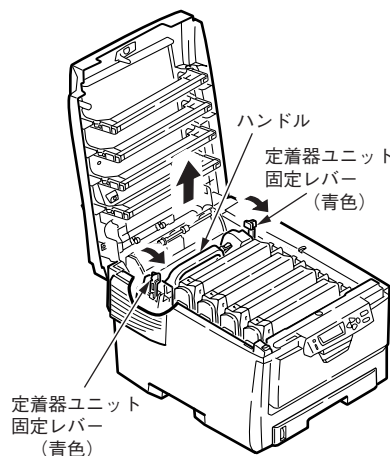
排出口から用紙をゆっくり引き出します。

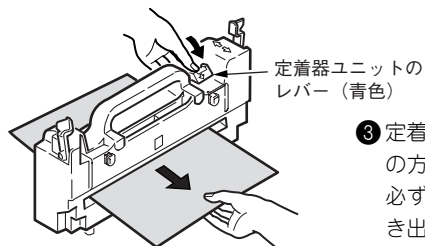
注 用紙排出部でつまった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。

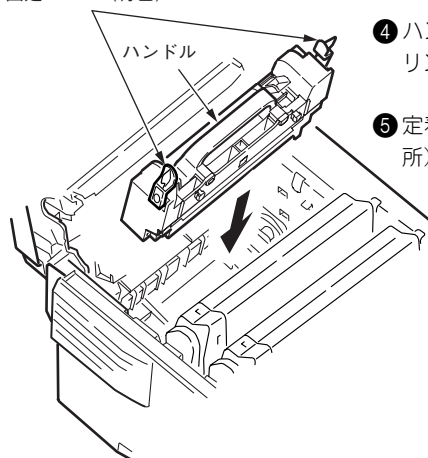
13

紙づまりになったとき

定着器ユニット部（コード：381、382、383）

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

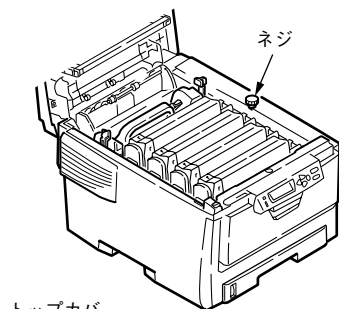
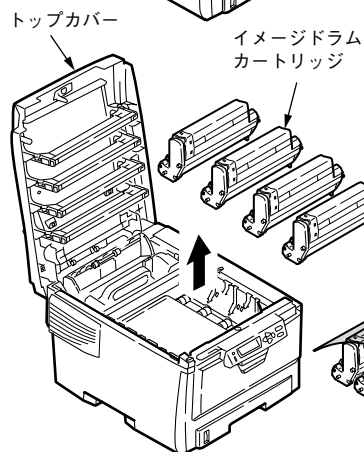
定着器ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷ ハンドルを持ち定着器ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

定着器ユニットの
レバー（青色）

❸ 定着器ユニットのレバー（青色）を矢印の方向に押しながら、つまった用紙を必ず矢印方向（手前方向）へゆっくり引き出します。

❹ ハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに戻します。

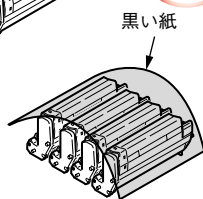
❺ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を奥側に倒し、固定します。

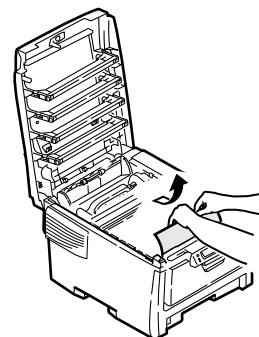
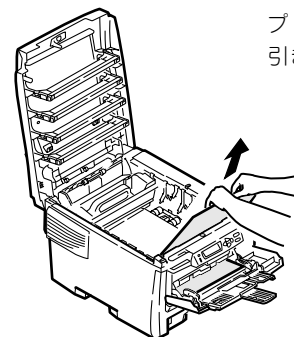
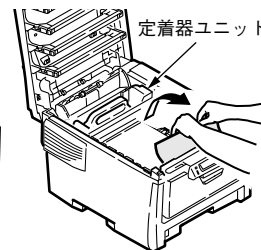
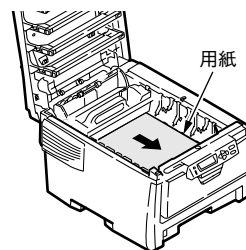
注 定着器ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着器ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、メニューマップ/ステータスページ印刷（「現在の設定を確認します（メニューマップ/ステータスページ印刷）」（188ページ））、白紙等を数回印刷してください。

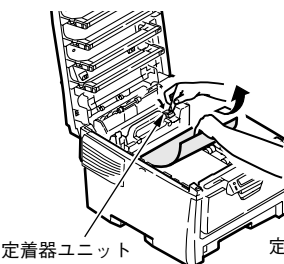
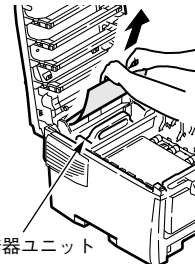
つまった用紙を取り除いても紙づまりエラーが解除されない場合は、以下の手順で他のつまった用紙を取り除きます。

❶ ネジに手を触れて静電気を逃がします。

❷ イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❸ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5分間以上は放置しないでください。

❹ つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙先端が見えている場合

プリンタ内部へゆっくり引き出します。

用紙の先端も後端も見えない場合

つまっている用紙を矢印方向にずらしてからゆっくり引き出します。

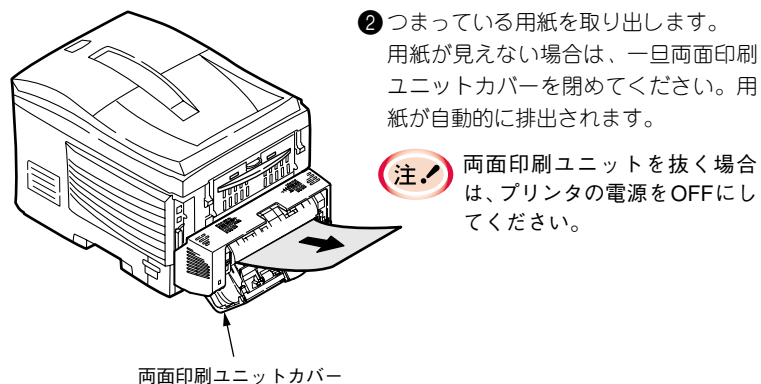
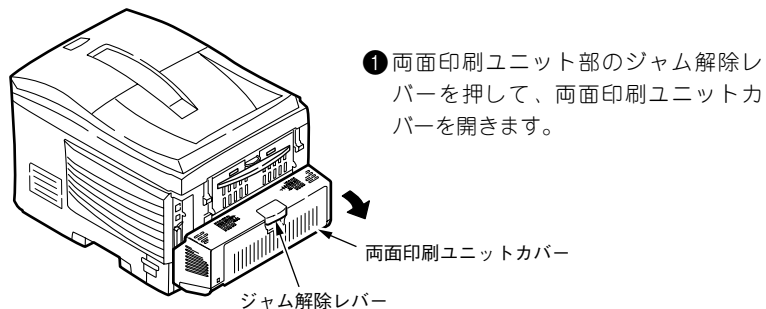
用紙の後端が見えている場合

定着器ユニットのレバーを矢印方向に押しながらつまっている用紙をゆっくり引き出します。

❺ イメージドラムカートリッジを戻します。

両面印刷ユニット部（オプション）（コード：370、371、373）

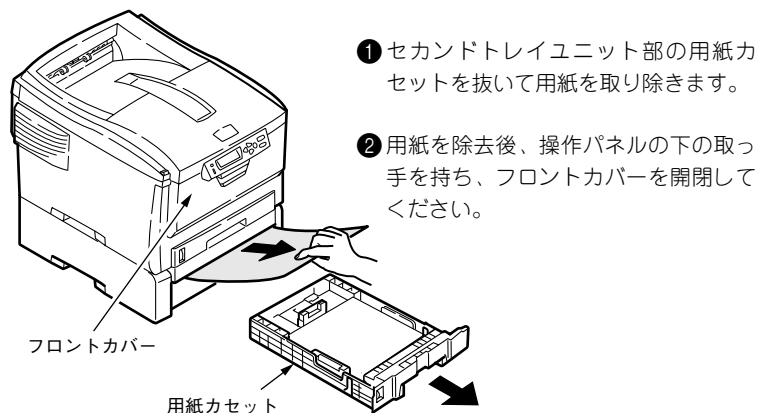
❶ 両面印刷ユニット部のジャム解除レバーを押して、両面印刷ユニットカバーを開きます。

❷ つまっている用紙を取り出します。
用紙が見えない場合は、一旦両面印刷ユニットカバーを閉めてください。用紙が自動的に排出されます。

注 両面印刷ユニットを抜く場合は、プリンタの電源をOFFにしてください。

セカンドトレイユニット部（オプション）（コード：391、392）

❶ セカンドトレイユニット部の用紙カセットを抜いて用紙を取り除きます。

❷ 用紙を除去後、操作パネルの下の取っ手を持ち、フロントカバーを開閉してください。

付　録

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。
http://www.okidata.co.jp

プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

お客様相談センター　0120-654-632
（携帯電話からは03-5833-5710）

受付時間　9：00 ～ 20：00 月曜日～金曜日
9：00 ～ 17：00 土曜日
(但し　祝日を除く)

※ 月曜日～金曜日の17:30～20:00及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、 翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは(株)沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

― お問い合わせに回答できない場合について ―

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5 プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境
機種名：＿＿＿＿＿＿ 製造番号：＿＿＿＿＿＿ 購入月：＿＿年＿＿月
追加オプション： なし ・ あり（ ）

コンピュータ環境
□Windows バージョン：＿＿＿＿＿＿
□Mac OS バージョン：＿＿＿＿＿＿

接続方法
□パラレル □USB □ネットワーク
□TCP/IP □IPX/SPX □EtherTalk □NetBEUI

プリンタドライバ
プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿ バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト
アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿ バージョン：＿＿＿＿＿＿
使用フォント名：＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）
コンピュータの画面に表示される内容 ：＿＿＿＿＿＿
プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿

その他
他のアプリケーションからの印刷：□正常 □印刷できない
他のコンピュータからの印刷 ：□正常 □印刷できない

消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店、またはお近くのサービス拠点へお電話でご連絡ください。

(株)沖北海道サービス(札幌) 〒060-0031 札幌市中央区北一条東8-2-18(北一条OKIビル)
011-261-3261

(株)沖東北サービス(仙台) 〒980-0802 仙台市青葉区二日町3-10(グランシャリオビル3F)
022-212-5167

(株)沖情報機器サービス(新潟)〒950-0082新潟市東万代町 1-30
(新潟第一生命戸田建設共同ビル)
025-241-6838

(株)沖関東サービス(秋葉原) 〒111-0052 台東区柳橋 2-19-6(秀和柳橋ビル 9F)
03-3865-6599

(株)沖北関東サービス(新宿) 〒160-0022 新宿区新宿 2-19-1(ビックス新宿ビル 3F)
03-3225-3131

(株)沖中部サービス(名古屋) 〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通 2-1-2(MS ビル 5F)
052-413-6510

(株)沖電気カスタマアドテック(金沢)
〒921-8163 金沢市横川 7-35-1(大洋不動産ビル 7F)
076-242-3300

(株)沖関西サービス(大阪) 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-4-12(本町富士ビル)
06-6459-0120

(株)沖中国サービス(広島) 〒731-0138 広島市安佐南区祇園 2-9-31
082-871-2601

(株)沖四国サービス(高松) 〒761-8058 高松市勅使町 632-4
087-868-3040

(株)沖九州サービス(福岡) 〒815-0035 福岡市南区向野 2-9-21
092-512-4197

※ 各サービス拠点の住所、電話番号は変更される場合がありますので、ご了承ください。

※ 弊社ホームページでは最新の住所、電話番号を記載しておりますので、こちらもご覧ください。
http://www.okidata.co.jp

プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

このプリンタは重量が約25Kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのMICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
右の用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ(http://www.okidata.co.jp)よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

受付 No.　：
＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

FAX 0120-107995

沖データ回収センタ　宛

西暦　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日　：　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
定着器オイルローラ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
転写ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他マイクロライン消耗品	：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】

まとめた箱の荷姿で合計　：　　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185　又は、フリーダイヤル0120-640991
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

仕様

主な仕様

ML5400

印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600ドット/インチ(LEDヘッド)　600×600dpi/600×1200dpi(印刷解像度)
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の4色
CPU	PowerPC750CXプロセッサ(400MHz)
RAM容量	64MB(最大128MB)
対応OS	Windows Server2003/XP/Me/98/95/2000/NT4.0日本語版 *5 MacOS 8.1～9.2.2、Mac OS X 10.0～10.3.5日本語版　詳しくは動作環境をご覧ください。
印刷言語	PostScript3エミュレーション、PCL5cエミュレーション
内蔵フォント	PSE：日本語2書体、欧文136書体／PCL5c：日本語4書体、欧文84書体
インタフェース	USB（Hi-Speed USBをサポート）、100BASE-TX/10BASE-T、IEEE std 1284-1994準拠パラレル
印刷速度 *1	カラー　：16ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、5ページ/分（OHPシート）、 7ページ/分（104kg(121g/m²)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙）、 13ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4時） モノクロ：24ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、10ページ/分、（OHPシート）、 7ページ/分（104kg(121g/m²)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙）、 19ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4時）
用紙サイズ *2	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル13インチ、リーガル13.5インチ、リーガル14インチ、 エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒（9種）
用紙種類 *2	普通紙（連量55～172kg）、官製はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙 セカンドトレイユニット（オプション）による自動給紙
給紙容量	用紙カセット　:普通紙300枚／連量70kg　総厚30mm以下 マルチパーパストレイ :普通紙100枚／連量70kg　総厚10mm以下　はがき40枚,封筒10枚／坪量85g/m²
排出方法 *2	フェイスアップ（表排出）／フェイスダウン（裏排出）
排出容量	フェイスアップ：約100枚／連量70kg　フェイスダウン：約250枚／連量70kg
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm(連量70kgの場合)
ウォーミングアップ時間	電源投入後90秒以内（25℃）
電源	AC100V±10%、50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時　：最大950W、平均420W(25℃) 待機時　：最大850W、平均130W(25℃) 節電モード時　：最大25W
突入電流	70A以下(25℃)
使用環境条件	動作時：10～32℃／20～80%RH（最高湿球温度25℃、最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0～43℃／10～90%RH（最高湿球温度26.8℃、最高乾球湿球温度差2℃）
印刷品質保証条件	温度10℃時　湿度30～73%RH、温度32℃時　湿度30～54%RH、 湿度30%RH時　温度10～32℃、湿度80%RH時　温度10～27℃、 カラー印刷時　温度17～27℃、湿度50～70%RH
標準使用条件	平均電源ON時間　：220H／月　平均印刷枚数　：4,000枚／月
消耗品・ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾕﾆｯﾄ	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット
装置寿命	5年または42万枚
総重量 *3/本体重量 *4	約25.8kg/約20.4kg

*1：用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*2：用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*3：本体および消耗品を含みます。オプション、用紙重量は含みません。
*4：本体のみ、消耗品を含みません。
*5：Windows95 PSプリンタドライバをインストールするためには、［Windows95日本語版オペレーティングシステムCD-ROM］あるいは［フロッピーディスク］が別途必要です。
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをインストールするためには、［WindowsNT Server 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM］、［WindowsNT Workstation 4.0日本語版オペレーティングシステムCD-ROM］または、［WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM］が必要です。
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバの機能を全て使用するためには、［WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM］が必要です。
［WindowsNT4.0 Service Pack 6a CD-ROM］は、マイクロソフト社ホームページの「Service Pack 6a CD-ROM申し込みのご案内」ページから入手することができます。

付録
仕様

ML5200

印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600ドット/インチ(LEDヘッド)
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の4色
CPU	PowerPC405PSプロセッサ(200MHz)
RAM容量	32MB(最大288MB)
対応OS	Windows Server2003/XP/Me/98/2000/NT4.0日本語版 Mac OS X 10.1～10.3.5日本語版　詳しくは動作環境をご覧ください。
印刷言語	HIPER-C（High Performance Color）
インタフェース	USB（Hi-Speed USBをサポート）、100BASE-TX/10BASE-T
印刷速度 *1	カラー　：16ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、5ページ/分（OHPシート）、 7ページ/分（104kg(121g/m²)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙）、 13ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4時） モノクロ：24ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、10ページ/分、（OHPシート）、 7ページ/分（104kg(121g/m²)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙）、 19ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4時）
用紙サイズ *2	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル13インチ、リーガル13.5インチ、リーガル14インチ、 エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒（9種）
用紙種類 *2	普通紙（連量55～172kg）、官製はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙 セカンドトレイユニット（オプション）による自動給紙
給紙容量	用紙カセット　:普通紙300枚／連量70kg　総厚30mm以下 マルチパーパストレイ :普通紙100枚／連量70kg　総厚10mm以下　はがき40枚,封筒10枚／坪量85g/m²
排出方法 *2	フェイスアップ（表排出）／フェイスダウン（裏排出）
排出容量	フェイスアップ：約100枚／連量70kg　　フェイスダウン：約250枚／連量70kg
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm(連量70kgの場合)
ウォーミングアップ時間	電源投入後90秒以内（25℃）
電源	AC100V±10%、50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時　：最大950W、平均420W(25℃) 待機時　：最大850W、平均120W(25℃) 節電モード時 ：最大20W
突入電流	70A以下(25℃)
使用環境条件	動作時：10～32℃／20～80%RH（最高湿球温度25℃、最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0～43℃／10～90%RH（最高湿球温度26.8℃、最高乾球湿球温度差2℃）
印刷品質保証条件	温度10℃時　湿度30～73%RH、温度32℃時　湿度30～54%RH、 湿度30%RH時　温度10～32℃、湿度80%RH時　温度10～27℃、 カラー印刷時　温度17～27℃、湿度50～70%RH
標準使用条件	平均電源ON時間　：220H／月　　平均印刷枚数　：4,000枚／月
消耗品・ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾕﾆｯﾄ	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット
装置寿命	5年または42万枚
総重量 *3/本体重量 *4	約25.6kg/約20.2kg

*1：用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*2：用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*3：本体および消耗品を含みます。オプション、用紙重量は含みません。
*4：本体のみ、消耗品を含みません。

ML3100

印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600ドット/インチ(LEDヘッド)
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の4色
CPU	PowerPC405PSプロセッサ(200MHz)
RAM容量	32MB(最大288MB)
対応OS	Windows Server2003/XP/Me/98/2000/NT4.0日本語版 *5 詳しくは動作環境をご覧ください。
印刷言語	HIPER-C（High Performance Color）
インタフェース	USB（Hi-Speed USBをサポート）
印刷速度 *1	カラー　：12ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、5ページ/分（OHPシート）、 7ページ/分（104kg(121g/m²)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙）、 モノクロ：20ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、10ページ/分、（OHPシート）、 7ページ/分（104kg(121g/m²)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙）、
用紙サイズ *2	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル13インチ、リーガル13.5インチ、リーガル14インチ、 エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒（9種）
用紙種類 *2	普通紙（連量55～172kg）、官製はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙
給紙容量	用紙カセット　:普通紙300枚／連量70kg　総厚30mm以下 マルチパーパストレイ :普通紙100枚／連量70kg　総厚10mm以下　はがき40枚,封筒10枚／坪量85g/m²
排出方法 *2	フェイスアップ（表排出）／フェイスダウン（裏排出）
排出容量	フェイスアップ：約100枚／連量70kg　　フェイスダウン：約250枚／連量70kg
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm(連量70kgの場合)
ウォーミングアップ時間	電源投入後90秒以内（25℃）
電源	AC100V±10%、50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時　：最大950W、平均330W(25℃) 待機時　：最大850W、平均110W(25℃) 節電モード時 ：最大16W
突入電流	70A以下(25℃)
使用環境条件	動作時：10～32℃／20～80%RH（最高湿球温度25℃、最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0～43℃／10～90%RH（最高湿球温度26.8℃、最高乾球湿球温度差2℃）
印刷品質保証条件	温度10℃時　湿度30～73%RH、温度32℃時　湿度30～54%RH、 湿度30%RH時　温度10～32℃、湿度80%RH時　温度10～27℃、 カラー印刷時　温度17～27℃、湿度50～70%RH
標準使用条件	平均電源ON時間　：220H／月　　平均印刷枚数　：4,000枚／月
消耗品・ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾕﾆｯﾄ	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット
装置寿命	5年または42万枚
総重量 *3/本体重量 *4	約25.5kg/約20.1kg

*1：用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*2：用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*3：本体および消耗品を含みます。オプション、用紙重量は含みません。
*4：本体のみ、消耗品を含みません。
*5：NT4.0は共有プリンタのクライアントのみです。

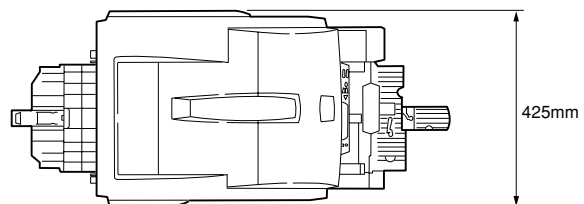
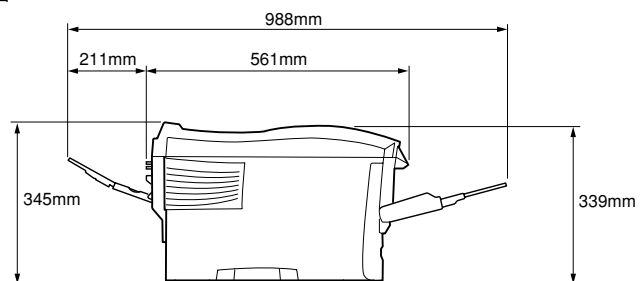
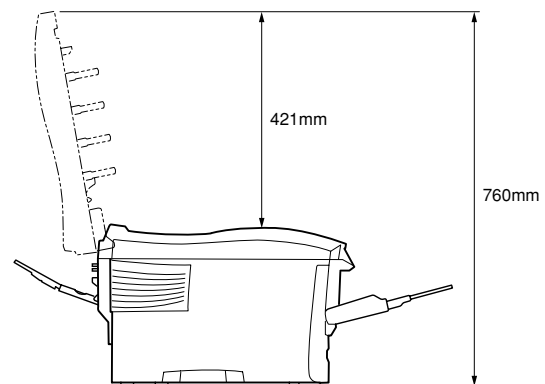
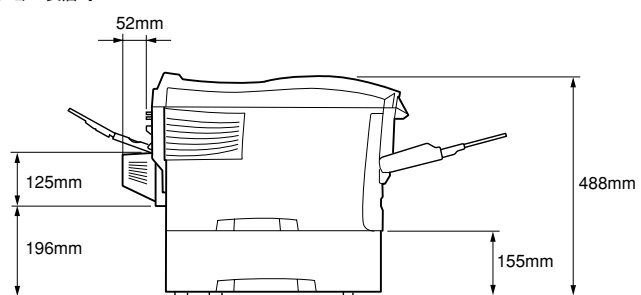
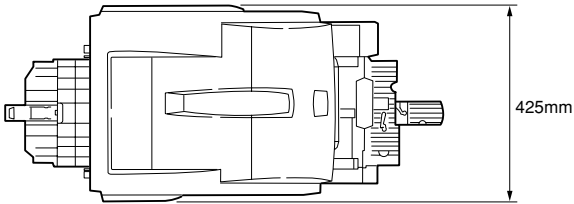
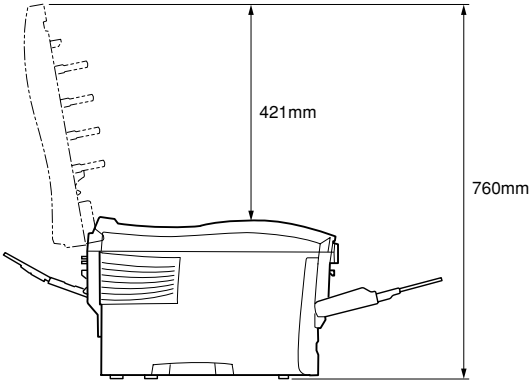
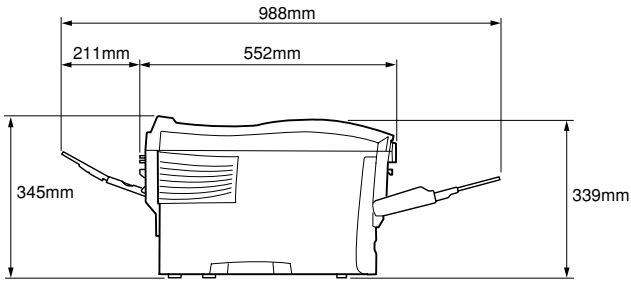
外形寸法

ML5400、ML5200

平面図

側面図

オプション装着時

付録
仕様

ML3100

ユーザーズマニュアルCD-ROMの内容

ユーザーズマニュアルCD-ROMには、次のマニュアルがPDF形式で収録されています。バージョン5以降のAcrobatに対応しています。
Acrobat Readerは、プリンタソフトウェアCD-ROMに収納されています。

- ML540052003100setup.pdf : ML5400, ML5200, ML3100共通のユーザーズマニュアル（セットアップ編）です。（本書）
- ML5400app.pdf : ML5400ユーザーズマニュアルの応用編です。
- ML5200app.pdf : ML5200ユーザーズマニュアルの応用編です。
- ML3100app.pdf : ML3100ユーザーズマニュアルの応用編です。

マニュアルをハードディスクにコピーして使う場合は、セットアップ編と応用編を同じフォルダに保存してご利用ください。

ML5400ユーザーズマニュアル（応用編）の内容

ML5200ユーザーズマニュアル（応用編）の内容

ML3100ユーザーズマニュアル（応用編）の内容

索　引

ウ

エ

オ

カ

キ

ケ

コ

索引

索引

索引

フ

ヘ

ホ

マ

メ

モ

ユ

ヨ

ラ

リ

索引

オキカラーページプリンタ
MICROLINE 5400/5200/3100

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

発行日　2004年 10月　第3版
発行者　株式会社 沖データ

42807801EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。